

ところざわ
環境データブック 2011



目次

	ページ		ページ
1. 大気汚染		3. 騒音	
(1) 大気汚染に係る環境基準……………	1	(1) 騒音に係る環境基準……………	54
(2) 平成 22 年度大気汚染状況について……	2	(2) 平成 22 年度環境騒音の状況について…	55
(3) 大気汚染常時監視測定……………	5	(3) 自動車交通騒音……………	57
(4) 有害大気汚染物質……………	20	(4) 航空機騒音……………	59
(5) その他……………	29	(5) 参考資料(騒音の大きさの例)……………	61
2. 水質汚濁		4. 化学物質	
(1) 水質汚濁に係る環境基準……………	32	(1) ダイオキシン類の環境基準……………	62
(2) 平成 22 年度水質汚濁状況について……	33	(2) ダイオキシン類環境調査結果……………	65
(3) 河川水質測定結果……………	36	(3) 化学物質の排出量・移動量の集計結果…	67
(4) 生活排水対策重点地域(不老川流域)にお ける水質測定結果……………	46	5. 公害等苦情相談	
(5) 都市下水路における水質測定結果……	49	平成 22 年度公害等苦情相談について……	
(6) 地下水質調査結果(平成 22 年度)……	53	6. 放射線量測定	
		(1) 放射線の基礎知識……………	76
		(2) 所沢市内の空間放射線量の測定結果…	78
		7. 用語解説及び関連資料……………	
			79

※放射線に関する 6 章のみ、必要性等を鑑み、平成 23 年度結果を緊急に掲載しました。なお、他の章は全て平成 22 年度結果です。

1 大气污染



(1) 大気汚染に係る環境基準

1 大気汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件（設定年月日等）	主な発生源
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。(S48.5.16告示)	硫黄分を含む燃料を燃焼する際に発生、稀に火山爆発などの自然由来もある。
一酸化炭素 (CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。(S48.5.8告示)	燃料の不完全燃焼により発生する無色、無臭の気体。主に自動車から排出される。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。(S48.5.8告示)	工場などの事業活動や自動車の走行に伴い発生するほか、自然由来もある。
微小粒子状物質 (PM _{2.5})	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。(H21.9.9告示)	主に自動車排出ガス、VOC、物の燃焼
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。(S53.7.11告示)	物の燃焼の際に発生し高温になるほどその量は多くなる。
光化学オキシダント (O _x)	1時間値が0.06ppm以下であること。(S48.5.8告示)	塗料などに含まれるVOC、工場や自動車からの排出ガス

備考

- 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
- 浮遊粒子状物質とは大気中に浮遊する粒子状物質であってその粒径が10μm以下のものをいう。
- 従来の浮遊物質よりもさらに小さな粒径が2.5μm以下の物質を微小粒子状物質をいう。
- 二酸化窒素について、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内にある地域にあつては、原則としてこのゾーン内において現状程度の水準を維持し、又はこれを大きく上回ることをなさないよう努めるものとする。
- 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離するものに限り、二酸化窒素を除く。）をいう。

評価方法

環境基準による大気汚染状況の評価については、次のとおり取り扱うこととされている。

ア、短期的評価（二酸化窒素を除く）

測定を行った日についての1時間値の1日平均値もしくは8時間平均値又は各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。

イ、長期的評価

・二酸化窒素

1年間の測定を通じて得られた1日の平均値のうち、低いほうから数えて98%（例えば年間有効測定日が350日の場合には343日（=350×0.98）番目に当たる値（1日平均値の年間98%））を環境基準と比較して評価を行う。

・浮遊粒子状物質、二酸化硫黄及び一酸化炭素

1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高いほうから数えて2%の範囲にある測定値（例えば、年間有効測定日が335日の場合には7（=335×0.02、四捨五入）個の測定値）を除外した後の最高値（1日平均値の年間2%除外値）を環境基準と比較して評価を行う。但し、上記の評価方法に係らず1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成と評価する。

2 有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準

物質	環境上の条件（設定年月日等）	主な発生源・用途等
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。(H9.2.4告示)	ガソリン中に含まれているため自動車排出ガスから大気中へ排出
トリクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。(H9.2.4告示)	主に有機塩素系溶剤で金属部品の洗浄や半導体の製造工程などで使用
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。(H9.2.4告示)	主にドライクリーニング、金属部品の洗浄工程などに使用
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m ³ 以下であること。(H13.4.20告示)	金属・機械などの脱脂洗浄剤、塗料剥離剤などに使用

備考

- 環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。
- ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準は、継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質に係るものであることにかんがみ、将来にわたって人の健康に係る被害が未然に防止されるようにすることを旨として、その維持又は早期達成に努めるものとする。

3 大気汚染にかかる指針（光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針）

物質	環境上の条件（設定年月日等）
非メタン炭化水素	光化学オキシダントの日最高1時間値0.06ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にある。(S51.8.13通知)

(2) 平成22年度 大気汚染状況について

所沢市では、大気汚染防止法第 22 条に基づき、一般環境大気測定局(以下「一般局」という。)3 局と自動車排出ガス測定局(以下「自排局」という。)2 局の 5 測定局において、下記の大気汚染測定項目の常時監視を行っています。

平成 22 年度の測定結果の概要は、下記のとおり光化学オキシダント(Ox)を除く他の測定項目では全体的に環境基準を達成していますが、環境基準の達成率(環境基準達成測定項目数/環境基準有効測定項目数)で見ると87%となっています。下表のとおり光化学Ox濃度の環境基準は達成されておらず、過去 5 年間の傾向((3)-①-1 光化学オキシダントの経年変化)を見ると変動はあるものの横ばい傾向となっています。原因究明と同時に工場・事業場の排出ガス対策、低公害車の普及啓発等を総合的に推進し被害の未然防止が必要となっています。

環境基準に定められている測定項目

常時監視測定項目	達成状況	傾 向
光化学オキシダント(Ox)	未達成	横ばい
二酸化窒素(NO ₂)	達成	減少
浮遊粒子状物質(SPM)	達成	減少
二酸化硫黄(SO ₂)	達成	横ばい
一酸化炭素(CO)	達成	横ばい

有害大気汚染測定項目	達成状況	傾 向
ベンゼン(C ₆ H ₆)	達成	横ばい
トリクロロエチレン(C ₂ HCl ₃)	達成	横ばい
テトラクロロエチレン(C ₂ Cl ₄)	達成	やや減少
ジクロロメタン(CH ₂ Cl ₂)	達成	横ばい

■大気汚染測定項目(H22年度)

地 点 区 分 測定地点	大気汚染常時監視測定局					その他									
	中 富	東 所 沢	北 野	航 空 公 園	和 ヶ 原	セ 教 ン タ ー 育	旧 所 庁 沢 舎 市	公 三 民 ヶ 館 島	公 富 民 館 岡	小 山 学 校 口	小 北 学 秋 津	小 若 学 校 松	小 伸 学 校 栄	第 二 武 球 場	西 武

一般項目

風向、風速、温度、湿度	○	○	○	○	○										
-------------	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

常時監視項目

光化学オキシダント(Ox)	○	○	○												
窒素酸化物(NO、NO ₂ 、NO _x)		○	○	○	○										
浮遊粒子状物質(SPM)		○	○	○	○										
二酸化硫黄(SO ₂)		○	○												
一酸化炭素(CO)				○											
炭化水素類(NMHC、HC、THC)		○	○	○	○										

有害大気汚染物質

ベンゼン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン		○	○		△※1										
トルエン、キシレン類、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド、ベンゾ[a]ピレン、酸化エチレン、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、ベリリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物、クロム及びその化合物、水銀及びその化合物、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、亜鉛及びその化合物、バナジウム及びその化合物、石綿(アスベスト)					△※2	△※3									

その他の項目

酸性雨(pH、降雨量)		○													
浮遊粒子状物質(SPM、簡易測定)		○					○	○		○				○	
総降下ばいじん量							○			○	○	○	○		

※1 和ヶ原測定局においては、ベンゼン、1,3-ブタジエンのみを実施しています。

※2 和ヶ原測定局においては、トルエン、キシレン類、アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド及びベンゾ[a]ピレンのみを実施しています。

※3 教育センターにおいては、トルエン、キシレン類を除きます。

■大気汚染測定地点(H22年度)



(3) 大気汚染常時監視測定

① 光化学オキシダント

(a) 光化学オキシダント(Ox)の経年変化

測定局名	用途地域	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数					昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	12	5	2	3	-	536	496	514	502	-
東所沢測定局	住居	12	11	8	2	8	532	590	646	529	535
北野測定局	住居	12	5	1	3	4	541	567	520	489	545
中富測定局	調整	-	-	-	-	5	-	-	-	-	404

(b) 光化学オキシダント(Ox)の月間値

局名	項目	H22年										H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	昼間測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	昼間測定時間	時間	445	452	446	455	461	446	448	444	461	458	416	439	5371
	昼間の1時間値の月平均値	ppm	0.038	0.045	0.041	0.039	0.036	0.035	0.023	0.018	0.017	0.022	0.026	0.035	0.031
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	8	16	18	18	18	16	2	1	0	0	0	4	101
	た日数と時間数	時間	43	117	90	100	85	74	3	3	0	0	0	20	535
	昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数と時間数	日	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	8
	た日数と時間数	時間	0	0	0	10	2	4	0	0	0	0	0	0	16
	昼間の1時間値の最高値	ppm	0.087	0.115	0.108	0.155	0.128	0.126	0.062	0.063	0.040	0.041	0.057	0.075	0.155
昼間の日最高1時間値の月平均値	ppm	0.053	0.065	0.068	0.070	0.066	0.061	0.040	0.037	0.031	0.036	0.041	0.049	0.051	
北野	昼間測定日数	日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	昼間測定時間	時間	411	451	446	458	459	446	450	446	461	458	416	459	5361
	昼間の1時間値の月平均値	ppm	0.040	0.047	0.044	0.038	0.036	0.036	0.027	0.020	0.018	0.024	0.028	0.038	0.033
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	7	16	19	19	18	16	2	1	0	0	0	4	102
	た日数と時間数	時間	36	119	106	92	86	74	5	3	0	0	0	24	545
	昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数と時間数	日	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	た日数と時間数	時間	0	0	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	昼間の1時間値の最高値	ppm	0.091	0.119	0.106	0.156	0.124	0.119	0.065	0.074	0.040	0.042	0.058	0.075	0.156
昼間の日最高1時間値の月平均値	ppm	0.054	0.064	0.070	0.066	0.065	0.061	0.043	0.039	0.032	0.037	0.042	0.051	0.052	
中富	昼間測定日数	日	0	11	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	315
	昼間測定時間	時間	0	148	445	458	459	446	454	445	461	458	416	460	4650
	昼間の1時間値の月平均値	ppm	欠測※	0.038	0.042	0.038	0.036	0.035	0.023	0.017	0.016	0.021	0.025	0.035	0.029
	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	日	0	5	18	20	18	16	1	1	0	0	0	4	83
	た日数と時間数	時間	0	19	98	99	88	76	1	2	0	0	0	21	404
	昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数と時間数	日	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
	た日数と時間数	時間	0	0	0	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12
	昼間の1時間値の最高値	ppm	欠測※	0.102	0.110	0.163	0.125	0.120	0.063	0.064	0.039	0.040	0.058	0.074	0.163
昼間の日最高1時間値の月平均値	ppm	欠測※	0.060	0.069	0.067	0.065	0.060	0.039	0.036	0.031	0.035	0.040	0.049	0.050	

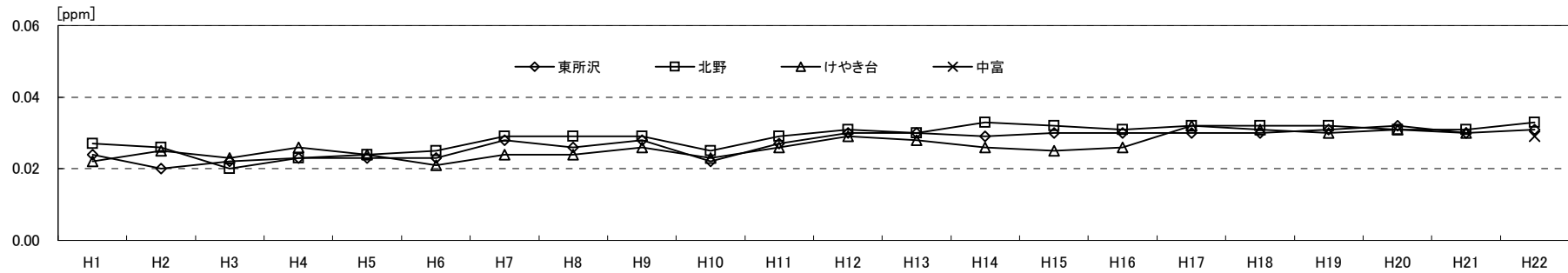
※中富測定局は平成22年5月設置のため、4月は未測定。

網掛け : 環境基準未達成の日数
 二重線 : 環境基準との比較に使用する値
 太枠 : 1年間で環境基準を満たさなかった日数
 環境基準 : 1時間値が0.06 ppm以下

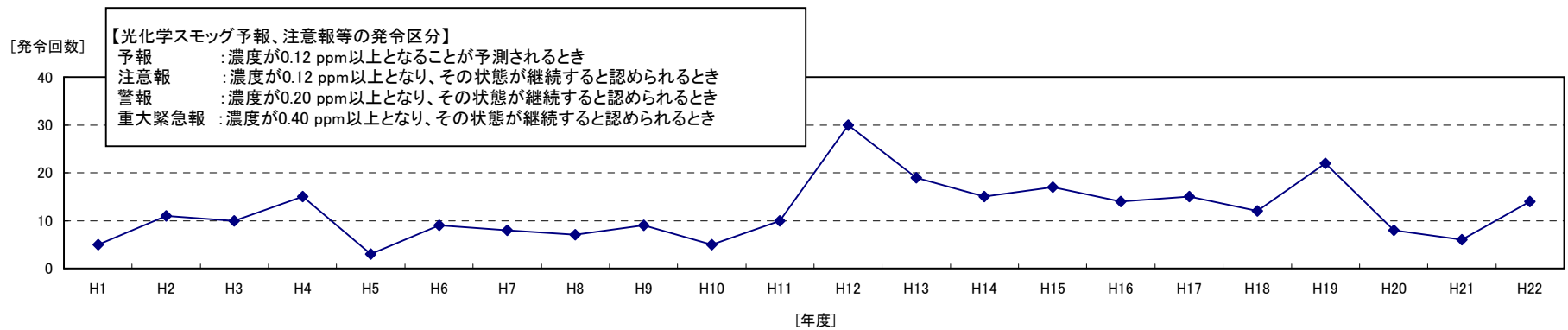
【光化学スモッグ予報、注意報等の発令区分】

予報 : 濃度が0.12 ppm以上となることが予測されるとき
 注意報 : 濃度が0.12 ppm以上となり、その状態が継続すると認められるとき
 警報 : 濃度が0.20 ppm以上となり、その状態が継続すると認められるとき
 重大緊急報 : 濃度が0.40 ppm以上となり、その状態が継続すると認められるとき

①-1 光化学オキシダント(Ox)の経年変化



①-2 光化学スモッグ注意報の発令状況

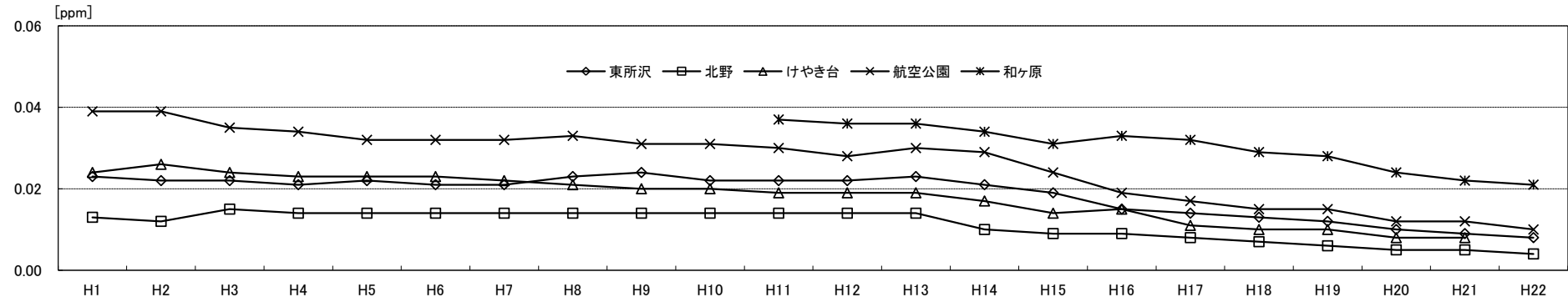


②一酸化窒素

(a)一酸化窒素(NO)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の98%値(ppm)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	0.010	0.010	0.008	0.008	-	0.044	0.050	0.042	0.039	-
東所沢測定局	住居	0.013	0.012	0.010	0.009	0.008	0.065	0.070	0.051	0.050	0.041
北野測定局	住居	0.007	0.006	0.005	0.005	0.004	0.036	0.034	0.029	0.027	0.021
航空公園測定局	無指定	0.015	0.015	0.012	0.012	0.010	0.053	0.064	0.052	0.043	0.037
和ヶ原測定局	準住	0.029	0.028	0.024	0.022	0.021	0.095	0.100	0.084	0.083	0.070

一酸化窒素(NO)の経年変化



(b)一酸化窒素(NO)の月間値

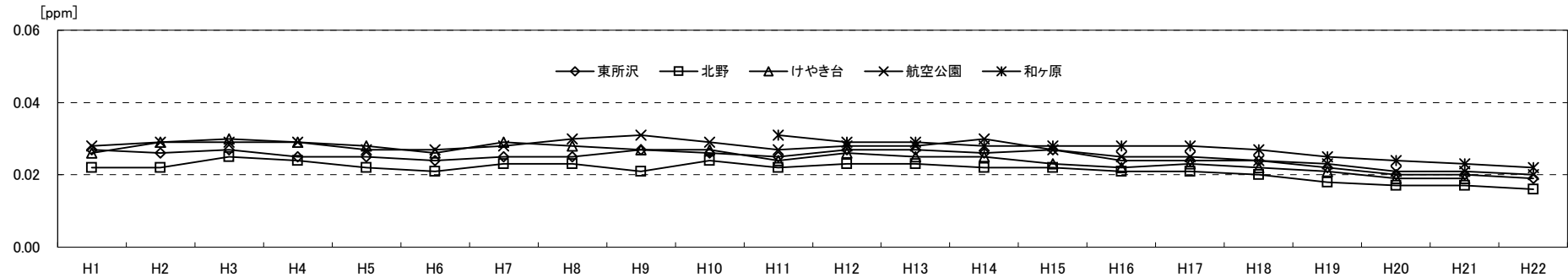
局名	項 目	H22年												H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	測定日数 日	30	30	30	31	31	30	29	30	31	31	28	15	346			
	測定時間 時間	708	728	709	730	733	710	718	710	735	732	662	367	8242			
	月平均値 ppm	0.004	0.002	0.003	0.003	0.002	0.003	0.006	0.021	0.020	0.012	0.012	0.005	0.008			
	1時間値の最高値 ppm	0.163	0.068	0.049	0.042	0.027	0.106	0.078	0.136	0.210	0.191	0.203	0.047	0.210			
	日平均値の最高値 ppm	0.032	0.008	0.009	0.011	0.005	0.015	0.019	0.042	0.063	0.040	0.051	0.011	0.063			
北野	測定日数 日	24	29	30	31	31	30	27	29	31	30	27	15	334			
	測定時間 時間	603	722	709	730	733	710	698	706	733	726	660	365	8095			
	月平均値 ppm	0.003	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	0.010	0.010	0.006	0.005	0.003	0.004			
	1時間値の最高値 ppm	0.061	0.017	0.026	0.020	0.024	0.040	0.031	0.065	0.098	0.074	0.062	0.053	0.098			
	日平均値の最高値 ppm	0.011	0.003	0.008	0.007	0.005	0.007	0.008	0.021	0.031	0.021	0.022	0.006	0.031			
航空公園	測定日数 日	30	30	30	31	31	30	29	30	31	27	15	344				
	測定時間 時間	708	723	707	731	732	710	719	710	722	731	654	369	8216			
	月平均値 ppm	0.006	0.006	0.006	0.008	0.009	0.005	0.004	0.018	0.023	0.015	0.013	0.009	0.010			
	1時間値の最高値 ppm	0.138	0.079	0.053	0.048	0.059	0.057	0.068	0.180	0.177	0.141	0.164	0.097	0.180			
	日平均値の最高値 ppm	0.030	0.019	0.015	0.021	0.024	0.018	0.015	0.035	0.055	0.035	0.061	0.018	0.061			
和ヶ原	測定日数 日	30	30	30	31	31	30	29	30	31	28	15	346				
	測定時間 時間	708	730	707	730	732	710	717	710	733	732	664	365	8238			
	月平均値 ppm	0.013	0.012	0.012	0.013	0.013	0.012	0.013	0.041	0.040	0.031	0.028	0.021	0.021			
	1時間値の最高値 ppm	0.182	0.098	0.097	0.086	0.087	0.100	0.123	0.247	0.324	0.238	0.266	0.176	0.324			
	日平均値の最高値 ppm	0.052	0.025	0.023	0.027	0.029	0.026	0.026	0.067	0.096	0.070	0.100	0.036	0.100			

③二酸化窒素

(a)二酸化窒素(NO₂)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の98%値(ppm)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	0.022	0.021	0.019	0.019	-	0.041	0.038	0.035	0.035	-
東所沢測定局	住居	0.024	0.022	0.02	0.02	0.019	0.041	0.041	0.036	0.037	0.037
北野測定局	住居	0.02	0.018	0.017	0.017	0.016	0.037	0.034	0.033	0.033	0.029
航空公園測定局	無指定	0.024	0.023	0.021	0.021	0.02	0.042	0.039	0.038	0.037	0.036
和ヶ原測定局	準住	0.027	0.025	0.024	0.023	0.022	0.046	0.043	0.041	0.039	0.039

二酸化窒素(NO₂)の経年変化



(b)二酸化窒素(NO₂)月間値

局名	項 目	H22年										H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定日数 日	30	30	30	31	31	30	29	30	31	31	28	15	346	
	測定時間 時間	708	728	709	730	733	710	718	710	735	732	662	367	8242	
	月平均値 ppm	0.019	0.015	0.016	0.014	0.011	0.016	0.021	0.025	0.025	0.022	0.025	0.022	0.019	
	1時間値の最高値 ppm	0.055	0.051	0.041	0.041	0.037	0.070	0.058	0.071	0.079	0.059	0.073	0.059	0.079	
	日平均値の最高値 ppm	0.030	0.024	0.022	0.023	0.021	0.030	0.032	0.036	0.038	0.037	0.043	0.030	0.043	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数 日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4		
北野	測定日数 日	24	29	30	31	31	30	27	29	31	30	27	15	334	
	測定時間 時間	603	722	709	730	733	710	698	706	733	726	660	365	8095	
	月平均値 ppm	0.017	0.013	0.014	0.012	0.011	0.015	0.018	0.021	0.020	0.018	0.016	0.014	0.016	
	1時間値の最高値 ppm	0.056	0.039	0.038	0.033	0.028	0.050	0.048	0.063	0.055	0.055	0.054	0.047	0.063	
	日平均値の最高値 ppm	0.031	0.021	0.020	0.020	0.018	0.032	0.029	0.028	0.031	0.032	0.030	0.021	0.032	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数 日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

局名	項 目	H22年										H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
航空公園	測定日数	30	30	30	31	31	30	29	30	30	31	27	15	344	
	測定時間	708	723	707	731	732	710	719	710	722	731	654	369	8216	
	月平均値	0.018	0.018	0.020	0.018	0.016	0.017	0.017	0.024	0.024	0.021	0.023	0.022	0.020	
	1時間値の最高値	0.045	0.042	0.046	0.048	0.051	0.049	0.064	0.068	0.060	0.054	0.073	0.065	0.073	
	日平均値の最高値	0.027	0.025	0.027	0.026	0.027	0.031	0.029	0.035	0.037	0.037	0.047	0.034	0.047	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		
和ヶ原	測定日数	30	30	30	31	31	30	29	30	31	31	28	15	346	
	測定時間	708	730	707	730	732	710	717	710	733	732	664	365	8238	
	月平均値	0.021	0.021	0.021	0.020	0.017	0.020	0.019	0.027	0.026	0.024	0.026	0.025	0.022	
	1時間値の最高値	0.053	0.052	0.048	0.052	0.047	0.060	0.057	0.070	0.056	0.059	0.069	0.063	0.070	
	日平均値の最高値	0.031	0.031	0.032	0.028	0.028	0.034	0.030	0.038	0.039	0.039	0.050	0.037	0.050	
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6		

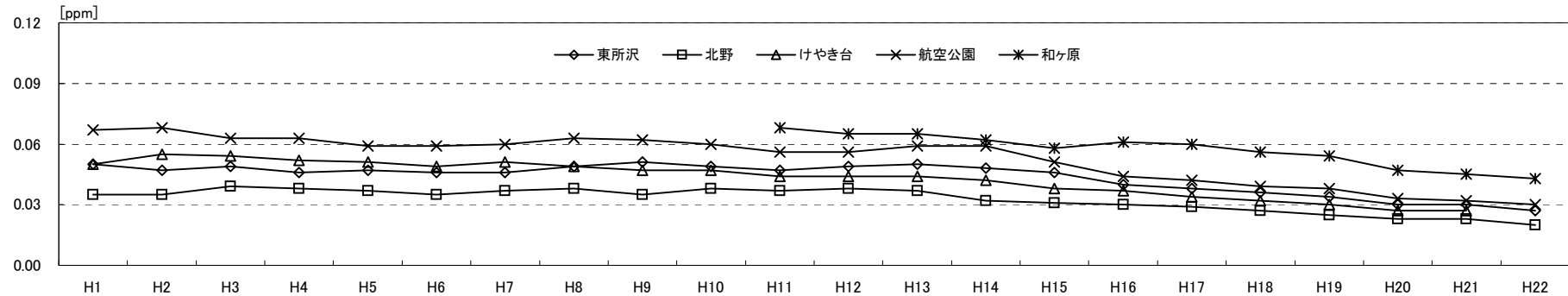
二重線 : 環境基準との比較に使用する値
 太枠 : 1年間で環境基準を満たさなかった日数
 環境基準 : 1時間値の一日平均値が0.04ppmから0.06ppm以内、あるいはそれ以下

④窒素酸化物

(a) 窒素酸化物(NO+NO₂)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の98%値(ppm)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	0.032	0.03	0.027	0.027	-	0.083	0.089	0.076	0.075	-
東所沢測定局	住居	0.036	0.034	0.030	0.030	0.027	0.102	0.109	0.087	0.089	0.077
北野測定局	住居	0.027	0.025	0.023	0.023	0.020	0.072	0.066	0.057	0.057	0.049
航空公園測定局	無指定	0.039	0.038	0.033	0.032	0.030	0.091	0.103	0.086	0.079	0.071
和ヶ原測定局	準住	0.056	0.054	0.047	0.045	0.043	0.132	0.142	0.122	0.116	0.108

窒素酸化物(NO_x)の経年変化



(b) 窒素酸化物(NO+NO₂)の月間値

局名	項	目	H22年												H22年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東所沢	測定日数	日	30	30	30	31	31	30	29	30	31	31	28	15	346
	測定時間	時間	708	728	709	730	733	710	718	710	735	732	662	367	8242
	月平均値	ppm	0.023	0.016	0.019	0.017	0.013	0.019	0.026	0.046	0.046	0.034	0.038	0.027	0.027
	1時間値の最高値	ppm	0.204	0.104	0.074	0.070	0.052	0.136	0.110	0.175	0.259	0.242	0.259	0.084	0.259
	日平均値の最高値	ppm	0.052	0.026	0.030	0.033	0.025	0.044	0.044	0.077	0.097	0.077	0.094	0.036	0.097
	月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)	%	82.3	88.9	84.5	81.7	84.9	84.8	78.4	55.1	55.5	65.9	66.9	81.4	71.0

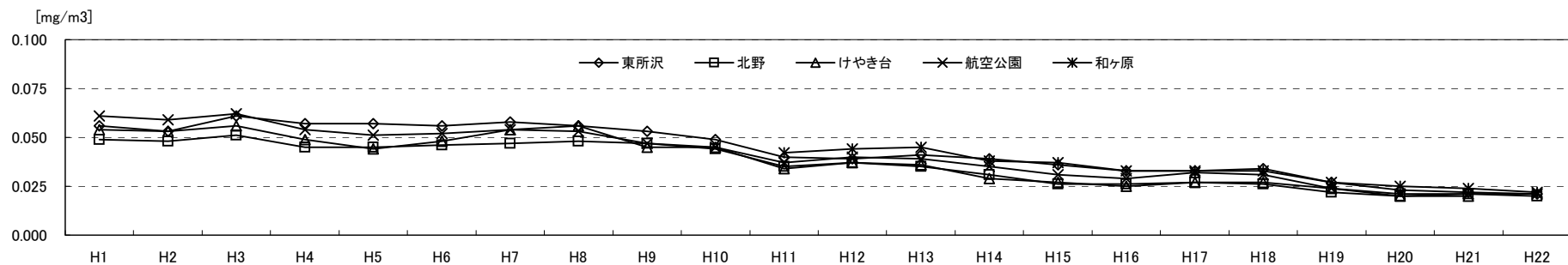
局名	項目	H22年										H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
北野	測定日数	24	29	30	31	31	30	27	29	31	30	27	15	334	
	測定時間	603	722	709	730	733	710	698	706	733	726	660	365	8095	
	月平均値	0.019	0.014	0.016	0.013	0.013	0.018	0.021	0.031	0.030	0.024	0.022	0.017	0.020	
	1時間値の最高値	0.093	0.043	0.046	0.038	0.041	0.070	0.070	0.106	0.133	0.126	0.102	0.092	0.133	
	日平均値の最高値	0.035	0.022	0.028	0.026	0.020	0.037	0.035	0.047	0.056	0.053	0.051	0.027	0.056	
月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)		%	86.6	92.1	87.7	86.0	84.9	88.3	85.6	68.7	65.5	74.6	75.0	83.3	79.1
航空公園	測定日数	30	30	30	31	31	30	29	30	30	31	27	15	344	
	測定時間	708	723	707	731	732	710	719	710	722	731	654	369	8216	
	月平均値	0.024	0.024	0.025	0.026	0.025	0.022	0.022	0.042	0.047	0.037	0.036	0.031	0.030	
	1時間値の最高値	0.165	0.102	0.088	0.065	0.083	0.085	0.098	0.217	0.229	0.188	0.206	0.140	0.229	
	日平均値の最高値	0.055	0.042	0.037	0.038	0.037	0.043	0.039	0.069	0.092	0.071	0.108	0.048	0.108	
月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)		%	75.9	75.5	78.0	70.6	64.2	76.2	80.5	56.7	50.9	58.6	65.0	71.9	66.2
和ヶ原	測定日数	30	30	30	31	31	30	29	30	31	28	15	346		
	測定時間	708	730	707	730	732	710	717	710	733	732	664	365	8238	
	月平均値	0.034	0.032	0.033	0.034	0.030	0.032	0.032	0.068	0.066	0.055	0.054	0.046	0.043	
	1時間値の最高値	0.227	0.141	0.138	0.107	0.103	0.127	0.162	0.294	0.380	0.296	0.322	0.223	0.380	
	日平均値の最高値	0.082	0.052	0.051	0.046	0.043	0.053	0.052	0.105	0.127	0.109	0.150	0.073	0.150	
月平均値NO ₂ /(NO+NO ₂)		%	61.6	64.2	64.1	60.3	57.3	61.5	59.3	40.1	39.3	43.7	48.1	54.1	51.7

⑤浮遊粒子状物質

(a)浮遊粒子状物質(SPM)の経年変化



測定局名	用途地域	年平均値(mg/m ³)					日平均値の2%除外値(mg/m ³)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	0.027	0.024	0.020	0.020	-	0.064	0.056	0.047	0.048	-
東所沢測定局	住居	0.034	0.027	0.023	0.022	0.021	0.082	0.071	0.059	0.051	0.050
北野測定局	住居	0.026	0.022	0.020	0.021	0.020	0.063	0.055	0.051	0.050	0.049
航空公園測定局	無指定	0.031	0.024	0.021	0.021	0.021	0.078	0.066	0.059	0.051	0.051
和ヶ原測定局	準住	0.033	0.027	0.025	0.024	0.022	0.080	0.075	0.058	0.054	0.055

浮遊粒子状物質(SPM)の経年変化



(b)浮遊粒子状物質(SPM)の月間値

局名	項	目	H22年										H23年			H22年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	測定日数	日	30	31	15	18	31	30	28	30	31	31	28	28	331	
	測定時間	時間	714	738	367	422	740	715	710	716	740	740	668	718	7988	
	月平均値	mg/m ³	0.017	0.020	0.021	0.030	0.031	0.024	0.020	0.023	0.017	0.011	0.023	0.018	0.021	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.076	0.088	0.096	0.093	0.120	0.084	0.074	0.093	0.086	0.053	0.097	0.083	0.120	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.038	0.050	0.029	0.047	0.077	0.059	0.041	0.073	0.050	0.033	0.070	0.035	0.077		
北野	測定日数	日	27	30	30	31	31	30	28	30	31	31	28	31	358	
	測定時間	時間	663	733	714	737	738	716	710	716	740	740	667	739	8613	
	月平均値	mg/m ³	0.016	0.019	0.024	0.027	0.028	0.022	0.019	0.019	0.014	0.010	0.022	0.016	0.020	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.075	0.081	0.110	0.100	0.126	0.075	0.068	0.074	0.086	0.071	0.094	0.116	0.126	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.032	0.047	0.047	0.053	0.068	0.056	0.039	0.057	0.042	0.032	0.070	0.041	0.070		
航空公園	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	28	30	30	31	27	15	344	
	測定時間	時間	713	735	713	738	738	716	708	716	729	739	659	372	8276	
	月平均値	mg/m ³	0.018	0.021	0.024	0.025	0.027	0.022	0.021	0.022	0.016	0.011	0.024	0.017	0.021	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.087	0.087	0.097	0.082	0.094	0.097	0.079	0.098	0.070	0.066	0.110	0.053	0.110	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.038	0.056	0.047	0.047	0.062	0.062	0.043	0.071	0.040	0.034	0.076	0.032	0.076		
和ヶ原	測定日数	日	30	31	30	31	31	30	29	30	31	29	28	15	345	
	測定時間	時間	712	737	714	739	738	716	706	714	739	717	668	368	8268	
	月平均値	mg/m ³	0.020	0.023	0.027	0.030	0.030	0.024	0.020	0.021	0.016	0.012	0.025	0.018	0.022	
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	mg/m ³	0.077	0.090	0.105	0.114	0.094	0.090	0.078	0.083	0.121	0.073	0.098	0.054	0.121	
日平均値の最高値	mg/m ³	0.042	0.054	0.052	0.057	0.064	0.058	0.039	0.055	0.041	0.037	0.069	0.034	0.069		

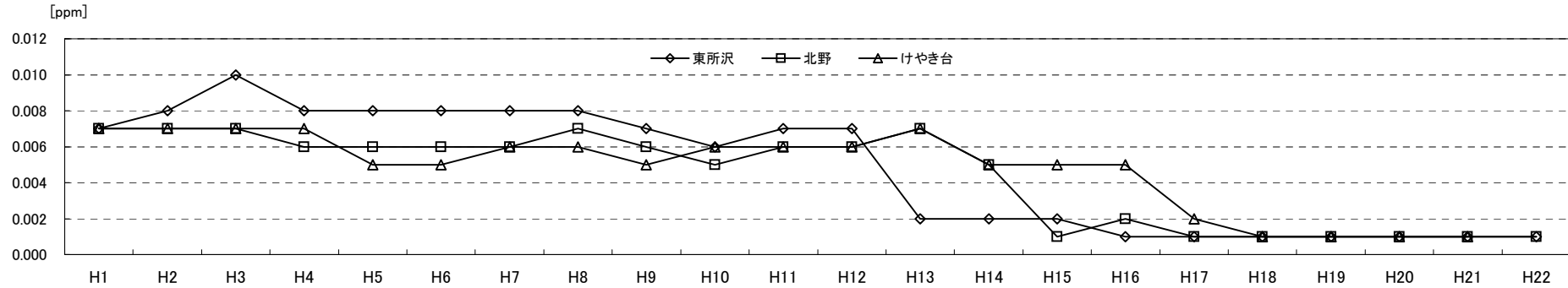
二重線  : 環境基準との比較に使用する値
 太枠  : 1年間で環境基準を満たさなかった日数
 環境基準 : 1時間値の1日平均値が0.10 mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下

⑥二酸化硫黄

(a)二酸化硫黄(SO₂)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の2%除外値(ppm)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	0.001	0.001	0.001	0.001	-	0.003	0.003	0.003	0.002	-
東所沢測定局	住居	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002
北野測定局	住居	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002

二酸化硫黄(SO₂)の経年変化



(b) 二酸化硫黄(SO₂)の月間値

局名	項 目	H22年										H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東所沢	有効測定日数	30	31	30	31	31	30	29	30	31	31	28	28	360	
	有効測定時間	708	731	709	732	733	709	721	710	735	732	659	711	8590	
	月平均値	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	0.005	0.004	0.011	0.004	0.020	0.008	0.007	0.020	0.007	0.005	0.008	0.008	0.020	
日平均値の最高値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.004	0.002	0.004		
北野	有効測定日数	27	31	30	31	31	30	29	30	31	31	28	31	360	
	有効測定時間	654	728	709	732	732	710	720	710	732	731	662	728	8548	
	月平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	0.003	0.005	0.007	0.005	0.030	0.006	0.005	0.004	0.004	0.005	0.006	0.008	0.030	
日平均値の最高値	0.001	0.002	0.002	0.002	0.005	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.005		

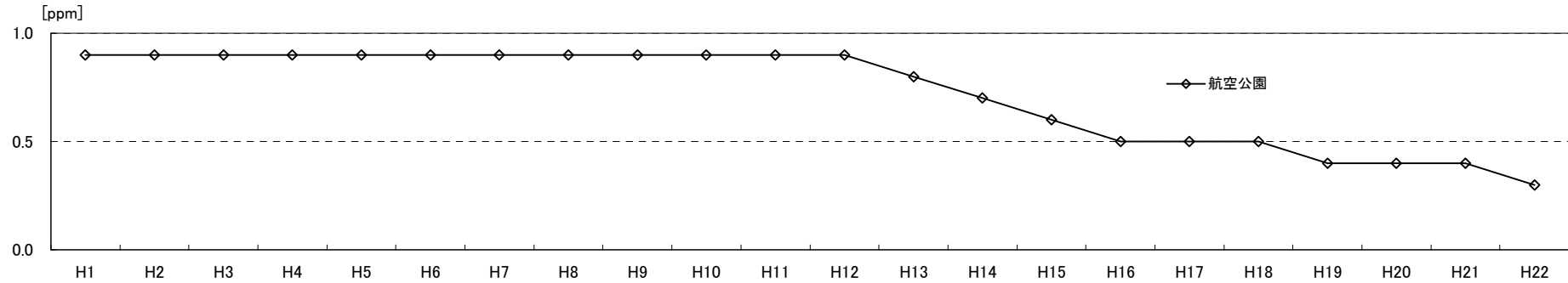
二重線 : 環境基準との比較に使用する値
太枠 : 1年間で環境基準を満たさなかった日数
 環境基準 : 1時間値の一日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下

⑦一酸化炭素

(a)一酸化炭素(CO)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppm)					日平均値の2%除外値(ppm)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
航空公園測定局	調整	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.8	0.9	0.7	0.7	0.7

一酸化炭素(CO)の経年変化



(b)一酸化炭素(CO)の月間値

局名	項	目	H22年										H23年			H22年度
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
航空公園	有効測定日数	日	30	31	30	31	31	30	30	30	30	31	27	15	346	
	測定時間	時間	709	732	710	734	734	712	729	711	725	734	655	370	8255	
	月平均値	ppm	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3
	8時間値が20ppmを超えた時間数	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が10ppmを超えた日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	ppm	1.0	0.9	0.7	0.7	0.6	0.8	1.0	1.4	1.6	1.4	1.5	0.9	1.6	
	日平均値の最高値	ppm	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.8	
	1時間値が30ppm以上となった日数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

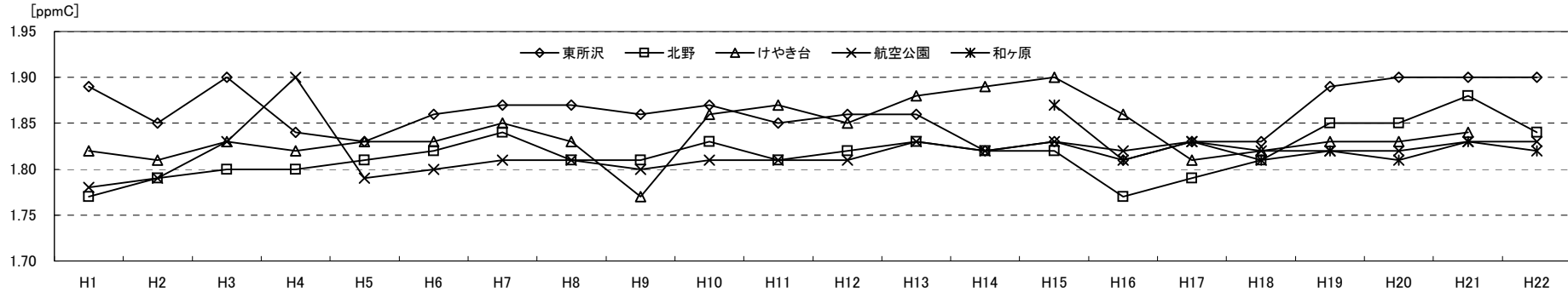
二重線 :環境基準との比較に使用する値
 環境基準 :1時間値の一日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下
 太枠 :1年間で環境基準を満たさなかった日数

⑧メタン

(a)メタン(CH₄)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppmC)					6～9時における年平均値(ppmC)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	1.82	1.83	1.83	1.84	-	1.84	1.84	1.84	1.85	-
東所沢測定局	住居	1.83	1.89	1.90	1.90	1.90	1.85	1.91	1.92	1.93	1.93
北野測定局	住居	1.81	1.85	1.85	1.88	1.84	1.82	1.86	1.87	1.89	1.86
航空公園測定局	無指定	1.82	1.82	1.82	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.84	1.84
和ヶ原測定局	準住	1.81	1.82	1.81	1.83	1.82	1.83	1.83	1.83	1.84	1.84

メタン(CH₄)の経年変化



(b)メタン(CH₄)の月間値

局名	項目	H22年												H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	測定時間	時間	683	705	348	557	686	685	701	683	708	708	639	353	7456		
	月平均値	ppmC	1.91	1.90	1.89	1.83	1.81	1.86	1.91	1.94	1.95	1.94	1.95	1.94	1.90		
	6～9時における月平均値	ppmC	1.93	1.91	1.91	1.87	1.85	1.89	1.93	1.97	1.99	1.99	1.98	1.97	1.93		
	6～9時測定日数	日	30	31	16	24	30	30	31	30	31	31	28	16	328		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	2.07	2.04	1.99	2.04	1.98	2.00	2.04	2.11	2.10	2.14	2.20	2.04	2.20	
	最低値	ppmC	1.82	1.82	1.80	1.72	1.71	1.78	1.86	1.85	1.88	1.90	1.90	1.91	1.71		
北野	測定時間	時間	608	703	676	707	707	672	703	685	705	707	639	354	7866		
	月平均値	ppmC	1.88	1.86	1.85	1.80	1.77	1.80	1.83	1.86	1.87	1.86	1.87	1.85	1.84		
	6～9時における月平均値	ppmC	1.88	1.86	1.87	1.83	1.80	1.82	1.84	1.87	1.89	1.90	1.89	1.87	1.86		
	6～9時測定日数	日	27	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	16	346		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	1.97	1.96	1.97	1.97	1.92	1.92	1.93	2.00	1.97	1.96	1.99	1.93	2.00	
	最低値	ppmC	1.81	1.78	1.75	1.69	1.68	1.71	1.79	1.78	1.80	1.83	1.83	1.82	1.68		
航空公園	測定時間	時間	684	705	682	699	628	685	702	686	695	707	619	356	7848		
	月平均値	ppmC	1.86	1.84	1.82	1.80	1.76	1.78	1.81	1.83	1.84	1.86	1.87	1.86	1.83		
	6～9時における月平均値	ppmC	1.86	1.84	1.85	1.84	1.79	1.80	1.82	1.84	1.85	1.89	1.88	1.86	1.84		
	6～9時測定日数	日	30	31	30	31	28	30	31	30	29	31	26	16	343		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	1.92	1.96	1.99	1.98	1.95	1.91	1.93	1.91	1.94	1.95	1.97	1.94	1.99	
	最低値	ppmC	1.79	1.77	1.73	1.72	1.69	1.71	1.77	1.76	1.78	1.83	1.83	1.82	1.69		

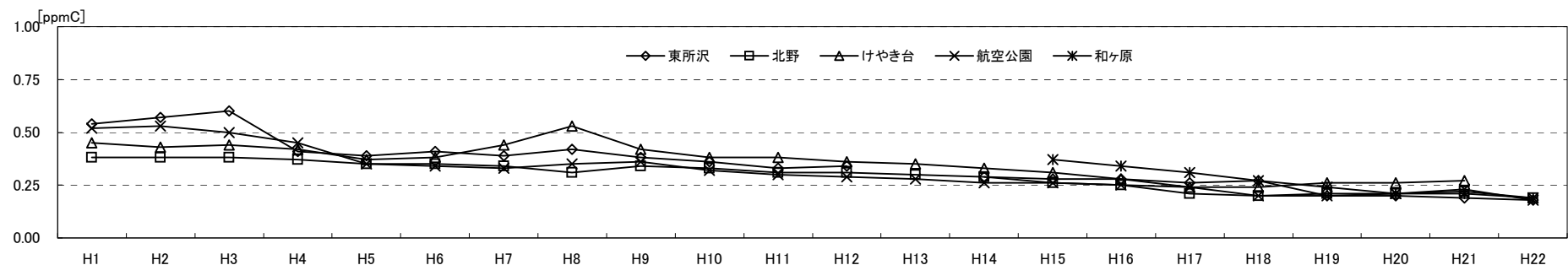
和ヶ原	測定時間		時間	685	706	682	706	706	685	684	683	706	707	639	352	7941
	月平均値		ppmC	1.83	1.82	1.82	1.77	1.74	1.78	1.81	1.89	1.86	1.84	1.84	1.82	1.82
	6～9時における月平均値		ppmC	1.83	1.82	1.83	1.80	1.76	1.79	1.83	1.90	1.92	1.91	1.87	1.84	1.84
	6～9時測定日数		日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	16	350
	6～9時3時間値		最高値	ppmC	1.91	1.91	2.03	1.93	1.87	1.90	1.98	2.21	2.48	2.07	2.05	1.90
		最低値	ppmC	1.77	1.74	1.73	1.66	1.65	1.72	1.75	1.73	1.74	1.77	1.78	1.78	1.65

⑨非メタン炭化水素

(a)非メタン炭化水素(NMHC)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppmC)					6～9時における年平均値(ppmC)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	0.24	0.26	0.26	0.27	-	0.24	0.26	0.26	0.28	-
東所沢測定局	住居	0.27	0.20	0.20	0.19	0.18	0.30	0.23	0.21	0.21	0.20
北野測定局	住居	0.20	0.21	0.21	0.22	0.19	0.22	0.23	0.22	0.24	0.21
航空公園測定局	無指定	0.20	0.20	0.21	0.23	0.18	0.21	0.21	0.21	0.24	0.19
和ヶ原測定局	準住	0.27	0.24	0.21	0.21	0.19	0.30	0.28	0.24	0.23	0.21

非メタン炭化水素(NMHC)の経年変化







(b)非メタン炭化水素(NMHC)の月間値

局名	項目	H22年										H23年			H22年度	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
東所沢	測定時間	時間	683	705	348	555	686	685	701	683	708	708	639	353	7454	
	月平均値	ppmC	0.16	0.15	0.16	0.17	0.15	0.17	0.18	0.25	0.23	0.17	0.18	0.16	0.18	
	6～9時における月平均値	ppmC	0.16	0.16	0.17	0.18	0.16	0.17	0.18	0.26	0.27	0.24	0.23	0.19	0.20	
	6～9時測定日数	日	30	31	16	24	30	30	31	30	31	31	28	16	328	
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.36	0.33	0.25	0.26	0.27	0.31	0.34	0.54	0.49	0.53	0.61	0.35	0.61
		最低値	ppmC	0.07	0.06	0.11	0.09	0.08	0.08	0.08	0.10	0.07	0.07	0.06	0.08	0.06
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数		日	5	5	4	7	3	9	10	20	20	16	11	6	116
	6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数		日	2	1	0	0	0	0	2	8	12	9	7	2	43

局名	項 目	H22年										H23年			H22年度	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
北野	測定時間	時間	608	703	675	707	707	672	702	685	705	707	639	354	7864	
	月平均値	ppmC	0.18	0.18	0.22	0.21	0.18	0.17	0.18	0.24	0.22	0.17	0.19	0.17	0.19	
	6～9時における月平均値	ppmC	0.17	0.17	0.23	0.21	0.19	0.18	0.18	0.25	0.26	0.25	0.24	0.21	0.21	
	6～9時測定日数	日	27	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	16	346	
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.43	0.30	0.43	0.33	0.28	0.33	0.40	0.49	0.53	0.44	0.57	0.35	0.57
		最低値	ppmC	0.08	0.08	0.12	0.10	0.10	0.06	0.07	0.09	0.08	0.06	0.07	0.10	0.06
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数	日	5	12	18	16	13	7	9	23	20	20	14	7	164	
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数	日	2	0	2	1	0	1	3	4	9	10	9	1	42		
航空公園	測定時間	時間	684	702	477	0	69	685	702	685	694	707	619	356	6380	
	月平均値	ppmC	0.14	0.18	0.24	欠測※	0.27	0.18	0.14	0.21	0.20	0.16	0.18	0.15	0.18	
	6～9時における月平均値	ppmC	0.14	0.18	0.24	欠測※	0.25	0.18	0.14	0.20	0.23	0.24	0.21	0.17	0.19	
	6～9時測定日数	日	30	31	21	0	3	30	31	30	28	31	26	16	277	
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.41	0.36	0.34	欠測※	0.28	0.32	0.33	0.35	0.45	0.40	0.45	0.33	0.45
		最低値	ppmC	0.02	0.04	0.09	欠測※	0.21	0.06	0.02	0.05	0.03	0.06	0.04	0.07	0.02
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数	日	6	13	16	0	3	13	5	16	15	19	12	5	123	
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数	日	1	2	2	0	0	1	1	3	8	10	6	1	35		
和ヶ原	測定時間	時間	683	689	677	705	705	680	677	677	703	706	638	350	7890	
	月平均値	ppmC	0.15	0.16	0.18	0.17	0.15	0.17	0.20	0.28	0.24	0.19	0.20	0.16	0.19	
	6～9時における月平均値	ppmC	0.15	0.15	0.19	0.17	0.16	0.17	0.20	0.30	0.31	0.30	0.26	0.20	0.21	
	6～9時測定日数	日	30	29	29	31	31	30	31	29	31	31	28	16	346	
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	0.37	0.31	0.38	0.30	0.26	0.32	0.42	0.58	0.65	0.57	0.60	0.33	0.65
		最低値	ppmC	0.04	0.05	0.07	0.06	0.07	0.05	0.05	0.09	0.07	0.04	0.05	0.06	0.04
	6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数	日	6	7	12	6	5	11	12	24	22	20	14	8	147	
6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数	日	2	0	2	0	0	1	3	12	14	15	10	3	62		

※航空公園測定局の7月の値は、測定機器の故障により欠測。

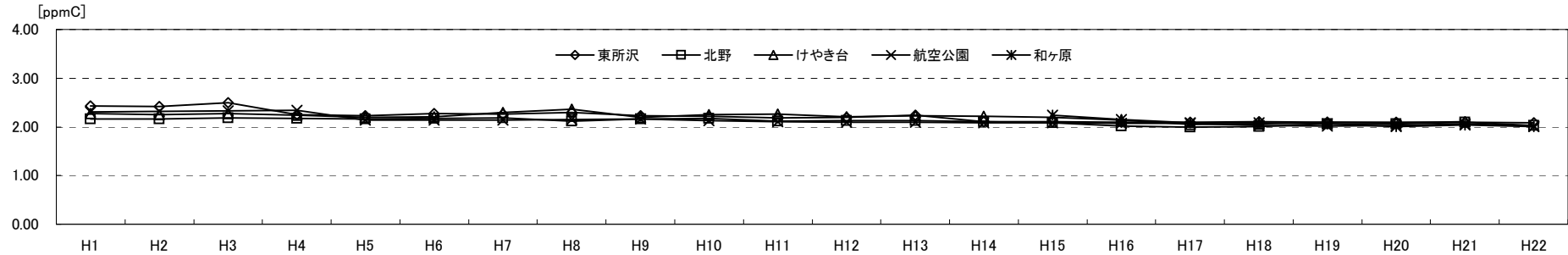
網掛け  : 指針値未達成の日数
 二重線  : 指針との比較に使用する値
 太枠  : 1年間で指針値を満たさなかった日数
 指針値  : 午前6時～9時までの非メタン化炭素の3時間平均値が0.20ppmC～0.31ppmCの範囲内

⑩全炭化水素

(a)全炭化水素(THC)の経年変化

測定局名	用途地域	年平均値(ppmC)					6～9時における年平均値(ppmC)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
けやき台測定局	住居	2.06	2.09	2.08	2.11	-	2.08	2.10	2.10	2.13	-
東所沢測定局	住居	2.11	2.09	2.09	2.09	2.08	2.15	2.14	2.13	2.13	2.13
北野測定局	住居	2.01	2.06	2.06	2.10	2.03	2.04	2.09	2.09	2.13	2.07
航空公園測定局	無指定	2.03	2.02	2.03	2.06	2.02	2.04	2.04	2.04	2.08	2.04
和ヶ原測定局	準住	2.08	2.06	2.01	2.04	2.01	2.14	2.11	2.06	2.07	2.06

全炭化水素(THC)の経年変化



(b)全炭化水素(THC)の月間値

局名	項目	H22年												H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
東所沢	測定時間	時間	683	705	348	555	686	685	701	683	708	708	639	353	7454		
	月平均値	ppmC	2.07	2.05	2.04	2.00	1.96	2.03	2.09	2.19	2.18	2.10	2.13	2.10	2.08		
	6～9時における月平均値	ppmC	2.09	2.06	2.08	2.06	2.01	2.06	2.11	2.23	2.26	2.23	2.21	2.16	2.13		
	6～9時測定日数	日	30	31	16	24	30	30	31	30	31	31	28	16	328		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	2.42	2.32	2.19	2.24	2.24	2.27	2.38	2.64	2.59	2.63	2.81	2.37	2.81	
	最低値	ppmC	1.89	1.90	1.91	1.82	1.82	1.95	1.95	1.95	1.97	1.99	1.96	1.99	1.82		
北野	測定時間	時間	608	703	675	707	707	672	702	685	705	707	639	354	7864		
	月平均値	ppmC	2.06	2.04	2.06	2.01	1.95	1.97	2.01	2.10	2.08	2.03	2.06	2.03	2.03		
	6～9時における月平均値	ppmC	2.05	2.03	2.10	2.04	1.99	1.99	2.03	2.12	2.15	2.15	2.13	2.08	2.07		
	6～9時測定日数	日	27	31	30	31	31	29	31	30	31	31	28	16	346		
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	2.40	2.22	2.38	2.26	2.17	2.22	2.33	2.49	2.47	2.40	2.55	2.28	2.55	
	最低値	ppmC	1.90	1.89	1.91	1.81	1.78	1.85	1.87	1.87	1.90	1.91	1.92	1.93	1.78		

局名	項 目	H22年										H23年			H22年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
航空公園	測定時間	時間	684	702	477	0	69	685	702	685	694	707	619	356	6380
	月平均値	ppmC	2.01	2.03	2.05	欠測※	2.04	1.96	1.95	2.04	2.04	2.02	2.06	2.01	2.02
	6～9時における月平均値	ppmC	2.00	2.02	2.08	欠測※	2.06	1.98	1.96	2.04	2.08	2.12	2.09	2.03	2.04
	6～9時測定日数	日	30	31	21	0	3	30	31	30	28	31	26	16	277
	6～9時3時間値	最高値	ppmC	2.33	2.23	2.27	欠測※	2.14	2.18	2.26	2.22	2.35	2.34	2.42	2.27
最低値		ppmC	1.86	1.85	1.89	欠測※	1.93	1.84	1.81	1.81	1.82	1.92	1.88	1.90	1.81
和ヶ原	測定時間	時間	683	689	677	705	705	680	677	677	703	706	638	350	7890
	月平均値	ppmC	1.98	1.98	1.99	1.94	1.89	1.94	2.01	2.17	2.11	2.03	2.04	1.98	2.01
	6～9時における月平均値	ppmC	1.98	1.97	2.02	1.96	1.93	1.97	2.02	2.20	2.23	2.21	2.13	2.05	2.06
	6～9時測定日数	日	30	29	29	31	31	30	31	29	31	31	28	16	346
	6～9時3時間値	最高値	時間	2.26	2.22	2.41	2.16	2.10	2.23	2.40	2.79	3.07	2.65	2.65	2.21
最低値		ppmC	1.81	1.83	1.87	1.74	1.72	1.79	1.80	1.81	1.82	1.84	1.86	1.85	1.72

※航空公園測定局の7月の値は、測定機器の故障により欠測。

(4)有害大気汚染物質

①東所沢測定局

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定対象物質	H22年										H23年			H22年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
アクリロニトリル	0.022	0.027	0.068	0.086	0.01	0.09	0.03	0.052	0.24	0.083	0.04	0.048	0.066	0.24	0.01	
塩化ビニルモノマー	0.0059	0.0081	0.01	0.0093	ND(0.0037)	ND(0.0035)	0.024	ND(0.0032)	0.052	ND(0.0029)	0.018	ND(0.0025)	0.011	0.052	ND(0.0025)	
クロロホルム	0.071	0.13	0.14	0.2	0.12	0.11	0.16	0.1	0.26	0.029	0.099	0.085	0.13	0.26	0.029	
1,2-ジクロロエタン	0.031	0.093	0.074	0.22	0.065	0.12	0.11	0.057	0.11	0.019	0.075	0.056	0.086	0.22	0.019	
ジクロロメタン	2.2	29	10	7.8	1.9	3.8	8.5	15	16	15	18	7.3	11.2	29	1.9	
トリクロロエチレン	0.93	0.57	1	1.3	0.35	0.8	1.4	1.6	3.5	0.92	1.3	2.6	1.4	3.5	0.35	
テトラクロロエチレン	0.24	0.1	0.37	0.52	0.049	0.26	0.65	0.22	1.2	0.23	0.35	0.9	0.42	1.2	0.049	
ベンゼン	0.88	0.6	0.93	1.8	1.1	1.8	1.1	1.1	2.7	0.98	1.2	1.7	1.3	2.7	0.6	
1,3-ブタジエン	0.064	0.015	0.085	0.08	0.16	0.042	0.11	0.12	0.3	0.059	0.1	0.18	0.11	0.3	0.015	

注1)測定結果については、測定値が検出下限値以上の場合は「その値」を用い、検出下限値未満の場合は「検出下限値の1/2の値ND」とした。

注2)平均値の算出においては、測定結果が検出下限値未満の場合は「検出下限値の1/2の値」を用い、算術平均した。

太枠 : 環境基準との比較に使用する値

重金属類 : 環境基準との比較に使用する値

【環境基準】

・ベンゼン	年平均値が $3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること
・トリクロロエチレン	年平均値が $200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること
・テトラクロロエチレン	年平均値が $200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること
・ジクロロメタン	年平均値が $150\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること

【指針値】

・アクリロニトリル	$2\mu\text{g}/\text{m}^3$	・1,2-ジクロロエタン	$1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$
・塩化ビニルモノマー	$10\mu\text{g}/\text{m}^3$	・1,3-ブタジエン	$2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$
・水銀及びその化合物	$40\text{ng}/\text{m}^3$		
・ニッケル化合物	$25\text{ng}/\text{m}^3$		
・クロロホルム	$18\mu\text{g}/\text{m}^3$		

②北野測定局

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定対象物質	H22年										H23年			H22年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
アクリロニトリル	0.024	0.027	0.052	0.072	ND(0.0042)	0.056	0.039	0.047	0.15	0.0086	0.045	0.034	0.046	0.15	0.0086	
塩化ビニルモノマー	0.0059	0.0081	ND(0.0035)	0.0047	ND(0.0037)	ND(0.0035)	0.0096	ND(0.0032)	0.0045	ND(0.0029)	0.016	ND(0.0025)	0.005	0.016	ND(0.0025)	
キシレン類	5.1	3.1	11	16	5.6	18	8.7	5.9	8.9	1.5	3.3	3.8	7.6	18	1.5	
クロロホルム	0.081	0.083	0.15	0.13	0.094	0.11	0.19	0.073	0.21	0.0093	0.098	0.071	0.11	0.21	0.0093	
1,2-ジクロロエタン	0.033	0.094	0.08	0.2	0.055	0.1	0.11	0.052	0.076	0.012	0.081	0.061	0.08	0.2	0.012	
ジクロロメタン	1.6	0.9	2.6	2	2.8	1.7	2.3	1.2	3.1	0.49	1.6	2.5	1.9	3.1	0.49	
トリクロロエチレン	1.3	1.3	1.5	1	0.31	0.72	1.5	1.3	3.1	1.4	2	2.2	1.5	3.1	0.31	
テトラクロロエチレン	0.22	0.041	0.26	0.3	0.025	0.19	0.42	0.38	0.75	0.016	0.19	0.24	0.25	0.75	0.016	
トルエン	570	15	23	31	12	56	18	9.7	23	3	10	14	65.4	570	3	
ベンゼン	0.84	0.49	1.2	1.4	0.87	1.8	1.2	1.1	2.4	0.8	1.3	1.6	1.3	2.4	0.49	
1,3-ブタジエン	0.058	0.015	0.074	0.041	0.11	0.028	0.091	0.096	0.22	0.027	0.11	0.13	0.08	0.22	0.015	

注1)、注2)参照

③和ヶ原測定局

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ただし、ベンゾ[a]ピレンは ng/m^3)

測定対象物質	H22年										H23年			H22年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
キシレン類	4.6	5.4	13	3.9	11	2.6	15	9.7	7.3	2.3	3.5	4	6.9	15	2.3	
トルエン	14	9.6	28	11	18	9.3	29	14	20	3.7	14	14	15	29	3.7	
ベンゼン	1	0.57	1.3	1	1.3	1.1	1.5	1.5	2.8	0.95	1.5	1.8	1.4	2.8	0.57	
1,3-ブタジエン	0.11	0.037	0.14	0.095	0.17	0.09	0.15	0.2	0.32	0.074	0.16	0.21	0.15	0.32	0.037	
アセトアルデヒド	1.6	1.4	3.3	4.3	2	3	2.6	2.4	4.4	1.1	2.3	2.3	2.6	4.4	1.1	
ホルムアルデヒド	1.2	1.2	1.3	3.7	3	5.5	3.5	1.5	3.3	0.99	1.5	1.5	2.3	5.5	0.99	
ベンゾ[a]ピレン	0.047	0.029	0.11	0.059	0.054	0.055	0.12	0.13	0.35	0.043	0.22	0.19	0.12	0.35	0.029	

注1)、注2)参照

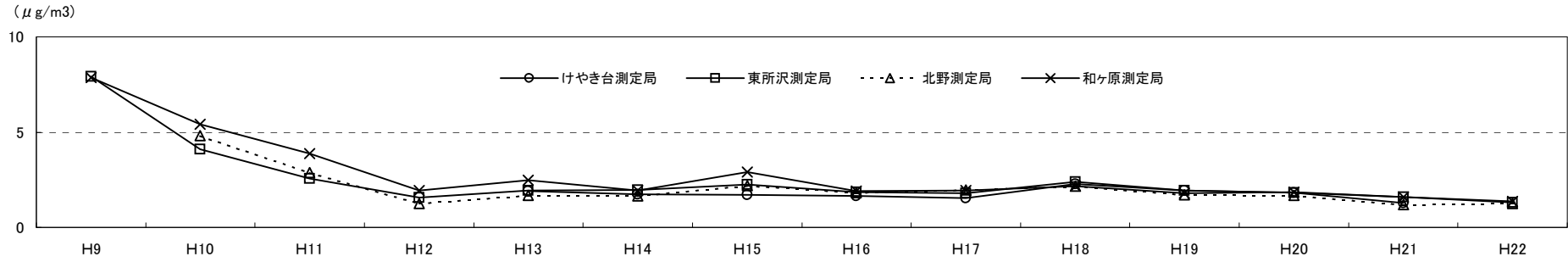
④教育センター

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ただし、ベンゾ[a]ピレン及び重金属類は ng/m^3 、アスベストは f/ℓ)

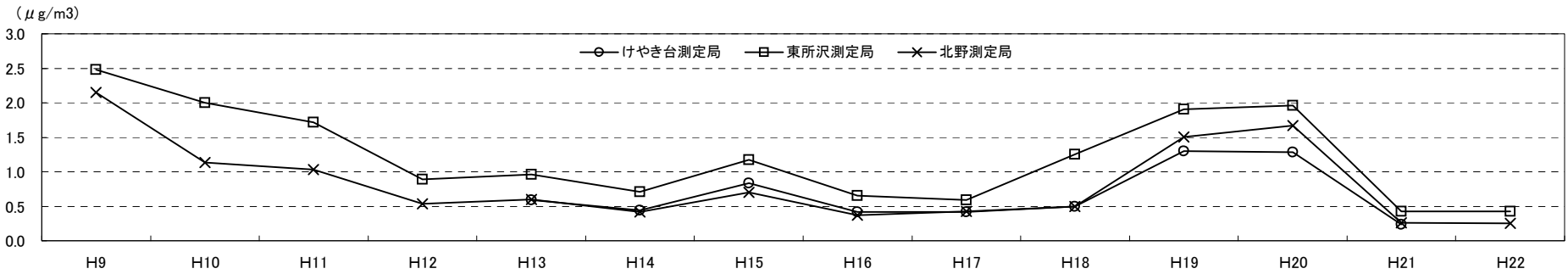
測定対象物質	H22年										H23年			H22年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
酸化エチレン	0.056	0.055	0.097	0.11	0.055	0.11	0.11	0.087	0.088	0.037	0.053	0.052	0.08	0.11	0.037	
アセトアルデヒド	1.5	1.4	3.1	3.6	3	4.8	3.3	2.7	3.9	1.2	2.1	2	2.7	4.8	1.2	
ホルムアルデヒド	1.1	1	2.7	2.4	2.1	4.5	2.8	1.4	2.1	0.85	1.3	0.96	1.9	4.5	0.85	
ベンゾ(a)ピレン	0.043	0.018	0.085	0.053	0.026	0.05	0.13	0.084	0.22	0.038	0.18	0.14	0.09	0.22	0.018	
ニッケル(Ni)	2.1	5.7	4.7	2.7	0.99	1.5	2.1	0.59	5.8	2.4	2.6	0.68	2.7	5.8	0.59	
ヒ素(As)	0.88	0.85	2.1	1.1	0.36	1.3	2.9	0.3	1.3	0.4	2	0.62	1.2	2.9	0.3	
マンガン(Mn)	11	30	45	13	7.2	24	14	16	33	13	64	11	23	64	7.2	
ベリリウム(Be)	ND(0.0064)	0.046	ND(0.035)	ND(0.0058)	ND(0.035)	ND(0.017)	ND(0.013)	ND(0.035)	ND(0.019)	ND(0.022)	0.042	ND(0.021)	0.022	0.046	ND(0.0058)	
クロム(Cr)	1.2	4	10	0.91	1.7	0.41	0.85	1.1	9.1	2.9	4.2	2	3.2	10	0.41	
水銀(Hg)	2.1	2.2	2.7	2.8	2.6	2.9	2.4	3.1	4.5	2.3	2	2.8	2.7	4.5	2	
カドミウム(Cd)	0.28	0.17	0.36	0.25	0.048	0.27	0.45	0.13	0.54	0.12	0.56	0.26	0.29	0.56	0.048	
鉛(Pb)	9.2	8.2	13	12	3.8	9.2	13	4.7	20	2.3	17	9.2	10	20	2.3	
亜鉛(Zn)	53	36	86	85	40	62	87	34	130	18	110	53	66	130	18	
バナジウム(V)	0.79	3.6	6.8	4	1.2	4.1	2.7	1.7	5.9	1.6	7.6	0.89	3.4	7.6	0.79	
アスベスト	-	<0.1	-	-	<0.1	-	-	<0.1	-	-	<0.1	-	<0.1	<0.1	<0.1	
浮遊粉じん(重金属時間経過)	29	37	85	45	25	46	32	22	60	19	97	25	44	97	19	

注1)、注2)参照

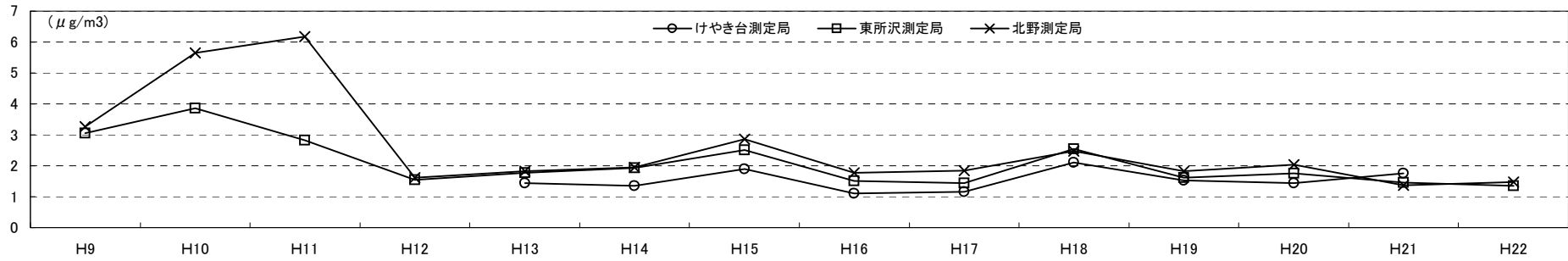
■ベンゼンの経年変化



■テトラクロロエチレンの経年変化

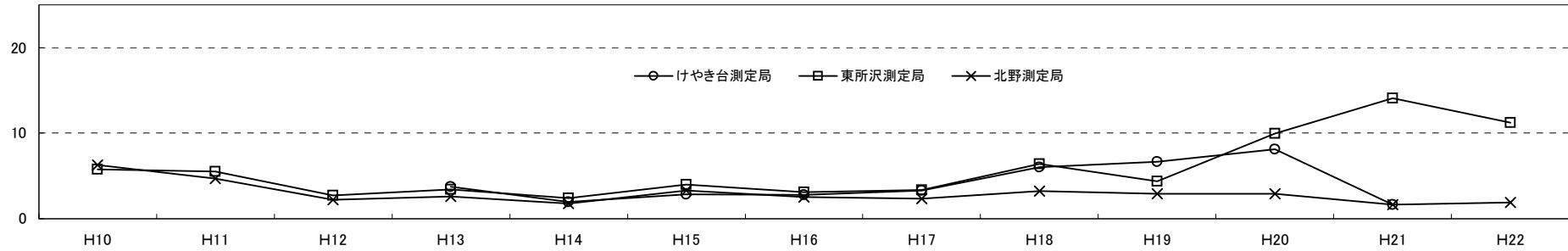


■トリクロロエチレンの経年変化



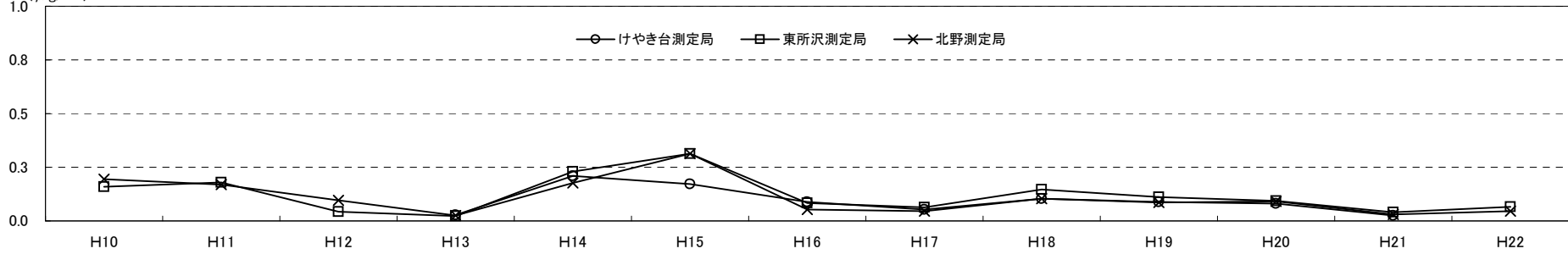
■ジクロロメタンの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



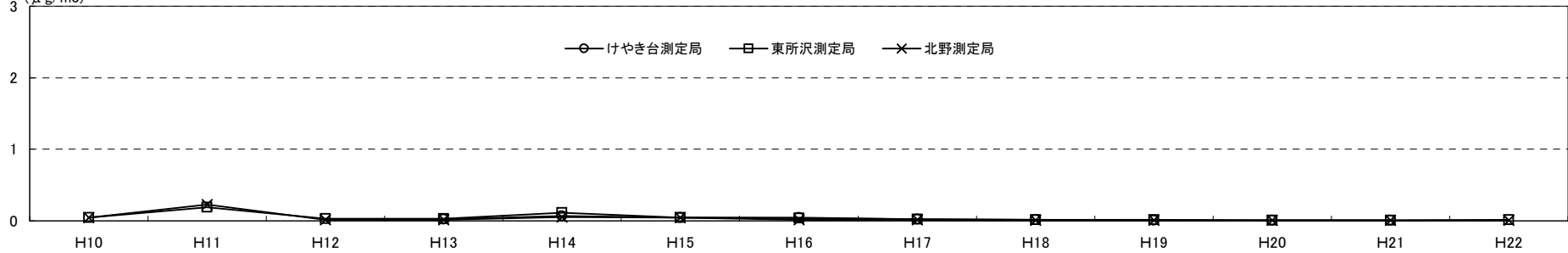
■アクリロニトリルの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

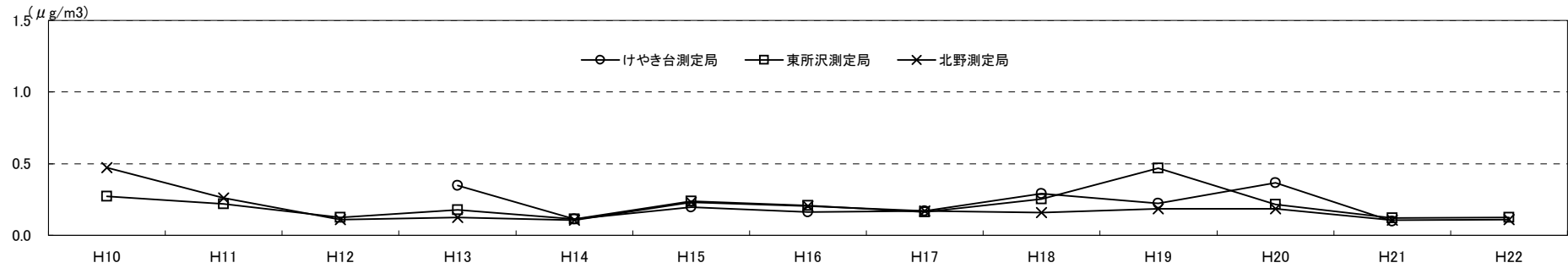


■塩化ビニルモノマーの経年変化

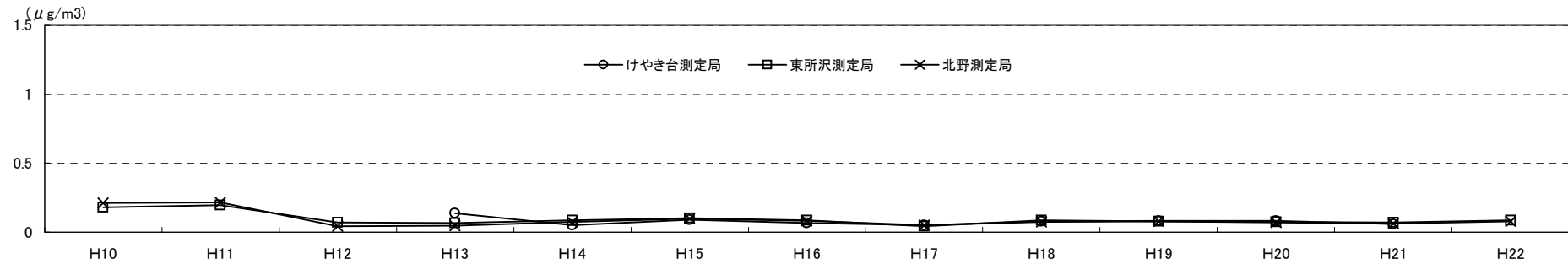
($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



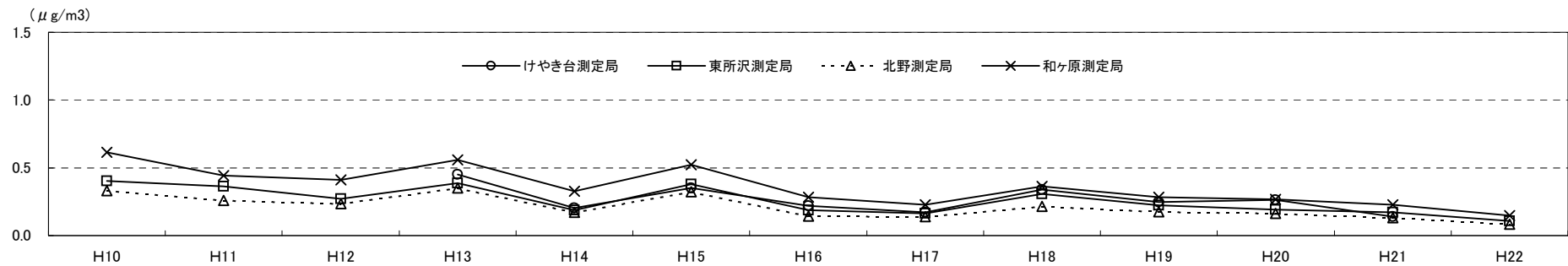
■クロロホルムの経年変化



■1,2-ジクロロエタンの経年変化

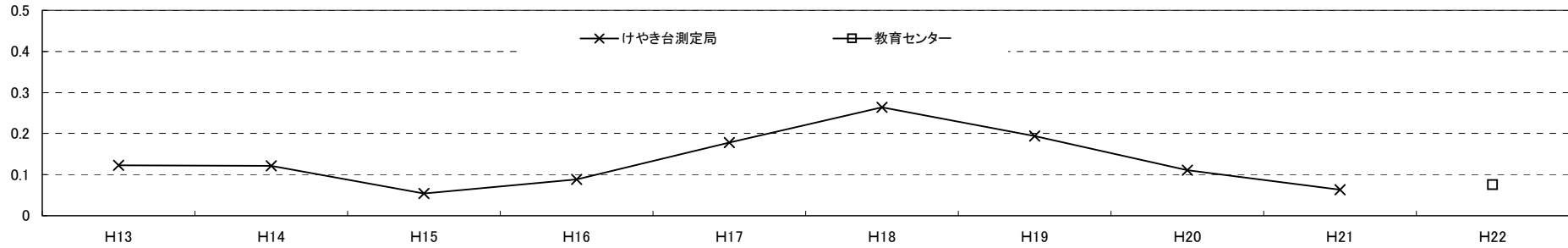


■1,3-ブタジエンの経年変化



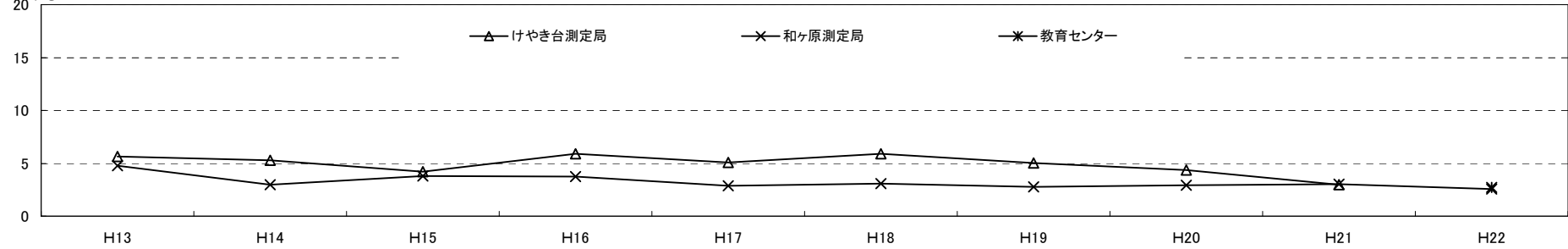
■ 酸化エチレンの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



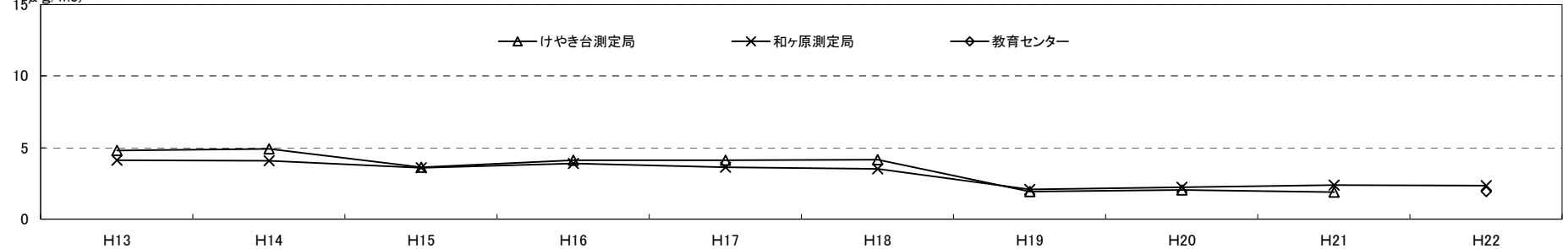
■ アセトアルデヒドの経年変化

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)

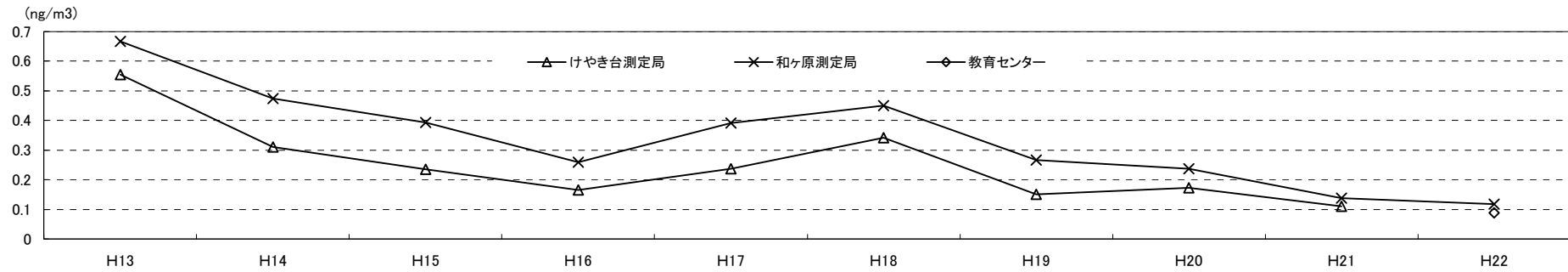


■ ホルムアルデヒドの経年変化

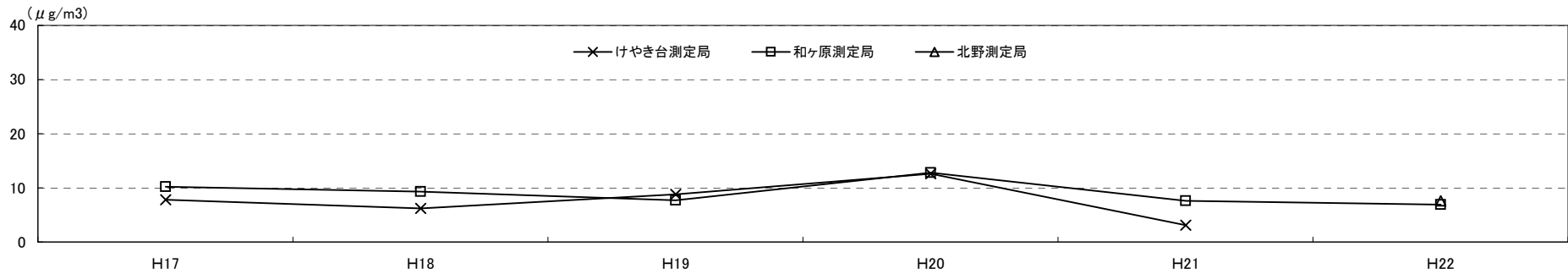
($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



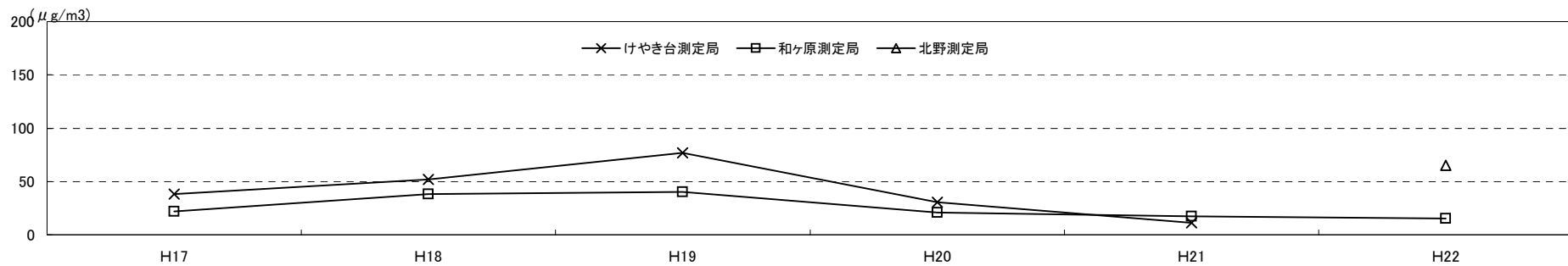
■ベンゾ(a)ピレンの経年変化



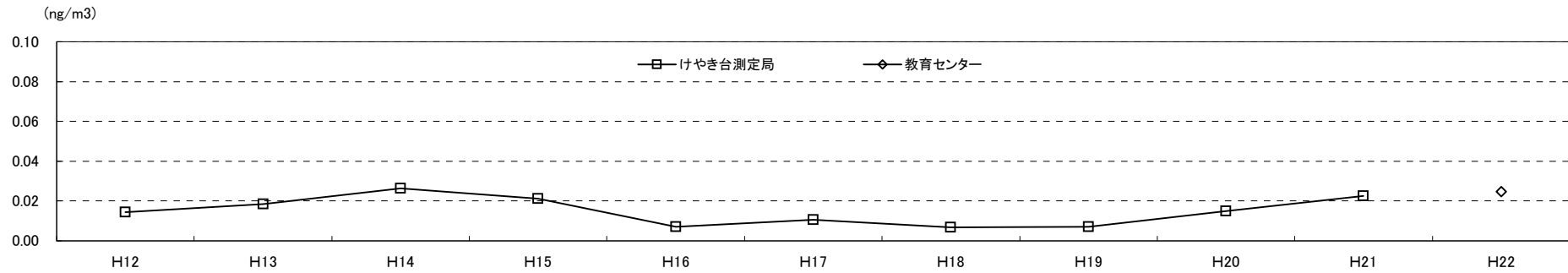
■キシレン類の経年変化



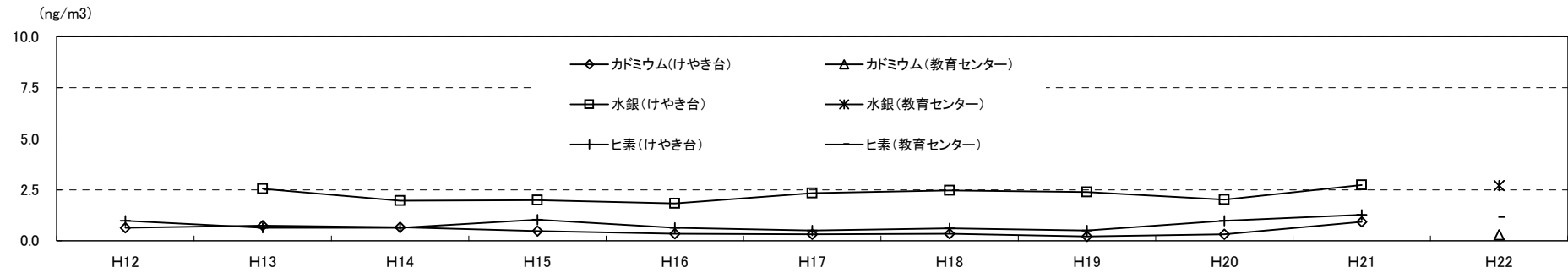
■トルエンの経年変化



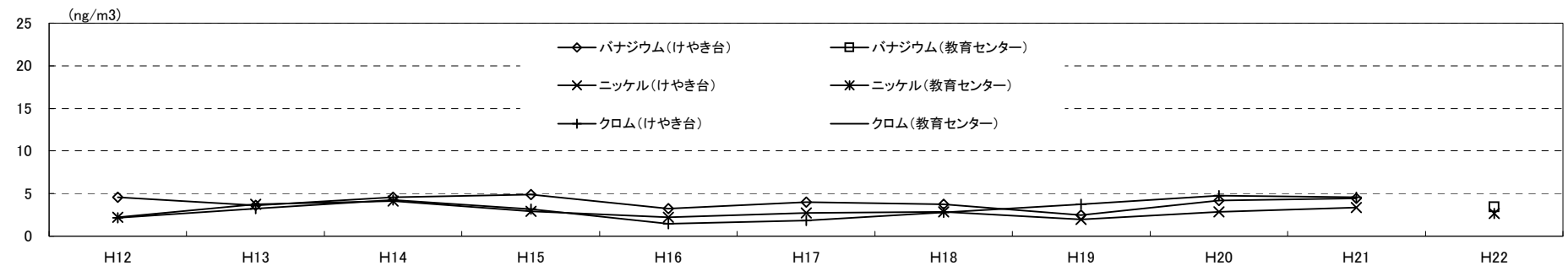
■ベリリウムの経年変化



■カドミウム、水銀、ヒ素の経年変化

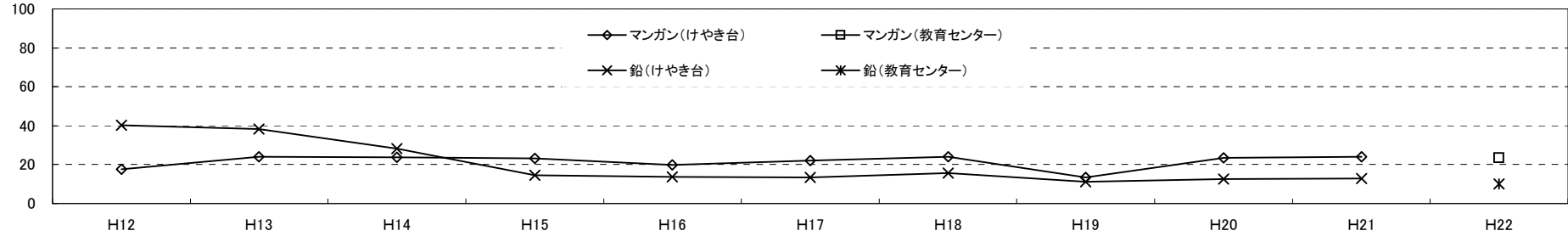


■バナジウム、ニッケル、クロムの経年変化



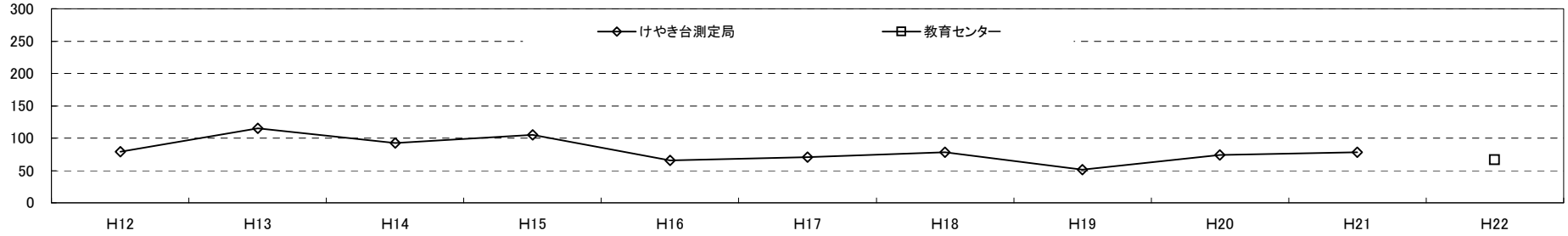
■ マンガン、鉛の経年変化

(ng/m³)



■ 亜鉛の経年変化

(ng/m³)



(5) その他

①酸性雨(東所沢測定局)

(a)酸性雨の測定方法

現在、所沢市における酸性雨の測定には酸性雨自動分析システム C-U273(株)小笠原計器製作所)を使用しています。

酸性雨とは、工場や自動車などから排出されたSO_xやNO_xが雨に溶解込み、雨が酸性になった状態のことです。酸性雨にSO_xやNO_xがどの程度含まれているかを検討する指標として水素イオン濃度指数(pH値)が使用されています。また、SO_xやNO_xは降り始めの段階で雨に取り込まれることが多く、初期降雨においてpH値が低くなるといわれています。なお、pH値は一降雨中の間でも大きく変動することから、降雨中は1mmごとにpH値の測定を行っています。

(b)酸性雨の経年変化

測定項目	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
観測降雨数(回)	82	72	74	82	76
観測総降雨量(mm)	1581	1236	1539	1356	1598
年平均pH値 ^{1,2)}	4.59	4.58	4.45	4.71	4.63
最低pH値	3.39	3.33	3.00	3.24	3.40

注1)年平均pH値は、加重平均値(1年間分の降水を全部混ぜ合わせたとした場合の値)で求める。これは、pH値が水素イオン濃度の逆対数であり、算術平均できないためである。

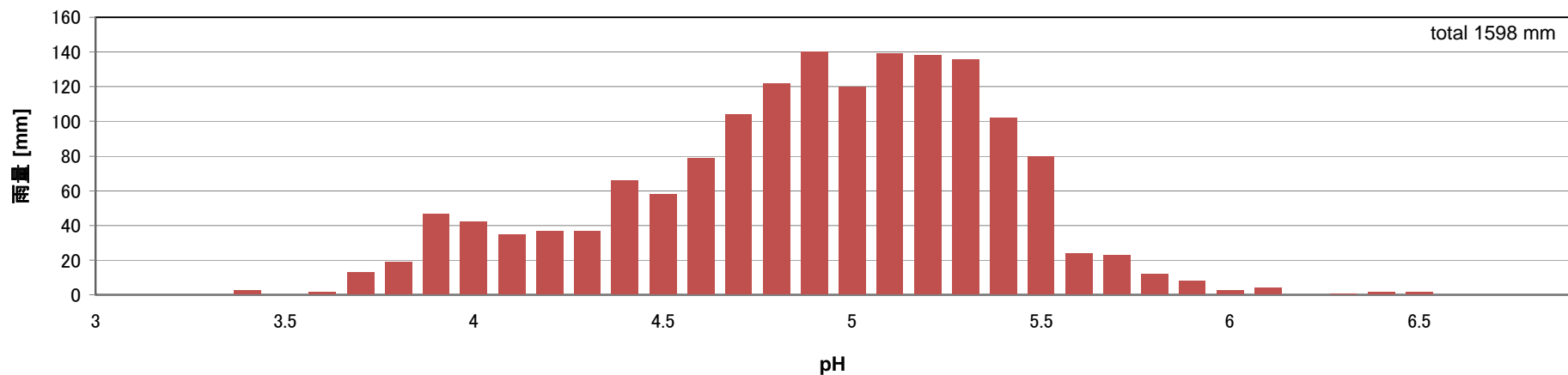
注2)加重平均:平均値の算出方法の一つ。平均する各項の条件の違いを考慮に入れ、対応する重みをつけてから平均する手法。

(c)酸性雨の月間値

測定項目	H22年										H23年			H22年度 平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
観測降雨数(回)	9	7	9	11	3	8	9	4	4	0	6	6	6	
観測降雨量(mm)	180	119	164	141	60	292	294	44	141	0	108	56	133	
月平均pH値 ³⁾	4.57	4.77	4.26	4.54	4.56	4.9	4.66	4.74	4.85	-	4.95	4.55	4.63	

注3)月の平均pH値は、加重平均値(1ヵ月分の降水を全部混ぜ合わせたとした場合の値)で求める。

(d)平成22年度の降雨におけるpH値の頻度分布



②浮遊粒子状物質(LV:ローボリウムサンプラー)

(単位:mg/m³)

測定地点	H22年										H23年			H22年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低	
東所沢測定局	0.010	0.017	0.020	0.017	0.003	0.007	0.023	0.025	0.007	0.009	0.051	0.015	0.017	0.051	0.003	
富岡公民館	0.013	0.015	0.020	0.018	0.003	0.005	0.020	0.028	0.009	0.014	0.054	0.007	0.017	0.054	0.003	
所沢市立北秋津小学校	0.015	0.018	0.021	0.021	0.004	0.007	0.019	0.038	0.008	0.009	0.059	0.008	0.019	0.059	0.004	
三ヶ島公民館	0.012	0.017	0.021	0.018	0.004	0.008	0.021	0.041	0.006	0.008	0.054	0.007	0.018	0.054	0.004	
西武第二球場	0.009	0.016	0.018	0.020	0.003	0.008	0.020	0.039	0.009	0.003	0.052	0.007	0.017	0.052	0.003	

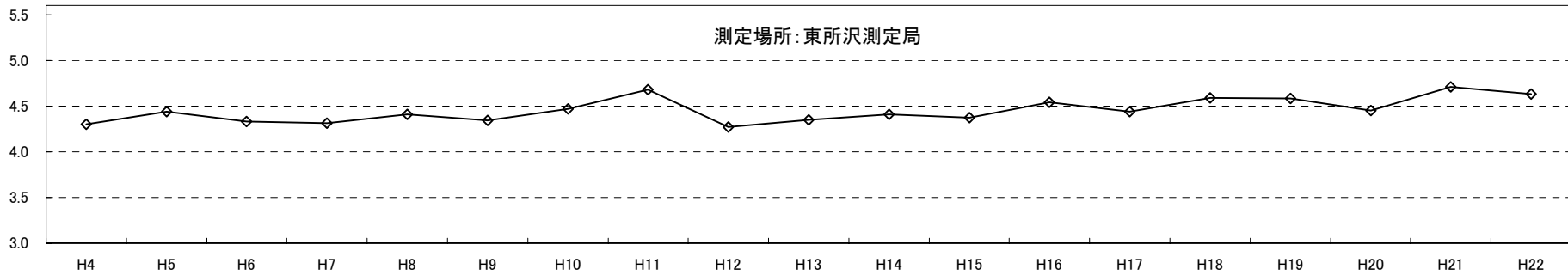
③降下ばいじん

(単位:t/km²/月)

測定地点	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最高	最低
北秋津小学校	H18年度	6.1	3.5	3.1	1.3	1.6	2.2	6.5	2.0	1.6	2.4	3.2	2.6	3.0	6.5	1.3
	H19年度	5.2	3.4	2.3	1.3	4.2	0.9	1.0	0.9	2.8	2.3	4.7	3.2	2.7	5.2	0.9
	H20年度	4.1	4.3	2.7	2.3	欠測	2.0	1.4	1.4	1.7	3.2	2.8	2.2	2.5	4.3	2.5
	H21年度	3.0	3.3	2.9	1.8	1.4	1.5	2.4	1.2	1.3	1.9	1.8	2.6	2.1	3.3	1.2
	H22年度	3.3	2.6	3.2	2.2	2.6	2.4	1.2	2.0	0.9	1.7	3.4	2.8	2.3	3.4	0.9
伸栄小学校	H18年度	4.2	2.6	2.8	2.4	2.8	3.2	5.9	1.8	1.5	1.0	2.1	2.8	2.8	5.9	1.0
	H19年度	5.1	2.8	1.6	1.9	5.7	1.3	0.9	1.0	1.8	2.0	2.1	2.6	2.4	5.7	0.9
	H20年度	4.0	5.7	2.4	2.2	欠測	1.7	2.0	1.6	2.4	5.2	1.8	4.2	3.0	5.7	3.0
	H21年度	3.7	4.2	3.5	3.4	欠測	1.3	2.7	1.2	1.2	1.8	2.3	3.6	2.6	4.2	1.2
	H22年度	2.1	3.0	4.8	2.2	2.6	2.7	1.2	1.5	0.9	0.8	3.4	3.5	2.4	4.8	0.8
所沢市旧庁舎	H18年度	5.3	4.1	1.3	2.3	1.7	2.7	1.7	1.3	1.6	2.1	2.5	3.8	2.5	5.3	1.3
	H19年度	4.1	3.0	1.5	1.8	4.2	1.0	0.7	0.7	1.7	1.6	1.8	2.4	2.0	4.2	0.7
	H20年度	3.1	4.1	1.9	1.8	欠測	1.4	1.5	1.3	1.6	3.5	2.0	3.2	2.3	4.1	2.3
	H21年度	2.2	3.5	3.2	2.1	2.1	欠測	欠測	0.7	2.5	1.9	3.3	3.0	2.4	3.5	0.7
	H22年度	2.8	1.9	3.1	1.9	2.3	2.5	0.9	1.7	1.7	1.4	5.1	3.1	2.4	5.1	0.9
若松小学校	H18年度	9.0	2.9	1.8	1.8	2.3	3.3	4.5	2.0	1.0	1.4	4.3	3.2	3.1	9.0	1.0
	H19年度	3.3	3.8	1.8	2.9	3.7	1.4	1.0	0.7	3.0	2.2	3.5	2.6	2.5	3.8	0.7
	H20年度	4.0	4.1	2.7	4.1	欠測	3.7	2.4	1.9	1.5	3.3	2.6	5.0	3.2	5.0	3.2
	H21年度	3.8	4.2	2.7	2.0	1.7	1.3	2.0	1.3	1.6	2.4	2.6	3.2	2.4	4.2	1.3
	H22年度	3.1	3.1	2.9	1.3	2.4	3.3	0.9	1.5	1.3	2.0	4.3	5.6	2.6	5.6	0.9
山口小学校	H18年度	5.1	2.4	1.2	2.0	1.3	2.4	2.3	1.6	1.2	2.4	3.1	3.4	2.4	5.1	1.2
	H19年度	4.4	4.3	1.3	3.3	4.0	1.4	0.6	0.9	1.6	1.9	2.0	2.6	2.4	4.4	0.6
	H20年度	5.4	4.3	2.0	1.8	欠測	2.4	1.2	1.1	1.3	2.4	2.0	1.8	2.3	5.4	2.3
	H21年度	3.6	4.5	2.7	1.9	2.1	1.1	2.0	1.1	1.5	1.7	2.0	3.4	2.3	4.5	1.1
	H22年度	2.4	3.9	3.5	欠測	3.7	1.5	0.8	1.6	0.9	1.6	3.1	3.0	2.3	3.9	0.8

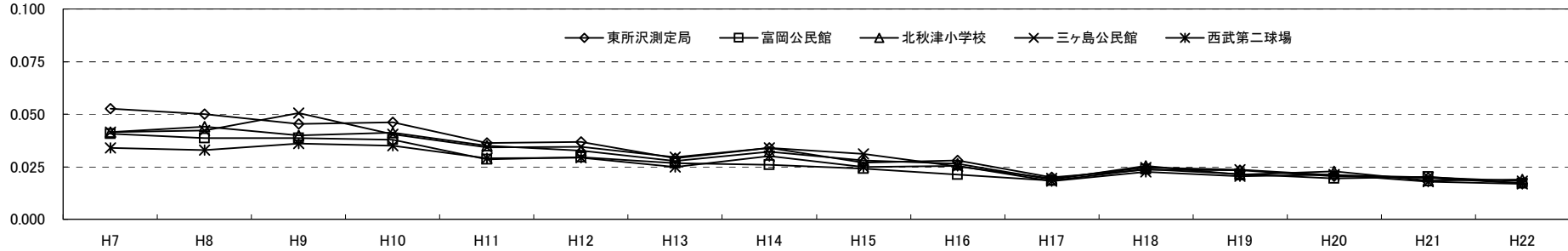
① 降雨中pHの経年変化

[pH]



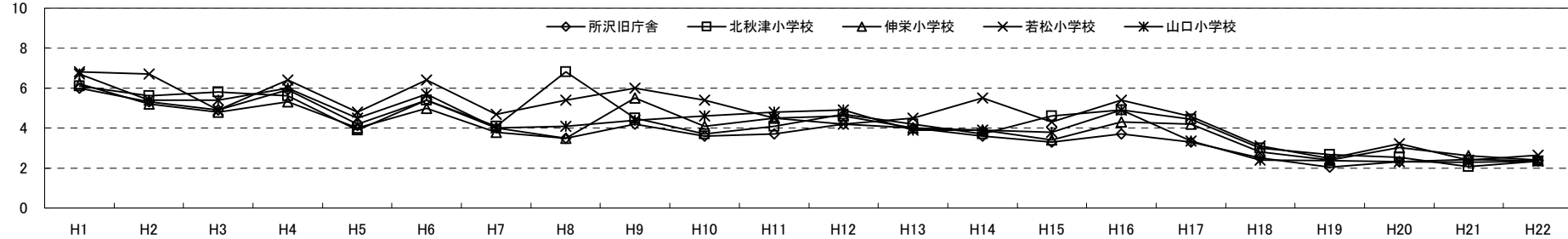
② 浮遊粒子状物質(LV)の経年変化

[mg/m3]



③ 降下ばいじんの経年変化

[t/km2/月]



2 水質污濁



(1) 水質汚濁に係る環境基準

1 人の健康の保護に関する環境基準【公共用水域】

項目	基準値	発生源・用途
カドミウム	0.01mg/ℓ 以下	合金、メッキ、電池、顔料
全シアン	検出されないこと。	アクリル樹脂、染料、メッキ、農薬
鉛	0.01mg/ℓ 以下	蓄電池、はんだ、クリスタルガラス
六価クロム	0.05mg/ℓ 以下	合金材料、メッキ、皮なめし
砒素	0.01mg/ℓ 以下	半導体、合金、顔料、防腐剤
総水銀	0.0005mg/ℓ 以下	計器類、蛍光灯、殺菌剤、触媒
アルキル水銀	検出されないこと。	試薬、防腐剤、無機水銀から副生
P C B	検出されないこと。	トランス油、コンデンサー
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ 以下	洗浄剤、溶剤、発泡剤
四塩化炭素	0.002mg/ℓ 以下	フロンガス等の原料、洗浄剤
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下	樹脂の原料、溶剤、殺虫剤
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ 以下	塩化ビニリデン樹脂の原料
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ 以下	溶剤、他の塩素系溶剤の原料
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下	金属洗浄剤
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ 以下	塩化ビニリデンの原料、溶剤
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ 以下	脱脂洗浄溶剤
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下	ドライクリーニングの溶剤、脱脂
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ 以下	殺線虫剤、土壌くん蒸剤
チウラム	0.006mg/ℓ 以下	殺菌剤、ゴム製造の加硫促進剤
シマジン	0.003mg/ℓ 以下	除草剤
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ 以下	除草剤
ベンゼン	0.01mg/ℓ 以下	合成ゴム等の原料、溶剤
セレン	0.01mg/ℓ 以下	顔料、電気絶縁体、半導体
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ 以下	金属表面処理、ニトロ化合物の合成
ふっ素	0.8mg/ℓ 以下	ガラス等の表面加工、代替フロン
ほう素	1mg/ℓ 以下	ガラス繊維原料、消毒剤
1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ 以下	溶剤、潤滑剤、医薬品の原料

2 生活環境の保全に関する環境基準【河川（湖沼を除く。）】

河川名 項目	柳瀬川	不老川
	基準値（C類型）	基準値（E類型）
水素イオン濃度 (pH)	6.5 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	5mg/ℓ 以下	10mg/ℓ 以下
浮遊物質 (SS)	50mg/ℓ 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。
溶存酸素量 (DO)	5mg/ℓ 以上	2mg/ℓ 以上
大腸菌群数	—	—

3 水生生物保全に係る環境基準【河川（湖沼を除く。）】

項目	類型	基準値
全亜鉛	生物B	0.03mg/ℓ 以下

4 地下水

項目	基準値	発生源・用途
カドミウム	0.01mg/ℓ 以下	合金、メッキ、電池、顔料
全シアン	検出されないこと。	アクリル樹脂、染料、メッキ、農薬
鉛	0.01mg/ℓ 以下	蓄電池、はんだ、クリスタルガラス
六価クロム	0.05mg/ℓ 以下	合金材料、メッキ、皮なめし
砒素	0.01mg/ℓ 以下	半導体、合金、顔料、防腐剤
総水銀	0.0005mg/ℓ 以下	計器類、蛍光灯、殺菌剤、触媒
アルキル水銀	検出されないこと。	試薬、防腐剤、無機水銀から副生
P C B	検出されないこと。	トランス油、コンデンサー
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ 以下	洗浄剤、溶剤、発泡剤
四塩化炭素	0.002mg/ℓ 以下	フロンガス等の原料、洗浄剤
塩化ビニルモノマー	0.002mg/ℓ 以下	樹脂の原料
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下	樹脂の原料、溶剤、殺虫剤
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ 以下	塩化ビニリデン樹脂の原料
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ 以下	溶剤、他の塩素系溶剤の原料
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下	金属洗浄剤
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ 以下	塩化ビニリデンの原料、溶剤
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ 以下	脱脂洗浄溶剤
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下	ドライクリーニングの溶剤、脱脂
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ 以下	殺線虫剤、土壌くん蒸剤
チウラム	0.006mg/ℓ 以下	殺菌剤、ゴム製造の加硫促進剤
シマジン	0.003mg/ℓ 以下	除草剤
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ 以下	除草剤
ベンゼン	0.01mg/ℓ 以下	合成ゴム等の原料、溶剤
セレン	0.01mg/ℓ 以下	顔料、電気絶縁体、半導体
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ 以下	金属表面処理、ニトロ化合物の合成
ふっ素	0.8mg/ℓ 以下	ガラス等の表面加工、代替フロン
ほう素	1mg/ℓ 以下	ガラス繊維原料、消毒剤
1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ 以下	溶剤、潤滑剤、医薬品の原料

1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
2. 「検出されないこと」とは、指定された測定方法により測定した結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
3. 1, 2-ジクロロエチレンの濃度は、シス体とトランス体の濃度の和。

(2) 平成 22 年度 水質汚濁状況について

所沢市では、水質汚濁防止法第 15 条に基づき、河川及び地下水の水質測定を行っています。

河川別の概況と地下水質の調査結果の概要は下記のとおりです。

1. 柳瀬川

健康項目、生活環境項目及び水生生物保全に係る項目(亜鉛)について、二柳橋で全項目とも環境基準を達成しており、近年概ね横ばい傾向です。他の地点でも、近年概ね横ばい傾向です。

2. 東川

健康項目について、中橋では全項目とも環境基準を達成しました。
東川について、生活環境項目の類型指定はされていませんが、柳瀬川と同じC類型を参考値として評価すると、中橋のBODは、参考値を下回っており、近年概ね横ばい傾向です。
城下橋では、BODの 75%値と平均値が、例年よりも高い傾向がありました。他の地点では、近年概ね横ばい傾向です。

3. 不老川

金井沢橋のBOD75%値は、環境基準(E類型 10mg/L)を達成しており、近年概ね横ばい傾向です。

4. 不老川支川(谷川、林川、樽井戸川)

BOD 平均値は、樽井戸川で一時期大きく改善しましたが、近年はいずれの地点も緩やかな改善傾向となっています。また、汚濁負荷量は近年概ね横ばい傾向です。

5. 地下水質調査結果

概況調査を行った 4 本の井戸全てにおいて、環境基準の超過はありませんでした。
継続監視調査(過去、環境基準を超過した井戸の調査)では、調査を行った 19 本のうち、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 7 本の井戸で、テトラクロロエチレンが 2 本の井戸で環境基準を超過しました。

■水質汚濁測定項目(H22年度)

測定項目	柳瀬川							東川				不老川
	高橋	西ヶ谷戸橋	樋の坪橋	二柳橋	松戸橋	清瀬橋下流	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋	城下橋	金井沢橋
一般項目												
水温、天候、気温、採取位置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
流量		○		○			○			○	○	○
生活環境項目												
pH、DO、BOD、SS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
COD、全窒素、全リン、全亜鉛				○						○		
大腸菌群数												○
健康項目												
カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀※1、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン※5				○						○		△※2
その他の項目												
透視度、導電率、色相、臭気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アンモニア性窒素、リン酸性リン、MBAS				○						○		△※3
塩素イオン		○		○				○		○		
要監視項目												
クロロホルム※4、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロプロパン、P-ジクロロベンゼン、トルエン、キシレン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン、ジクロロルボス、フェノブカルブ、イプロベンホス、イソプロチオラン、クロロタロニル、プロピザミド、EPN、アンチモン、クロルニトロフェン、オキシ銅、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、塩化ビニルモノマー、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン 【水生生物の保全に係る要監視項目】 クロロホルム、フェノール、ホルムアルデヒド				○						○		
底質												
乾燥減量、強熱減量、カドミウム、鉛、クロム、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB				○						○		

※1 アルキル水銀は、総水銀が検出された場合のみ実施しています。

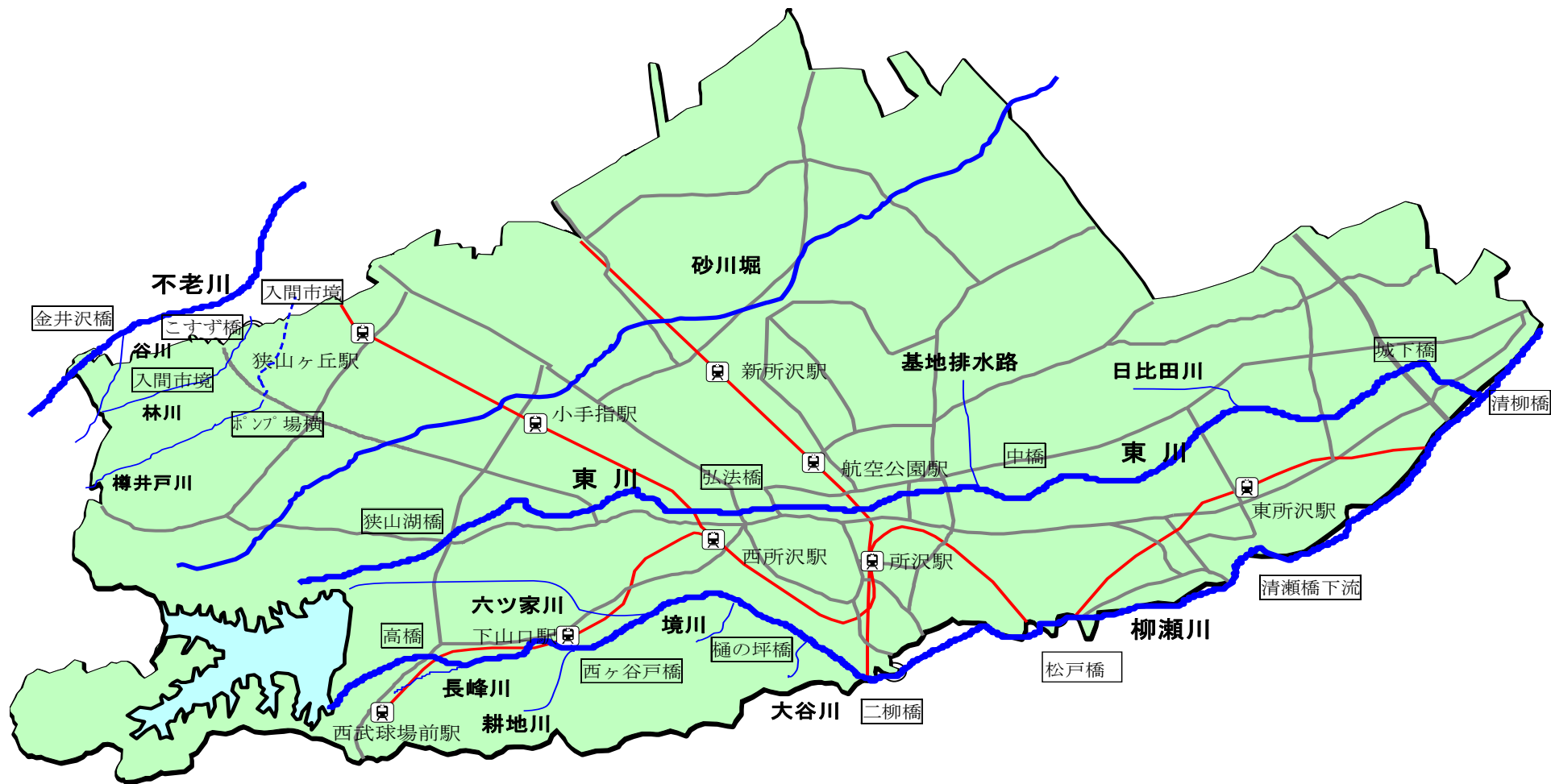
※2 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素のみ測定しています。

※3 アンモニア性窒素のみ測定しています。

※4 クロロホルムは水生生物の保全に関する要監視項目にも位置付けられています。

※5 1,4-ジオキサンは平成21年11月30日から健康項目になりました。

■河川水質測定地点(H22年度)



(3) 河川水質測定結果

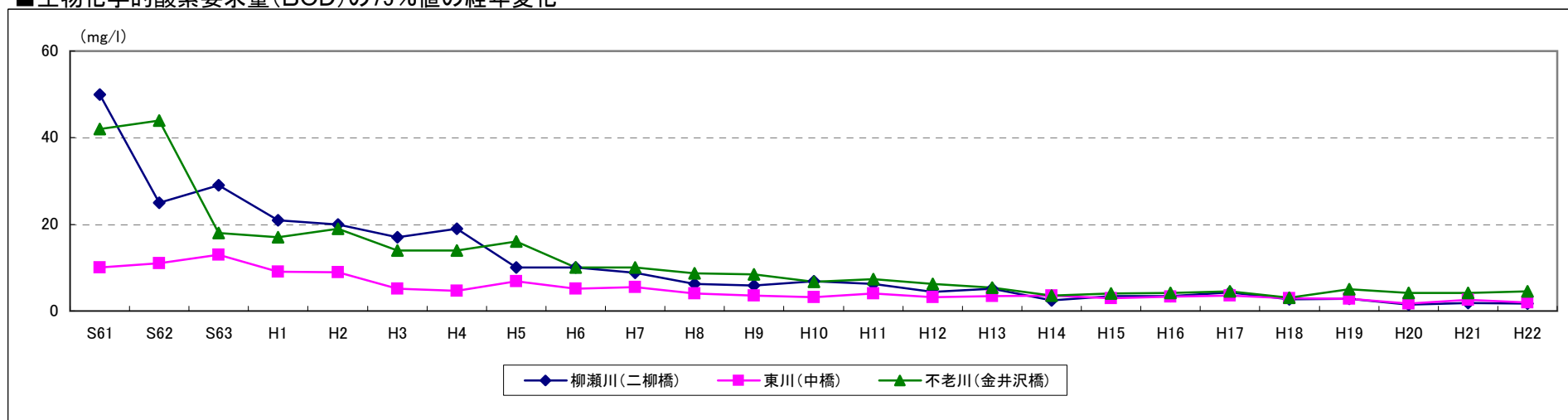
■ 生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化

(単位:mg/ℓ)

水域名	採水地点	生物化学的酸素要求量(BOD)の年平均値					生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
柳瀬川 (C類型)	① 高橋	7.1	7.9	7.3	8.0	6.8	8.7	9.5	7.7	8.9	7.8
	② 西ヶ谷戸橋	4.6	4.4	3.2	3.4	2.8	5.4	6.1	3.8	4.4	3.1
	③ 樋の坪橋	3.1	2.1	1.3	1.7	1.4	3.1	2.5	1.5	1.9	1.5
	④ 二柳橋	2.4	2.3	1.3	1.6	1.7	2.7	2.8	1.5	1.8	1.7
	⑤ 松戸橋	1.7	1.5	0.9	1.1	1.0	1.7	1.4	1.0	1.2	1.2
	⑥ 清瀬橋下流	1.2	1.3	0.6	0.7	0.8	1.2	1.6	0.6	0.9	1.0
	⑦ 清柳橋	4.3	2.9	1.9	4.8	4.1	5.5	3.2	2.5	5.9	4.2
東川	⑧ 狭山湖橋	8.8	10	9.6	12	9.3	11	12	9.1	16	11
	⑨ 弘法橋	2.7	2.4	1.5	1.6	1.5	3.0	2.5	1.8	1.9	1.7
	⑩ 中橋	2.7	2.4	1.4	2.1	1.4	2.9	2.8	1.7	2.6	1.9
	⑪ 城下橋	11	9.1	7.2	13	15	11	11	9.3	15	17
不老川 (E類型)	⑫ 金井沢橋	3.3	4.0	3.4	3.5	4.7	3.1	5.0	4.2	4.2	4.5

※生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値は、環境基準の適合判断に用いられています。

■ 生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値の経年変化



■生活環境項目等

①高橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:00	10:10	10:00	10:30	10:20	10:10	9:45	9:55	10:20	10:00	10:05	10:00				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	14.2	14.2	16.8	27.0	30.5	30.4	21.0	13.8	10.6	4.6	4.7	8.0	16.3	30.5	4.6	
	水温(°C)	14.2	15.0	19.5	21.0	26.2	27.0	21.5	14.5	12.8	8.1	5.1	9.0	16.2	27.0	5.1	
	水深(m)	0.10	0.13	0.13	0.19	0.13	0.10	0.05	0.09	0.09	0.07	0.07	0.09	0.10	0.19	0.05	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.480	0.775	0.730	>1.000	0.790	>1.000	0.905	0.900	0.915	0.675	0.530	0.690	0.783	>1.000	0.480	
	色相	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰茶色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
	流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-
生活環境項目	pH	7.2	7.0	7.2	7.0	7.3	7.4	7.2	7.0	7.2	7.2	7.1	7.0	7.2	7.4	7.0	
	DO(mg/L)	7.3	6.4	6.8	7.5	5.0	5.8	6.0	6.7	7.2	8.0	8.1	8.6	7.0	8.6	5.0	
	BOD(mg/L)	6.7	6.6	4.9	2.8	6.2	5.6	7.6	7.8	8.4	8.3	12	4.4	6.8(7.8)	12	2.8	
	SS(mg/L)	9	5	5	2	4	4	2	1	3	3	4	3	4	9	1	
その他	導電率(mS/m)	25	20	22	20	25	21	27	21	27	24	26	25	24	27	20	
備考																	

②西ヶ谷戸橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:15	10:30	10:15	10:45	10:40	10:25	10:00	10:15	10:40	10:15	10:22	10:20				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	14.2	14.5	20.0	26.9	31.1	31.0	20.0	14.1	12.8	5.1	6.2	2.0	16.5	31.1	2.0	
	水温(°C)	13.5	15.5	19.5	21.8	28.1	27.8	20.9	14.0	11.8	6.2	5.6	6.8	16.0	28.1	5.6	
	流量(m³/s)	0.18	-	0.09	-	0.07	-	0.09	-	0.07	-	0.05	-	0.09	0.18	0.05	
	水深(m)	0.20	0.15	0.19	0.34	0.26	0.20	0.21	0.22	0.13	0.15	0.10	0.16	0.19	0.34	0.10	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	
	色相	黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	7.4	7.3	7.5	7.3	7.6	7.6	7.5	7.5	7.3	7.5	7.4	7.9	7.5	7.9	7.3	
	DO(mg/L)	9.4	8.5	9.6	8.1	7.7	8.0	8.1	9.3	9.1	11	11	12	9.3	12	7.7	
	BOD(mg/L)	3.5	3.0	3.1	1.4	1.9	2.4	2.3	1.5	2.3	2.9	4.2	4.6	2.8(3.1)	4.6	1.4	
	SS(mg/L)	3	3	2	4	5	2	1	2	<1	2	1	4	3	5	<1	
その他	導電率(mS/m)	33	26	36	29	44	57	40	32	48	32	43	36	38	57	26	
	塩素イオン(mg/L)	17	12	19	19	19	21	19	22	25	22	23	17	20	25	12	
備考																	

③樋の坪橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:35	10:45	10:35	11:00	10:55	10:40	10:20	10:30	11:00	10:35	10:37	10:35				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	13.6	14.8	19.5	26.5	32.0	31.9	22.5	14.5	12.5	6.4	5.8	6.0	17.2	32.0	5.8	
	水温(°C)	13.5	15.9	19.5	21.8	28.2	27.5	20.4	14.5	11.6	6.2	4.7	6.5	15.9	28.2	4.7	
	水深(m)	0.20	0.21	0.21	0.28	0.17	0.17	0.24	0.16	0.20	0.19	0.17	0.14	0.20	0.28	0.14	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	0.660	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.972	>1.000	0.660
	色相	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	無色・淡(明)	緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
	流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-
生活環境項目	pH	-	7.6	7.5	7.7	7.4	8.3	8.2	7.7	7.5	7.2	7.4	7.0	7.1	7.6	8.3	7.0
	DO(mg/l)	10	10	9.3	10	8.9	10	11	10	10	10	11	12	11	10	12	8.9
	BOD(mg/l)	1.4	1.4	1.9	1.4	0.9	0.9	1.2	1.2	0.6	1.5	1.5	2.5	1.4	1.4(1.5)	2.5	0.6
	SS(mg/l)	2	2	6	1	1	2	1	1	<1	<1	1	1	<1	2	6	<1
その他	導電率(mS/m)	29	23	35	30	53	51	33	30	44	43	47	31	37	53	23	
備考																	

④二柳橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		11:00	10:35	10:40	11:50	11:05	10:35	10:30	11:00	10:40	11:00	10:50	10:35				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.0	15.3	21.2	24.6	30.8	30.6	24.0	14.4	13.7	7.5	7.2	5.9	17.5	30.8	5.9	
	水温(°C)	13.6	16.0	19.3	22.4	28.8	28.6	20.4	13.8	10.6	6.4	4.5	7.2	16.0	28.8	4.5	
	流量(m³/s)	0.42	-	0.30	-	0.21	-	0.37	-	0.30	-	0.14	-	0.29	0.42	0.14	
	水深(m)	0.70	0.68	0.56	0.44	0.56	0.59	0.53	0.37	0.47	0.53	0.48	0.42	0.53	0.70	0.37	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	0.840	>1.000	>1.000	0.675	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.960	>1.000	0.675
	色相	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰青色・淡(明)	灰色・淡(明)	緑青色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	無臭	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	7.5	7.3	7.9	7.6	7.9	7.9	7.8	7.2	7.3	7.5	7.3	7.3	7.5	7.9	7.2
	DO(mg/l)	10	10	9.1	9.8	9.6	9.2	8.7	10	10	11	13	12	12	10	13	8.7
	BOD(mg/l)	1.7	1.7	1.7	1.0	0.9	1.5	0.8	1.2	1.3	1.6	2.3	2.6	3.4	1.7(1.7)	3.4	0.8
	COD(mg/l)	2.9	4.3	3.7	2.3	3.6	3.0	1.8	1.8	2.6	2.6	3.3	3.6	3.6	3.0	4.3	1.8
	SS(mg/l)	3	8	4	1	6	2	1	1	1	1	2	1	1	3	8	1
	全窒素(mg/l)	3.9	3.7	3.6	4.5	5.8	5.0	4.5	4.8	4.6	4.3	5.1	4.8	4.8	4.6	5.8	3.6
	全リン(mg/l)	0.14	0.10	0.14	0.21	0.24	0.24	0.06	0.24	0.11	0.17	0.13	0.16	0.16	0.16	0.24	0.06
	全亜鉛(mg/l)	0.013	-	0.009	-	0.014	-	0.003	-	0.021	-	0.006	-	0.011	0.021	0.003	
その他	アンモニア性窒素(mg/l)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.2	<0.1
	リン酸性リン(mg/l)	0.09	0.07	0.07	0.11	0.18	0.17	0.05	0.16	0.05	0.04	0.10	0.07	0.10	0.18	0.04	
	導電率(mS/m)	27	20	33	28	38	42	33	32	30	35	33	24	31	42	20	
	塩素イオン(mg/l)	11	9	16	12	17	18	14	20	24	17	19	15	16	24	9	
備考	MBAS(mg/l)	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	<0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	<0.01	

⑤松戸橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:35	10:15	10:15	11:20	10:30	10:15	9:55	10:35	10:15	10:35	10:25	10:10				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	14.7	15.2	22.0	25.6	29.4	31.7	23.3	14.8	12.7	7.5	7.0	4.5	17.4	31.7	4.5	
	水温(°C)	13.5	15.9	19.0	22.1	27.6	27.6	20.1	15.0	8.4	7.3	5.6	7.2	15.8	27.6	5.6	
	水深(m)	0.20	0.31	0.26	0.29	0.17	0.18	0.26	0.30	0.19	0.18	0.18	0.25	0.23	0.31	0.17	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	0.840	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.987	>1.000	0.840
	色相	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	無色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰青色・淡(明)	無色・淡(明)	灰青色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	無色・淡(明)	無色・淡(明)	無色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	7.2	7.2	7.4	7.4	7.2	7.5	7.5	7.0	7.1	7.2	7.1	7.2	7.3	7.5	7.0
	DO(mg/l)	10	9.4	10	9.2	9.2	9.8	10	10	10	12	13	12	10	13	9.2	
	BOD(mg/l)	1.5	1.2	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	1.5	1.2	1.0	2.1	1.0(1.2)	2.1	0.5
	SS(mg/l)	2	6	2	<1	2	1	<1	<1	<1	1	<1	1	1	2	6	<1
その他	導電率(mS/m)	26	19	29	27	36	39	32	32	25	27	31	25	29	39	19	
備考																	

⑥清瀬橋下流(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:15	9:55	9:55	10:50	10:10	9:55	9:30	10:15	9:55	10:00	10:10	9:55				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.2	14.6	20.8	26.5	31.5	33.2	25.0	15.0	12.5	7.5	6.2	6.2	17.9	33.2	6.2	
	水温(°C)	14.6	15.2	19.2	21.8	25.5	25.8	19.8	15.1	8.2	10.5	9.8	10.0	16.3	25.8	8.2	
	水深(m)	0.60	0.47	0.36	0.39	0.79	0.62	0.36	0.45	0.36	0.36	0.38	0.36	0.46	0.79	0.36	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	>1.000	0.150	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.225	>1.000	>1.000	0.510	0.824	>1.000	0.150
	色相	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	茶褐色・中	灰緑色・淡(明)	緑青色・淡(明)	無色・淡(明)	灰青色・淡(明)	灰茶色・中	無色・淡(明)	無色・淡(明)	灰色・淡(明)	灰色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	土臭(微)	川藻臭(微)	キューリ臭	川藻臭(微)	川藻臭(微)	土臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	土臭(微)	土臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	濁り多し	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	7.2	7.3	7.1	7.5	7.3	7.4	7.5	7.1	7.2	7.3	7.1	7.2	7.3	7.5	7.1
	DO(mg/l)	11	9.9	10	9.1	9.6	10	11	11	11	11	12	11	11	11	12	9.1
	BOD(mg/l)	1.0	1.0	0.7	0.6	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	1.3	0.7	1.2	1.3	0.8(1.0)	1.3	<0.5	
	SS(mg/l)	1	4	2	88	3	1	<1	<1	25	<1	4	6	11	88	<1	
その他	導電率(mS/m)	25	20	26	27	29	33	28	28	22	25	26	24	26	33	20	
備考					上流工事中					上流工事中			上流工事中				

⑦清柳橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:30	9:25	9:20	9:50	9:30	9:20	8:50	9:35	9:25	9:25	9:25	9:25				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	14.0	17.1	20.0	27.2	29.7	31.2	23.8	14.0	11.2	6.9	5.4	7.3	17.3	31.2	5.4	
	水温(°C)	13.8	16.9	19.3	23.5	25.8	28.0	19.7	15.0	9.0	10.6	10.2	10.6	16.9	28.0	9.0	
	流量(m ³ /s)	1.9	-	1.7	-	1.9	-	2.3	-	2	-	1.4	-	1.9	2.3	1.4	
	水深(m)	0.80	0.95	0.72	0.75	0.86	0.60	0.22	0.39	0.38	0.27	0.18	0.24	0.53	0.95	0.18	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.600	0.690	>1.000	>1.000	1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.941	>1.000	0.600
	色相	灰黄色・中	灰緑色・中	灰緑色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	無色・淡(明)	黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	7.0	7.2	7.3	7.4	7.4	7.4	7.3	7.2	7.1	7.1	7.0	7.1	7.2	7.4	7.0	
	DO(mg/l)	11	9.9	9.0	9.0	9.6	9.8	10	10	10	11	11	12	10	12	9.0	
	BOD(mg/l)	4.2	4.2	7.8	2.2	8.4	5.7	<0.5	2.9	2.8	3.1	3.3	4.0	4.1(4.2)	8.4	<0.5	
	SS(mg/l)	6	6	3	1	7	5	<1	1	1	<1	2	2	3	7	<1	
その他	導電率(mS/m)	30	25	37	35	37	39	30	32	27	37	31	28	32	39	25	
備考																	

⑧狭山湖橋(水域名:東川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:40	9:40	9:35	9:35	9:35	9:25	8:55	9:25	9:40	9:25	9:25	9:35				
現場採取項目	天候(当日)	晴れ	小雨	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	晴れ	快晴	晴れ	晴れ	-	-	-	
	天候(前日)	曇り	小雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	快晴	晴れ	快晴	快晴	晴れ	-	-	-	
	気温(°C)	17.2	14.3	19.5	27.3	28.9	29.4	20.0	12.5	9.4	4.9	3.2	4.0	15.9	29.4	3.2	
	水温(°C)	14.2	16.2	17.8	21.0	26.1	26.1	19.9	14.2	11.5	7.3	5.4	6.5	15.5	26.1	5.4	
	水深(m)	0.10	0.08	0.09	0.14	0.11	0.11	0.13	0.11	0.11	0.08	0.13	0.11	0.09	0.11	0.14	0.08
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.650	0.410	0.435	0.610	0.695	0.705	0.675	0.955	0.685	0.550	0.590	0.465	0.619	0.955	0.410	
	色相	黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-
	臭気	下水臭(微)	下水臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	カビ臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	下水臭(微)	下水臭(微)	-	-	-
	流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-
生活環境項目	pH	7.1	7.1	7.2	7.0	7.4	7.5	7.2	7.0	7.2	7.2	7.3	7.2	7.2	7.5	7.0	
	DO(mg/l)	5.6	3.6	6.8	7.9	3.5	4.7	6.2	6.8	6.5	7.9	8.1	8.5	6.3	8.5	3.5	
	BOD(mg/l)	8.3	9.7	12	4.9	8.7	10	13	4.6	8.3	9.5	11	12	9.3(11)	13	4.6	
	SS(mg/l)	7	3	5	7	5	10	5	2	3	4	4	5	5	10	2	
その他	導電率(mS/m)	31	28	32	31	35	30	31	26	34	33	33	31	31	35	26	
	塩素イオン(mg/l)	19	17	22	19	24	25	18	18	22	23	22	19	21	25	17	
備考																	

⑨弘法橋(水域名:東川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		10:50	11:05	10:50	11:20	11:15	11:00	10:40	10:50	11:20	10:55	11:00	10:50				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	17.0	17.8	22.0	28.0	33.2	32.5	23.0	14.7	12.9	6.4	6.0	5.2	18.2	33.2	5.2	
	水温(°C)	17	16.5	23.8	22.0	31.0	31.5	20.5	13.7	10.8	5.0	4.0	5.0	16.7	31.5	4.0	
	水深(m)	0.20	0.20	0.26	0.26	0.20	0.20	0.28	0.32	0.20	0.19	0.18	0.23	0.23	0.32	0.18	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.920	0.915	>1.000	0.365	0.790	>1.000	0.780	>1.000	0.898	>1.000	0.365	
	色相	黄緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	茶色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-	
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	8.9	8.2	8.7	7.6	8.8	9.5	8.4	7.7	7.6	7.7	7.8	7.3	8.2	9.5	7.3
	DO(mg/l)	-	13	11	11	9.5	11	14	9.9	10	11	13	15	12	12	15	9.5
	BOD(mg/l)	-	1.5	1.4	1.0	0.8	1.3	2.2	0.5	1.1	1.4	1.7	2.7	2.7	1.5(1.7)	2.7	0.5
	SS(mg/l)	-	1	1	2	4	4	3	4	14	3	<1	3	1	3	14	<1
その他	導電率(mS/m)	-	26	20	26	27	27	29	25	21	28	27	25	26	29	20	
備考																	

⑩中橋(水域名:東川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		8:50	8:55	8:50	8:55	8:50	8:55	8:30	8:50	8:50	8:50	8:50	8:50				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	11.2	16.4	17.8	24.8	27.2	29.8	19.2	10.9	8.5	1.4	3.2	4.5	14.6	29.8	1.4	
	水温(°C)	12.5	16.0	17.2	21.5	27.1	27.2	19.4	11.8	8.2	4.0	1.6	4.0	14.2	27.2	1.6	
	流量(m³/s)	0.05	-	0.04	-	0.02	-	0.06	-	0.04	-	0.01	-	0.04	0.06	0.01	
	水深(m)	0.30	0.27	0.25	0.35	0.23	0.38	0.39	0.23	0.25	0.28	0.17	0.25	0.28	0.39	0.17	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	>1.000	0.560	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.963	>1.000	0.560	
	色相	黄緑色・淡(明)	灰茶色・中	灰緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	無色・淡(明)	黄色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	-	-	-	
臭気	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	無臭	川藻臭(微)	川藻臭(微)	-	-	-		
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	-	6.9	7.1	7.1	7.7	7.3	7.6	7.5	7.3	7.4	7.1	6.9	7.0	7.2	7.7	6.9
	DO(mg/l)	-	10	8.5	10	8.1	6.5	7.0	9.0	11	10	12	13	13	9.8	13	6.5
	BOD(mg/l)	-	2.0	4.1	1.1	0.7	1.2	0.8	<0.5	<0.5	1.2	1.2	2.1	1.9	1.4(1.9)	4.1	<0.5
	COD(mg/l)	-	3.7	5.8	3.9	2.5	3.1	3.6	2.6	1.9	2.6	1.5	4.0	2.1	3.1	5.8	1.5
	SS(mg/l)	-	1	5	2	1	2	1	3	2	1	<1	1	1	2	5	<1
	全窒素(mg/l)	-	5.4	5.1	6.6	8.2	7.8	4.7	6.5	8.9	7.4	8.3	9.0	8.9	7.2	9.0	4.7
	全リン(mg/l)	-	0.15	0.17	0.22	0.37	0.19	0.16	0.12	0.31	0.15	0.20	0.22	0.25	0.21	0.37	0.12
	全亜鉛(mg/l)	-	0.024	-	0.019	-	0.016	-	0.009	-	0.011	-	0.014	-	0.016	0.024	0.009
その他	アンモニア性窒素(mg/l)	-	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.2	<0.1	
	リン酸性リン(mg/l)	-	0.10	0.12	0.15	0.28	0.15	0.08	0.09	0.19	0.11	0.08	0.14	0.10	0.13	0.28	0.08
	導電率(mS/m)	-	27	18	27	27	34	29	33	28	20	27	33	20	27	34	18
	塩素イオン(mg/l)	-	16	13	15	11	14	15	15	17	19	17	32	16	17	32	11
	MBAS(mg/l)	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01
備考																	

⑪城下橋(水域名:東川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:45	9:35	9:35	10:15	9:45	9:35	9:10	9:50	9:35	9:40	9:45	9:30				
現場採取項目	天候(当日)	晴	小雨	晴	曇	晴	晴	晴	快晴	晴	快晴	晴	晴	-	-	-	
	天候(前日)	曇	小雨	晴	晴	晴	晴	曇	快晴	晴	快晴	快晴	晴	-	-	-	
	気温(°C)	15.2	16.4	22.1	28.6	30.6	31.9	24.5	14.5	12.4	8.5	7.0	7.5	18.3	31.9	7.0	
	水温(°C)	14.2	18.3	21.0	24.5	28.7	29.0	21.6	16.0	14.8	11.2	11.0	10.7	18.4	29.0	10.7	
	流量(m³/s)	0.88	-	1.0	-	0.90	-	0.88	-	0.80	-	0.71	-	0.86	1.0	0.71	
	水深(m)	0.30	0.32	0.18	0.26	0.32	0.34	0.23	0.32	0.33	0.28	0.32	0.41	0.30	0.41	0.18	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.210	0.480	0.630	>1.000	0.690	0.800	>1.000	>1.000	0.925	>1.000	0.760	0.505	0.750	>1.000	0.210	
	色相	灰黄色・中	灰茶色・中	灰黄色・淡(明)	黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	緑褐色・中	灰黄色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・中	灰黄色・淡(明)	黄色・中	灰黄色・中	-	-	-	
	臭気	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(中)	川藻臭(中)	川藻臭(中)	-	-	-	
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-		
生活環境項目	pH	7.0	7.3	7.6	7.6	7.7	7.7	7.4	7.3	7.3	7.3	7.2	7.2	7.4	7.7	7.0	
	DO(mg/l)	9.9	8.6	9.8	8.6	9.1	8.6	8.7	10	9.9	10	10	11	9.5	11	8.6	
	BOD(mg/l)	11	17	24	6.3	23	15	5.6	13	15	13	15	18	15(17)	24	5.6	
	SS(mg/l)	17	7	6	3	12	9	4	3	3	1	7	5	6	17	1	
その他	導電率(mS/m)	35	28	49	40	53	54	43	44	41	50	50	43	44	54	28	
備考																	

⑫金井沢橋(水域名:不老川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均 (75%値)	最大値	最小値	
採水時刻		9:15	9:10	9:15	9:15	9:15	9:10	8:30	9:00	9:10	9:05	9:05	9:15				
現場採取項目	天候(当日)	晴れ	小雨	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	晴れ	快晴	晴れ	晴れ	-	-	-	
	天候(前日)	曇り	小雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	快晴	晴れ	快晴	快晴	晴れ	-	-	-	
	気温(°C)	14.0	15.8	17.5	27.4	28.8	29.0	19.0	12.0	9.8	4.1	2.2	3.5	15.3	29.0	2.2	
	水温(°C)	14.5	16.1	18.5	19.8	23.0	24.5	19.8	16.2	13.8	9.6	8.3	8.0	16.0	24.5	8.0	
	流量(m³/s)	0.19	-	0.31	-	0.26	-	0.36	-	0.22	-	0.06	-	0.23	0.36	0.06	
	水深(m)	0.30	0.25	0.26	0.34	0.22	0.22	0.30	0.27	0.23	0.23	0.20	0.19	0.25	0.34	0.19	
	採取位置	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	流心(中央)	-	-	-
	透視度(m)	0.315	0.650	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	>1.000	0.900	>1.000	>1.000	>1.000	0.350	0.851	>1.000	0.315
	色相	灰白色・中	灰黄色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・淡(明)	黄緑色・淡(明)	緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰緑色・淡(明)	灰黄色・中	-	-	-
	臭気	下水臭(微)	下水臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	川藻臭(微)	下水臭(微)	-	-	-
流況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	流量大	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	通常の状況	-	-	-	
生活環境項目	pH	6.9	6.9	7.0	6.8	6.8	7.1	6.9	6.8	6.8	6.9	7.1	7.6	7.0	7.6	6.8	
	DO(mg/l)	9.6	8.5	10	9.5	9.9	8.3	9.7	8.7	9.3	10	11	10	9.5	11	8.3	
	BOD(mg/l)	13	4.0	2.0	1.5	2.6	4.1	2.7	4.5	2.3	4.3	6.0	8.9	4.7(4.5)	13	1.5	
	COD(mg/l)	11	-	3.3	-	2.7	-	3.0	-	2.7	-	8.5	-	5.2	11	2.7	
	SS(mg/l)	5	3	1	3	5	3	2	3	3	3	2	5	3	5	1	
	大腸菌群数(MPN/100ml)	28000	-	11000	-	7900	-	2800	-	4900	-	4900	-	9900	28000	2800	
	全窒素(mg/l)	8.1	-	7.8	-	11	-	9.6	-	9.9	-	9.6	-	9.3	11	7.8	
	全リン(mg/l)	1.0	-	0.19	-	0.23	-	0.20	-	0.18	-	0.19	-	0.33	1.0	0.18	
その他	アンモニア性窒素(mg/l)	0.6	-	0.5	-	0.4	-	0.1	-	0.2	-	0.2	-	0.3	0.6	0.1	
その他	導電率(mS/m)	43	34	37	30	35	48	33	31	43	40	68	64	42	68	30	
備考																	

■健康項目等

④二柳橋(水域名:柳瀬川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均	最大値	最小値	
採水時刻		11:00	10:35	10:40	11:50	11:05	10:35	10:30	11:00	10:40	11:00	10:50	10:35				
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	全シアン (mg/L)	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	<0.1	<0.1	
	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	六価クロム (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
	砒素 (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	PCB (mg/L)	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	<0.0005	<0.0005	
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	チウラム (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン (mg/L)	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	セレン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	ほう素 (mg/L)	0.02	<0.02	<0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	<0.02
	ふっ素 (mg/L)	0.04	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05	0.04	<0.02
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.073	0.056	0.063	0.032	0.020	0.053	0.039	0.043	0.054	0.057	0.059	0.045	0.045	0.050	0.073	0.020
硝酸性窒素 (mg/L)	3.4	2.7	3.2	3.8	3.8	4.3	3.5	4.5	4.4	3.3	4.2	4.6	4.6	3.8	4.6	2.7	
1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
要監視項目	クロロホルム (mg/L)	-	-	-	-	0.008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)	-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	イソキサチオン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ダイアジノン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フェニトロチオン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	イソプロチオラン (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	オキシ銅 (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロロタロニル (mg/L)	-	-	-	-	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	プロピザミド (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	EPN (mg/L)	-	-	-	-	<0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ジクロルボス (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フェノカルブ (mg/L)	-	-	-	-	<0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	イプロベンホス (mg/L)	-	-	-	-	0.0014	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロルニトロフェン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	トルエン (mg/L)	-	-	-	-	<0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	キシレン (mg/L)	-	-	-	-	<0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フタル酸ジエチルヘキシル (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ニッケル (mg/L)	-	-	-	-	0.007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
モリブデン (mg/L)	-	-	-	-	0.011	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
アンチモン (mg/L)	-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
塩化ビニルモノマー (mg/L)	-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
エピクロロヒドリン (mg/L)	-	-	-	-	<0.00004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
全マンガン (mg/L)	-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ウラン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
フェノール (mg/L)	-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ホルムアルデヒド (mg/L)	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考																	

⑩中橋(水域名:東川)

採水年月日		H22.4.14	H22.5.12	H22.6.2	H22.7.9	H22.8.4	H22.9.1	H22.10.6	H22.11.10	H22.12.1	H23.1.5	H23.2.2	H23.3.4	年平均	最大値	最小値	
採水時刻		8:50	8:55	8:50	8:55	8:50	8:55	8:30	8:50	8:50	8:50	8:50	8:50				
健康項目	カドミウム (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	全シアン (mg/L)	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	<0.1	<0.1	
	鉛 (mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	六価クロム (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
	砒素 (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	総水銀 (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	PCB (mg/L)	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	-	<0.0004	<0.0004	<0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	-	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	
	チウラム (mg/L)	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	
	シマジン (mg/L)	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	-	<0.0003	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	<0.002	
	ベンゼン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	セレン (mg/L)	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001	<0.001	
	ほう素 (mg/L)	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.04	0.02	0.03	0.04	0.02
	ふっ素 (mg/L)	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	0.02	<0.02
	亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.065	0.061	0.072	0.058	0.052	0.021	0.044	0.095	0.050	0.096	0.089	0.092	0.066	0.066	0.096	0.021
	硝酸性窒素 (mg/L)	4.6	4.1	5.7	6.3	4.5	4.0	6.0	7.7	7.1	7.2	4.8	7.7	5.8	7.7	4.0	
	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	-	<0.005	<0.005	<0.005	
要監視項目	クロロホルム (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)	-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	イソキサチオン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ダイアジン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フェニトロチオン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	イソプロチオラン (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	オキシ銅 (mg/L)	-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロロタロニル (mg/L)	-	-	-	-	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	プロピザミド (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	EPN (mg/L)	-	-	-	-	<0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ジクロロボス (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フェノカルブ (mg/L)	-	-	-	-	<0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	イプロベンホス (mg/L)	-	-	-	-	<0.0008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロロニトロフェン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	トルエン (mg/L)	-	-	-	-	<0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	キシレン (mg/L)	-	-	-	-	<0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フタル酸ジエチルヘキシル (mg/L)	-	-	-	-	<0.006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ニッケル (mg/L)	-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	モリブデン (mg/L)	-	-	-	-	<0.007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	アンチモン (mg/L)	-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	塩化ビニルモノマー (mg/L)	-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	エピクロヒドリン (mg/L)	-	-	-	-	<0.00004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全マンガン (mg/L)	-	-	-	-	<0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ウラン (mg/L)	-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	フェノール (mg/L)	-	-	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ホルムアルデヒド (mg/L)	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考																	

⑫金井沢橋(水域名:不老川)

採水年月日	H22.4.14	-	H22.6.2	-	H22.8.4	-	H22.10.6	-	H22.12.1	-	H23.2.2	-	年平均	最大値	最小値
採水時刻	9:15	-	9:15	-	9:15	-	8:30	-	9:10	-	9:05	-			
健康項目※	亜硝酸性窒素 (mg/l)	2.8	-	0.56	-	0.22	-	0.16	-	0.12	-	0.091	0.66	2.8	0.091
	硝酸性窒素 (mg/l)	2.0	-	6.0	-	9.1	-	8.1	-	9.5	-	7.5	7.0	9.5	2.0
備考															

※ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素のみ測定しています。

■底質

④二柳橋(水域名:柳瀬川)

採泥年月日	-	-	-	-	-	-	H22.10.6	-	-	-	-	-	年平均	最大値	最小値
採泥時刻	-	-	-	-	-	-	10:30	-	-	-	-	-			
底質	カドミウム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	鉛 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	六価クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<2	-	-	-	-	-	-	-	-
	砒素 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	総水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
	アルキル水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	PCB (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	強熱減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	乾燥減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	16.2	-	-	-	-	-	-	-	-
備考															

⑩中橋(水域名:東川)

採泥年月日	-	-	-	-	-	-	H22.10.6	-	-	-	-	-	年平均	最大値	最小値
採泥時刻	-	-	-	-	-	-	8:30	-	-	-	-	-			
底質	カドミウム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	鉛 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	六価クロム (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<2	-	-	-	-	-	-	-	-
	砒素 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	総水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
	アルキル水銀 (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	PCB (mg/kg乾泥)	-	-	-	-	-	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
	強熱減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	乾燥減量 (%乾泥)	-	-	-	-	-	15.5	-	-	-	-	-	-	-	-
備考															

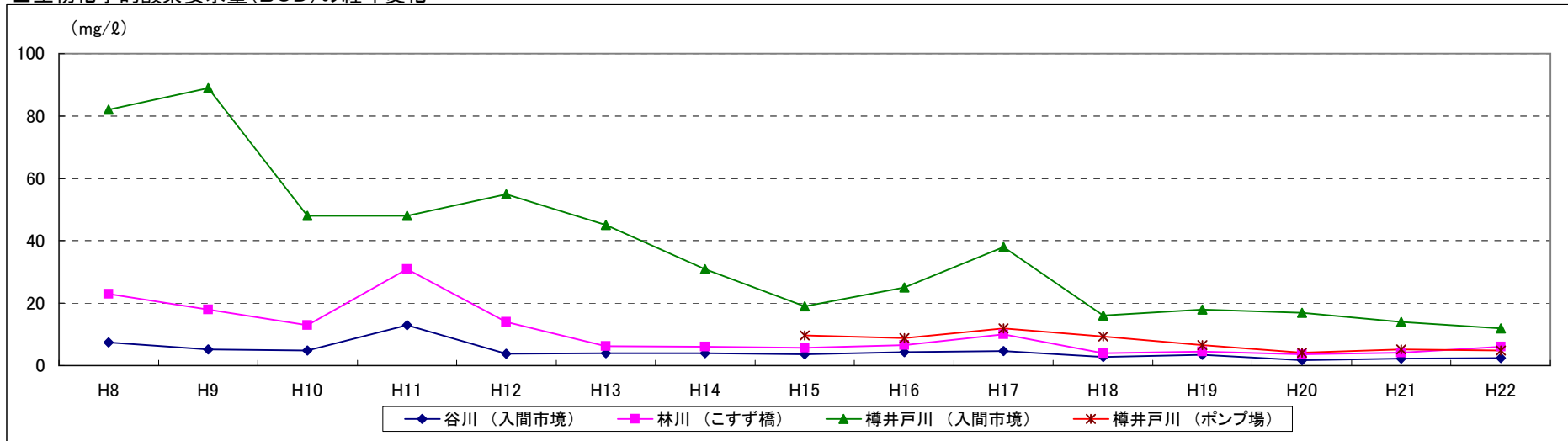
(4) 生活排水対策重点地域(不老川流域)における水質測定結果

■生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化

河川名	採水地点	生物化学的酸素要求量(BOD)の年平均値(単位mg/ℓ)					生物化学的酸素要求量(BOD)の汚濁負荷量の年平均値(単位kg/日)				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
谷川 [不老川支川]	①入間市境	2.7	3.5	1.7	2.2	2.5	11	13	11	8.5	8.7
林川 [不老川支川]	②こすず橋	3.9	4.5	3.6	4.2	6.0	7.4	12	9.3	9.2	12
樽井戸川 [林川支川]	③入間市境	16	18	17	14	12	15	19	20	24	24
樽井戸川 [林川支川]	④R463脇ポンプ場	9.3	6.6	4.1	5.2	4.8	7.4	5.3	4.7	3.5	3.8

生活環境項目

■生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化



(1)谷川(入間市境)

採水年月日 (開始) (終了)		H22.5.13 ~5/14	H22.8.5 ~8/6	H22.11.11 ~11/12	H23.2.3 ~2/4	年平均 (75%値)	最大値	最小値
測定項目等	天候(当日)	晴れ	快晴	晴れ	晴れ	-	-	-
	気温 (°C)	15.2	28.7	9.4	3.7	14.2	28.7	3.7
	水温 (°C)	14.8	24.1	15.3	8.1	15.5	24.1	8.1
	流量 (m³/h)	240	110	300	93	186	300	93
	pH	7.6	8.1	6.9	6.7	7.3	8.1	6.7
	BOD (mg/l)	1.8	0.7	1.1	6.4	2.5(1.8)	6.4	0.7
	SS (mg/l)	1	1	1	3	1	3	1
	導電率 (mS/m)	26	29	22	27	26	29	22
	透視度 (m)	>1.000	>1.000	>1.000	0.939	0.985	>1.000	0.939
	BOD汚濁負荷量 (kg/日)	10.6	1.7	8.0	14.4	8.7	14.4	1.7
備考								

(3)樽井戸川(入間市境)

採水年月日 (開始) (終了)		H22.5.13 ~5/14	H22.8.5 ~8/6	H22.11.11 ~11/12	H23.2.3 ~2/4	年平均 (75%値)	最大値	最小値
測定項目等	天候(当日)	晴れ	快晴	晴れ	晴れ	-	-	-
	気温 (°C)	16.8	30.5	11.5	4.9	15.9	30.5	4.9
	水温 (°C)	15.4	27.9	13.3	6.4	15.7	27.9	6.4
	流量 (m³/h)	79	95	110	69	88	110	69
	pH	7.4	7.3	7.2	7.2	7.3	7.4	7.2
	BOD (mg/l)	11	12	7.4	17	12(12)	17	7.4
	SS (mg/l)	6	10	2	9	7	10	2
	導電率 (mS/m)	35	38	28	47	37	47	28
	透視度 (m)	0.542	0.471	0.565	0.364	0.485	0.565	0.364
	BOD汚濁負荷量 (kg/日)	20.3	28.7	18.8	28.4	24.1	28.7	18.8
備考								

(2)林川(こすず橋)

採水年月日 (開始) (終了)		H22.5.13 ~5/14	H22.8.5 ~8/6	H22.11.11 ~11/12	H23.2.3 ~2/4	年平均 (75%値)	最大値	最小値
測定項目等	天候(当日)	晴れ	快晴	晴れ	晴れ	-	-	-
	気温 (°C)	15.9	29.7	9.7	3.6	14.7	29.7	3.6
	水温 (°C)	15.0	26.4	13.8	5.9	15.3	26.4	5.9
	流量 (m³/h)	91	82	190	35	99	190	35
	pH	7.5	8.3	7.3	7.1	7.5	8.3	7.1
	BOD (mg/l)	4.6	2.3	4.7	12	6.0(4.7)	12	2.3
	SS (mg/l)	2	4	2	6	4	6	2
	導電率 (mS/m)	27	29	23	33	28	33	23
	透視度 (m)	0.946	0.693	0.658	0.439	0.684	0.946	0.439
	BOD汚濁負荷量 (kg/日)	10.2	4.5	20.6	10.6	11.5	20.6	4.5
備考								

(4)樽井戸川(R463脇ポンプ場横)

採水年月日 (開始) (終了)		H22.5.13 ~5/14	H22.8.5 ~8/6	H22.11.11 ~11/12	H23.2.3 ~2/4	年平均 (75%値)	最大値	最小値
測定項目等	天候(当日)	晴れ	快晴	晴れ	晴れ	-	-	-
	気温 (°C)	16.7	31.2	10.3	3.7	15.5	31.2	3.7
	水温 (°C)	14.6	28.8	12.7	4.6	15.2	28.8	4.6
	流量 (m³/h)	31	19	63	31	36	63	19
	pH	7.6	8.1	7.3	7.4	7.6	8.1	7.3
	BOD (mg/l)	6.5	1.7	2.3	8.5	4.8(6.5)	8.5	1.7
	SS (mg/l)	3	2	1	3	2	3	1
	導電率 (mS/m)	34	35	27	43	35	43	27
	透視度 (m)	0.883	0.960	>1.000	0.517	0.840	>1.000	0.517
	BOD汚濁負荷量 (kg/日)	4.6	0.8	3.5	6.4	3.8	6.4	0.8
備考								

■都市下水路等における水質測定項目 (H22年度)

測定項目		河川名 測定地点	砂川堀							六ツ家川			
			金仙寺	寺山橋	誓詞橋上流	誓詞橋下流	仮調整池前	鷺ノ宮前	遊水地前	永久保境橋	宮前自治会	レーベンハイム前	いずみ橋
一般項目	水温		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生活環境項目	pH、BOD、SS、COD		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の項目	透視度、塩素イオン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■都市下水路等における水質測定地点 (H22年度)



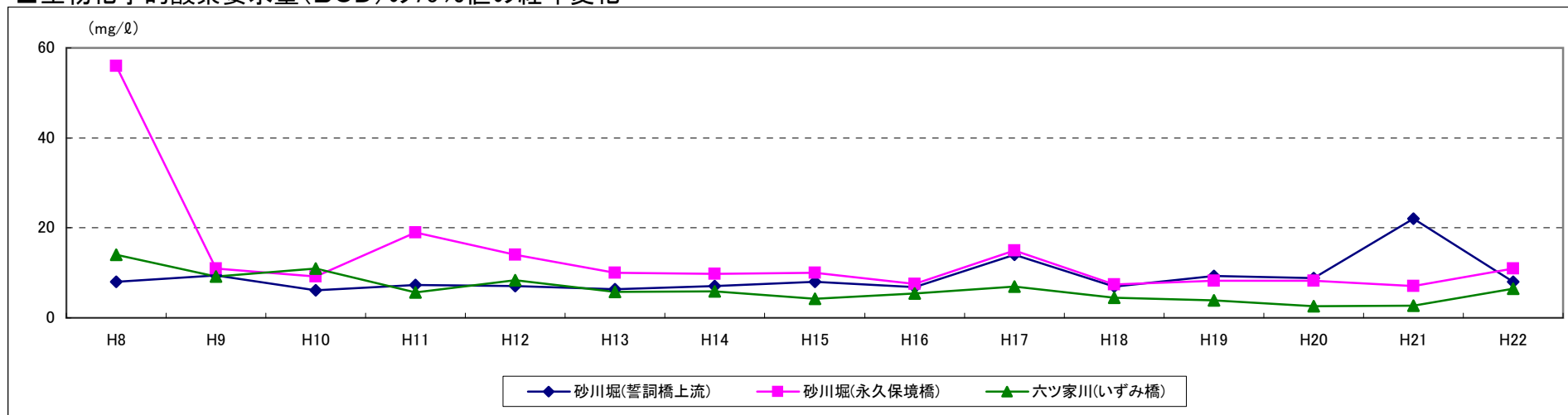
(5) 都市下水路等における水質測定結果(調査:下水道部 下水道維持課)

■生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化

(単位:mg/ℓ)

水域名	採水地点	生物化学的酸素要求量(BOD)の年平均値					生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値				
		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
砂川堀	① 金仙寺	3.6	2.4	2.4	1.2	<2.5	3.2	2.0	5.1	1.5	<2.5
	② 寺山橋	7.3	9.6	6.0	5.6	5.5	7.1	11	9.0	8.4	7.3
	③ 誓詞橋上流	6.6	8.2	6.8	11	6.4	7.0	9.3	8.8	22	8.0
	④ 誓詞橋下流	8.5	11	6.5	10	7.7	9.5	13	7.3	17	8.3
	⑤ 仮設調整池前	11	11	6.9	5.7	7.1	7.3	12	7.4	8.6	9.8
	⑥ 鷺ノ宮前	5.7	8.6	9.4	4.3	6.0	6.3	10	15	6.1	9.6
	⑦ 遊水池前	28	16	18	19	17	38	16	42	26	27
	⑧ 永久保境橋	5.5	8.4	6.8	5.1	6.2	7.4	8.2	8.3	7.1	11
六ツ家川	⑨ 宮前自治会	7.7	10	3.9	5.6	3.5	8.5	6.7	5.4	10	4.7
	⑩ レーベンハイム横	6.5	7.7	3.7	6.1	4.0	5.5	9.9	4.4	9.4	4.6
	⑪ いずみ橋	5.2	4.2	2.0	2.1	4.0	4.5	3.9	2.6	2.7	6.5

■生物化学的酸素要求量(BOD)の75%値の経年変化



①金仙寺(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		10:50	10:03	10:07			
測定項目等	水温 (°C)	20.6	23.5	3.6	15.9	23.5	3.6
	pH	6.9	7.0	7.3	7.1	7.3	6.9
	透視度 (m)	0.90	0.60	>1.00	0.83	>1.00	0.60
	BOD (mg/l)	<2.5	<2.5	<2.5	<2.5	<2.5	<2.5
	COD (mg/l)	4.1	5.5	1.4	3.7	5.5	1.4
	SS (mg/l)	8.4	14	<2	8.1	14	<2
	塩化物イオン (mg/l)	3.6	7.8	4.4	5.3	7.8	3.6
備考							

②寺山橋(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		10:55	10:10	10:14			
測定項目等	水温 (°C)	20.2	23.7	5.5	16.5	23.7	5.5
	pH	7.1	7.3	7.2	7.2	7.3	7.1
	透視度 (m)	0.98	0.44	0.86	0.76	0.98	0.44
	BOD (mg/l)	4.5	4.8	7.3	5.5	7.3	4.5
	COD (mg/l)	5.9	8.5	8.3	7.6	8.5	5.9
	SS (mg/l)	9.0	23	2.4	11	23	2.4
	塩化物イオン (mg/l)	15	26	28	23	28	15
備考							

③誓詞橋上流(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		11:07	10:25	10:29			
測定項目等	水温 (°C)	19.6	24.0	7.0	16.9	24.0	7.0
	pH	7.2	7.3	7.4	7.3	7.4	7.2
	透視度 (m)	0.65	0.48	0.60	0.58	0.65	0.48
	BOD (mg/l)	6.8	4.5	8.0	6.4	8.0	4.5
	COD (mg/l)	8.0	8.8	9.7	8.8	9.7	8.0
	SS (mg/l)	9.4	11.0	3.0	7.8	11	3.0
	塩化物イオン (mg/l)	19	19	45	28	45	19
備考							

④誓詞橋下流(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		11:05	10:21	10:29			
測定項目等	水温 (°C)	19.4	23.8	7.0	16.7	23.8	7.0
	pH	7.3	7.3	7.4	7.3	7.4	7.3
	透視度 (m)	0.58	0.49	0.60	0.56	0.60	0.49
	BOD (mg/l)	8.3	4.9	8.0	7.1	8.3	4.9
	COD (mg/l)	8.6	8.9	9.7	9.1	9.7	8.6
	SS (mg/l)	11	10	3.0	8.0	11	3.0
	塩化物イオン (mg/l)	21	21	45	29	45	21
備考							

⑤仮設調整池前(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		11:13	10:34	10:40			
測定項目等	水温 (°C)	20.7	24.0	4.8	16.5	24.0	4.8
	pH	7.4	7.4	7.6	7.5	7.6	7.4
	透視度 (m)	0.23	0.46	0.56	0.42	0.56	0.23
	BOD (mg/l)	9.8	4.2	7.2	7.1	9.8	4.2
	COD (mg/l)	9.3	8.9	9.6	9.3	9.6	8.9
	SS (mg/l)	120	18	2.0	47	120	2.0
	塩化物イオン (mg/l)	15	21	48	28	48	15
備考							

⑥鷺ノ宮前(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		11:20	10:41	10:50			
測定項目等	水温 (°C)	20.9	24.0	4.7	16.5	24.0	4.7
	pH	7.4	7.3	7.5	7.4	7.5	7.3
	透視度 (m)	0.56	0.35	0.20	0.37	0.56	0.20
	BOD (mg/l)	4.8	3.5	9.6	6.0	9.6	3.5
	COD (mg/l)	8.0	9.1	10.0	9.0	10	8.0
	SS (mg/l)	16	22	20	19	22	16
	塩化物イオン (mg/l)	19	15	42	25	42	15
備考							

⑦遊水地前(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		11:41	11:01	11:13			
測定項目等	水温 (°C)	21.5	24.5	11.0	19.0	24.5	11.0
	pH	7.3	7.1	7.3	7.2	7.3	7.1
	透視度 (m)	0.56	0.49	0.23	0.43	0.56	0.23
	BOD (mg/ℓ)	12	12	27	17	27	12
	COD (mg/ℓ)	12	13	19	15	19	12
	SS (mg/ℓ)	8.6	10	16	12	16	8.6
	塩化物イオン (mg/ℓ)	36	38	83	52	83	36
備考							

⑩レーベンハイム前(河川名:六ツ家川)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		10:29	9:38	9:46			
測定項目等	水温 (°C)	20.3	22.6	8.3	17.1	22.6	8.3
	pH	7.6	7.6	7.4	7.5	7.6	7.4
	透視度 (m)	>1.00	>1.00	>1.00	>1.00	>1.00	>1.00
	BOD (mg/ℓ)	4.2	<2.5	4.2	3.6	4.2	<2.5
	COD (mg/ℓ)	4.6	3.7	3.8	4.0	4.6	3.7
	SS (mg/ℓ)	2.4	5.5	<2	3.3	5.5	<2
	塩化物イオン (mg/ℓ)	65	77	35	59	77	35
備考							

⑧永久保境橋(河川名:砂川堀)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		11:50	11:09	11:24			
測定項目等	水温 (°C)	22.9	25.2	7.0	18.4	25.2	7.0
	pH	7.6	7.6	7.2	7.5	7.6	7.2
	透視度 (m)	0.74	0.64	0.45	0.61	0.74	0.45
	BOD (mg/ℓ)	4.2	3.5	11	6.2	11	3.5
	COD (mg/ℓ)	7.7	7.6	13	9.4	13	7.6
	SS (mg/ℓ)	4.2	13	8.3	8.5	13	4.2
	塩化物イオン (mg/ℓ)	37	28	56	40	56	28
備考							

⑪いずみ橋(河川名:六ツ家川)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		10:21	9:29	9:37			
測定項目等	水温 (°C)	20.6	24.0	5.5	16.7	24.0	5.5
	pH	8.1	7.9	7.6	7.9	8.1	7.6
	透視度 (m)	>1.00	>1.00	0.66	0.89	>1.00	0.66
	BOD (mg/ℓ)	3.1	<2.5	6.5	4.0	6.5	<2.5
	COD (mg/ℓ)	3.7	2.9	6.8	4.5	6.8	2.9
	SS (mg/ℓ)	6.2	3.3	17	8.8	17	3.3
	塩化物イオン (mg/ℓ)	36	30	68	45	68	30
備考							

⑨宮前自治会(河川名:六ツ家川)

採水年月日		H22.5.21	H22.9.9	H23.1.28	年平均	最大値	最小値
採水時刻		10:37	9:52	9:54			
測定項目等	水温 (°C)	18.7	21.2	9.0	16.3	21.2	9.0
	pH	7.2	6.9	7.5	7.2	7.5	6.9
	透視度 (m)	>1.00	>1.00	>1.00	>1.00	>1.00	>1.00
	BOD (mg/ℓ)	4.7	3.2	<2.5	3.5	4.7	<2.5
	COD (mg/ℓ)	5.4	4.1	2.0	3.8	5.4	2.0
	SS (mg/ℓ)	4.2	2.3	4.8	3.8	4.8	2.3
	塩化物イオン (mg/ℓ)	86	65	24	58	86	24
備考							

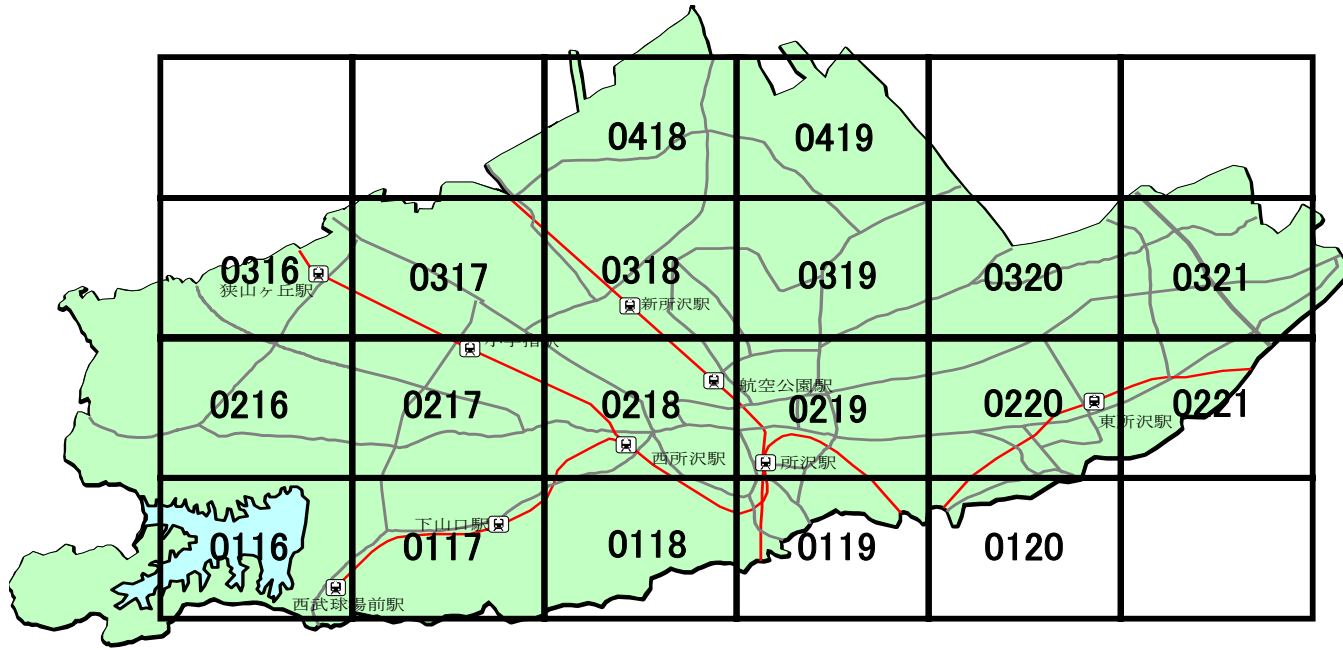
■地下水測定項目(H22年度)

測定項目	調査区画番号													
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	
	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1
	6	8	9	6	8	0	1	6	7	8	9	0	8	9

概況調査 (地域の全体的な地下水質の概況を把握するための調査、地域を約2kmメッシュに分割し、5年間で全ての調査地区を一巡するローリング方式で実施している)														
カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀※1、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ふっ素、ほう素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン	○									○	○	○		

継続監視調査 (汚染地域について継続的に監視を行うための調査)														
塩化ビニルモノマー、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トランス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン		○			○	○	○				○			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			○	○	○		○	○	○	○		○	○	○

※1 アルキル水銀は、総水銀が検出された場合のみ実施しています。



(6) 地下水質測定結果(H22年度)

(一は測定を実施しないもの)

測定項目	調査区分 地区名 井戸番号 採水年月日	概況調査	概況調査	概況調査	概況調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	環境基準
		上山口	狭山ヶ丘	北岩岡	南永井	久米	久米	北秋津	三ヶ島	上新井	西所沢	下安松	城	本郷	本郷	城
カドミウム	011611	H22.10.29	H22.10.29	H22.11.2	H22.11.1	H22.10.29	H22.10.29	H22.11.1	H22.10.29	H22.10.29	H22.10.29	H22.11.1	H22.11.1	H22.11.1	H22.11.1	0.01以下
全シアン		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
鉛		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
六価クロム		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
砒素		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下
砒素		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
総水銀		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005以下
PCB		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下
四塩化炭素		<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
塩化ビニルモノマー		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-	-	-	<0.0002	<0.0002	-	<0.0002	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン		<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	<0.002	<0.002	-	<0.002	<0.002	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009	-	-	<0.002	<0.002	-	<0.002	<0.002	-	0.04以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	<0.002	<0.002	-	<0.002	<0.002	-	-
1,2-ジクロロエチレン		<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.011	-	-	<0.004	<0.004	-	<0.004	<0.004	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-	-	<0.0005	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	<0.002	<0.002	-	<0.002	<0.002	-	0.03以下
テトラクロロエチレン		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.19	<0.0005	-	-	0.35	0.0008	-	0.0013	0.0039	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
チウラム		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下
シマジン		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下
チオベンカルブ		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下
ベンゼン		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
セレン		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		2.9	10	0.76	8.1	-	-	12	16	9.1	-	-	12	-	15	10以下
ふっ素		<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下
ほう素		0.08	0.13	0.08	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1以下
1,4-ジオキサン		<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下

測定項目	調査区分 地区名 井戸番号 採水年月日	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	環境基準
		城	狭山ヶ丘	東狭山ヶ丘	所沢新町	中富	南永井	神米金	中富	下富						
カドミウム	022121	H22.11.1	H22.10.29	H22.10.29	H22.11.2	H22.11.2	H22.11.1	H22.11.2	H22.11.2	H22.11.2	欠測					0.01以下
鉛		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
六価クロム		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下
砒素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
砒素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005以下
総水銀		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
PCB		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下
ジクロロメタン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
四塩化炭素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
塩化ビニルモノマー		-	-	-	-	<0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン		-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン		-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン		-	-	-	-	<0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1,2-ジクロロエチレン		-	-	-	-	<0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン		-	-	-	-	0.009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03以下
テトラクロロエチレン		-	-	-	-	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
チウラム		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下
シマジン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下
チオベンカルブ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下
ベンゼン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
セレン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		12	10	9.8	11	-	4.9	12	9.5	-	-	-	-	-	-	10以下
ふっ素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下
ほう素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1以下
1,4-ジオキサン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下

3 騷 音



(1) 騒音に係る環境基準

1 一般地域における環境基準

地域区分	用途地域	昼間 (6:00~ 22:00)	夜間 (22:00~ 6:00)	備考
AA地域		50デシベル 以下	40デシベル 以下	AA地域については、 埼玉県内では適用地域 がありません。また、 工業専用地域について は環境基準が適用され ません。
A地域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域	55デシベル 以下	45デシベル 以下	
B地域	第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地 域			
C地域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	60デシベル 以下	50デシベル 以下	

※ 環境基準は、航空機騒音、鉄道騒音及び建設作業騒音には適用されていません。

2 道路に面する地域における環境基準

地域区分	昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~6:00)	備考
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60デシベル以下	55デシベル以下	車線とは、1縦列の自動車 が安全かつ円滑に走行する ために必要な一定の幅員 を有する帯状の車道部分を いう。
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65デシベル以下	60デシベル以下	

■幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準（特例）

地域区分	昼間 (6:00~ 22:00)	夜間 (22:00~ 6:00)	備考
道路法第3条に規定する高速自動車国道、一般国道、県道、4車線以上の市町村道、及び一般自動車道であって都市計画法施行規則第7条第1項第1号に定める自動車専用道路に近接する空間	70デシベル 以下	65デシベル 以下	近接する空間とは、道路端からの距離が、2車線以下では15m、3車線以上では20mの区間をいう。

※ 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあっては45デシベル以下、夜間にあっては40デシベル以下）によることができる。

3 航空機騒音に係る環境基準

類型区分	基準値	備考
I類型（専ら住居の用に供される地域）	70WECPNL以下	WECPNL：加重等価平均感覚騒音レベル（航空機騒音のうるささを評価する指標、「うるささ指数」とも呼ばれている。）
II類型（通常の生活を保全する必要がある地域）	75WECPNL以下	

(2) 平成22年度 環境騒音の状況について

所沢市では、騒音規制法第 18 条に基づき、自動車騒音状況の常時監視を行っています。この事務は、道路交通に伴う騒音や交通量・車両速度等を測定し、騒音に係る環境基準の適合状況を得られた基礎データをもとにシミュレーション(「面的評価手法」という。)しています。

平成 18 年度から平成 22 年度に調査対象路線としている 12 路線 21 区間の面的評価が終了しています。その結果特に一般国道 463 号線及び県道所沢・青梅線における騒音に係る環境基準の達成率が低い状況となっています。

また、航空自衛隊入間基地周辺における航空機騒音に係る環境基準の適合状況も大変低い状況となっています。

1. 自動車に係る騒音

平成 22 年度に測定を行った一般国道 463 号線の 2 区間、県道狭山ヶ丘停車場線、主要地方道さいたま・ふじみ野・所沢線の 4 区間においては、前回調査と比較して昼夜間ともに基準超過の戸数の割合が、一般国道 463 号線においては減少しました。しかし主要地方道さいたま・ふじみ野・所沢線においては増加しています。

2. 航空機に係る騒音

平成 18 年度から市内 4 測定地点のうち、3 地点が環境基準である 70 WECPNL を超過しています。

■自動車騒音測定調査路線



測定路線名	No.	測定区間名
一般国道463号線	1	【宮本町交差点～入間市藤沢境】
	2	【宮本町交差点～東新井町交差点】
	3	【東新井町交差点～県道所沢・堀兼・狭山線交差点】
	4	【宮本町交差点～金山町交差点】
	5	【金山町交差点～大六天交差点】
県道所沢・青梅線	6	【入間市境(林3丁目)～大六天交差点】(バイパス)
	7	【坂之下交差点～愛宕山交差点】
	8	【大六天交差点～三ヶ島農協前交差点】

測定路線名	No.	測定区間名
県道狭山ヶ丘停車場線	9	【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】
県道所沢・堀兼・狭山線	10	【エステシー】
主要地方道さいたま・上福岡・所沢線	11	【中富交差点～東新井町交差点】
主要地方道所沢・武蔵村山・立川線	12	【岩崎交差点～東大和市境】
主要地方道所沢・狭山線	13	【西富小学校～緑町4丁目交差点】
主要地方道川越・所沢線	14	【下富交差点～緑町4丁目交差点】
	15	【元町交差点～緑町4丁目交差点】

測定路線名	No.	測定区間名
主要地方道練馬・所沢線	16	【ファルマン通り交差点～所沢陸橋北交差点】
	17	【所沢陸橋北交差点～愛宕山交差点】
主要地方道東京・所沢線	18	【愛宕山交差点～清瀬市境】
市道3-851号線	20	【航空公園通り西新井～弥生町】
市道2-194号線	21	【並木通り航空公園駅前～航空管制部前】

(3) 自動車交通騒音

■ 自動車騒音に係る環境基準の年度別適合状況(面的評価結果)

評価年度	測定路線名	測定区間名 No.	評価対象 住居等戸数	昼間・夜間とも 基準値以下		昼間のみ 基準値以下		夜間のみ 基準値以下		昼間・夜間とも 基準値超過		昼夜ともに環境基準 達成率
			(戸)	(戸)	割合	(戸)	割合	(戸)	割合	(戸)	割合	
平成17年度	一般国道463号線	3【東新井町交差点～県道所沢・堀兼・狭山線交差点】	164	92	56.1%	35	21.3%	0	0.0%	37	22.6%	17年度 85.9%
	県道所沢・青梅線	7【本郷交差点～愛宕山交差点】	928	851	91.7%	77	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	
	県道狭山ヶ丘停車場線	9【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】	394	390	99.0%	1	0.3%	0	0.0%	3	0.8%	
	主要地方道所沢・武蔵村山・立川線	12【金山町交差点～東大和市境】	1685	1425	84.6%	260	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	
	主要地方道練馬・所沢線	18【愛宕山交差点～清瀬市境】	452	353	78.1%	84	18.6%	0	0.0%	15	3.3%	
平成18年度	県道所沢・青梅線	8【大六天交差点～三ヶ島農協前交差点】	845	549	64.9%	151	17.9%	0	0.0%	145	17.2%	18年度 79.4%
	県道所沢・堀兼・狭山線	10【エステシティー】	111	79	71.2%	20	18.0%	0	0.0%	12	10.8%	
	主要地方道練馬・所沢線	16【ファルマン通り交差点～所沢陸橋北交差点】	1083	867	80.0%	215	19.9%	0	0.0%	1	0.1%	
		17【所沢陸橋北交差点～愛宕山交差点】	606	605	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	
平成19年度	一般国道463号線	1【宮本町交差点～入間市藤沢境】	1225	919	75.0%	246	20.1%	0	0.0%	60	4.9%	19年度 88.6%
		4【宮本町交差点～金山町交差点】	274	268	97.8%	4	1.5%	0	0.0%	2	0.7%	
		5【金山町交差点～大六天交差点】	1191	1085	91.1%	75	6.3%	0	0.0%	31	2.6%	
		6【入間市境(林3丁目)～大六天交差点】(バイパス)	1457	1404	96.4%	53	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	
平成20年度	主要地方道所沢・狭山線	13【西富小学校～緑町4丁目交差点】	888	836	94.1%	52	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	20年度 98.1%
	主要地方道川越・所沢線	14【下富交差点～緑町4丁目交差点】	1076	1040	96.7%	36	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	
		15【元町交差点～緑町4丁目交差点】	1369	1369	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	市道3-851号線	20【航空公園通り西新井～弥生町】	772	772	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
平成21年度	市道2-194号線	21【並木通り航空公園駅前～航空管制部前】	584	584	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	21年度 92.9%
	主要地方道東京・所沢線	19【大六天交差点～東村山市境】	3045	2758	90.6%	275	9.0%	0	0.0%	12	0.4%	
	主要地方道所沢・武蔵村山・立川線	12【岩崎交差点～東大和市境】	1259	1259	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	県道所沢・青梅線	7【坂之下交差点～愛宕山交差点】	1011	970	95.9%	27	2.7%	0	0.0%	14	1.4%	
平成22年度	主要地方道練馬・所沢線	18【愛宕山交差点～清瀬市境】	425	346	81.4%	52	12.2%	0	0.0%	27	6.4%	22年度 82.4%
	一般国道463号線	2【宮本町交差点～東新井町交差点】	1270	990	78.0%	280	22.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	一般国道463号線	3【東新井町交差点～東京狭山線交差点】	199	136	68.3%	34	17.1%	0	0.0%	29	14.6%	
	県道狭山ヶ丘停車場線	9【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】	476	469	98.5%	7	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	
	主要地方道さいたま・ふじみ野・所沢線	11【中富交差点～東新井町交差点】	545	458	84.0%	67	12.3%	0	0.0%	20	3.7%	

■評価対象路線における騒音レベル等の基礎データ

測定路線名	測定区間名 No.	調査地点	調査年度	車線数	昼夜区分	等価騒音レベル(LAeq)		環境基準 (dB(A))	交通量 (台)	大型混入率 (%)	平均車速 (km/h)
						背後地					
						(dB(A))	(dB(A))				
一般国道463号線	1【宮本町交差点～入間市藤沢境】	上新井	平成19年度	2	昼間	72	56	70	17,376	13.8	42
					夜間	71	52	65	5,312	10.8	54
	2【宮本町交差点～東新井町交差点】	有楽町	平成22年度	2	昼間	67	55	70	18,624	10.3	46
					夜間	67	51	65	3,984	19.3	56
	3【東新井町交差点～東京狭山線交差点】	牛沼	平成22年度	3	昼間	72	58	70	23,424	17.2	52
					夜間	71	58	65	4,608	21.9	59
4【宮本町交差点～金山町交差点】	宮本町	平成19年度	2	昼間	64	48	70	12,384	16.3	50	
				夜間	63	44	65	4,480	20.7	42	
5【金山町交差点～大六天交差点】	上新井	平成19年度	2	昼間	70	50	70	17,712	18.2	40	
				夜間	68	47	65	5,952	13.4	43	
6【入間市境(林3丁目)～大六天交差点】(バイパス)	和ヶ原	平成19年度	4	昼間	68	52	70	40,272	13.6	42	
				夜間	66	49	65	7,136	18.8	44	
県道所沢・青梅線	7【坂之下交差点～愛宕山交差点】	下安松	平成21年度	2	昼間	68	52	70	13,728	5.9	35
					夜間	65	46	65	2,064	14.0	45
8【大六天交差点～三ヶ島農協前交差点】	小手指南	平成18年度	2	昼間	71	46	70	12,768	15.0	46	
				夜間	70	39	65	1,560	20.0	54	
県道狭山ヶ丘停車場線	9【狭山ヶ丘駅前～西狭山ヶ丘1丁目交差点】	西狭山ヶ丘	平成22年度	2	昼間	63	50	70	8,448	6.8	41
					夜間	58	47	65	1,392	6.9	46
県道所沢・堀兼・狭山線	10【エスティナー】	中富南	平成18年度	4	昼間	71	50	70	23,664	22.1	49
					夜間	67	43	65	3,528	12.9	51
主要地方道さいたま・ふじみ野・所沢線	11【中富交差点～東新井町交差点】	中富	平成22年度	2	昼間	72	48	70	10,176	12.3	45
					夜間	70	43	65	1,824	31.6	51
主要地方道所沢・武蔵村山・立川線	12【岩崎交差点～東大和市境】	山口	平成21年度	2	昼間	66	50	70	11,856	2.8	35
					夜間	62	43	65	2,304	6.3	44
主要地方道所沢・狭山線	13【西富小学校～緑町4丁目交差点】	緑町	平成20年度	2	昼間	68	51	70	18,240	6.3	36
					夜間	65	50	65	2,544	9.4	39
主要地方道川越・所沢線	14【下富交差点～緑町4丁目交差点】	花園	平成20年度	2	昼間	66	57	70	11,520	11.7	46
					夜間	64	55	65	1,920	27.5	49
15【元町交差点～緑町4丁目交差点】	けやき台	平成20年度	2	昼間	63	47	70	13,824	5.6	40	
				夜間	60	40	65	2,688	12.5	45	
主要地方道練馬・所沢線	16【ファルマン通り交差点～所沢陸橋北交差点】	旭町	平成18年度	2	昼間	69	46	70	14,448	11.0	42
					夜間	66	40	65	2,808	9.4	52
17【所沢陸橋北交差点～愛宕山交差点】	下安松	平成18年度	2	昼間	65	44	70	15,984	12.6	32	
				夜間	63	43	65	3,936	15.9	47	
18【愛宕山交差点～清瀬市境】	下安松	平成21年度	2	昼間	72	50	70	16,320	6.2	44	
				夜間	69	43	65	1,824	11.8	47	
主要地方道東京・所沢線	19【大六天交差点～東村山市境】	南住吉	平成21年度	2	昼間	69	55	70	14,304	7.4	34
					夜間	68	48	65	3,360	7.9	42
市道3-851号線	20【航空公園通り西新井～弥生町】	弥生町	平成20年度	4	昼間	65	53	70	13,824	4.2	41
					夜間	59	50	65	1,152	4.2	42
市道2-194号線	21【並木通り航空公園駅前～航空管制部前】	並木	平成20年度	4	昼間	62	51	70	12,768	12.8	40
					夜間	55	47	65	1,680	11.4	44

(注)昼間 6:00～22:00 夜間:22:00～6:00

(4) 航空機騒音

■航空機騒音の測定結果(航空自衛隊入間基地周辺)

情報提供: 埼玉県

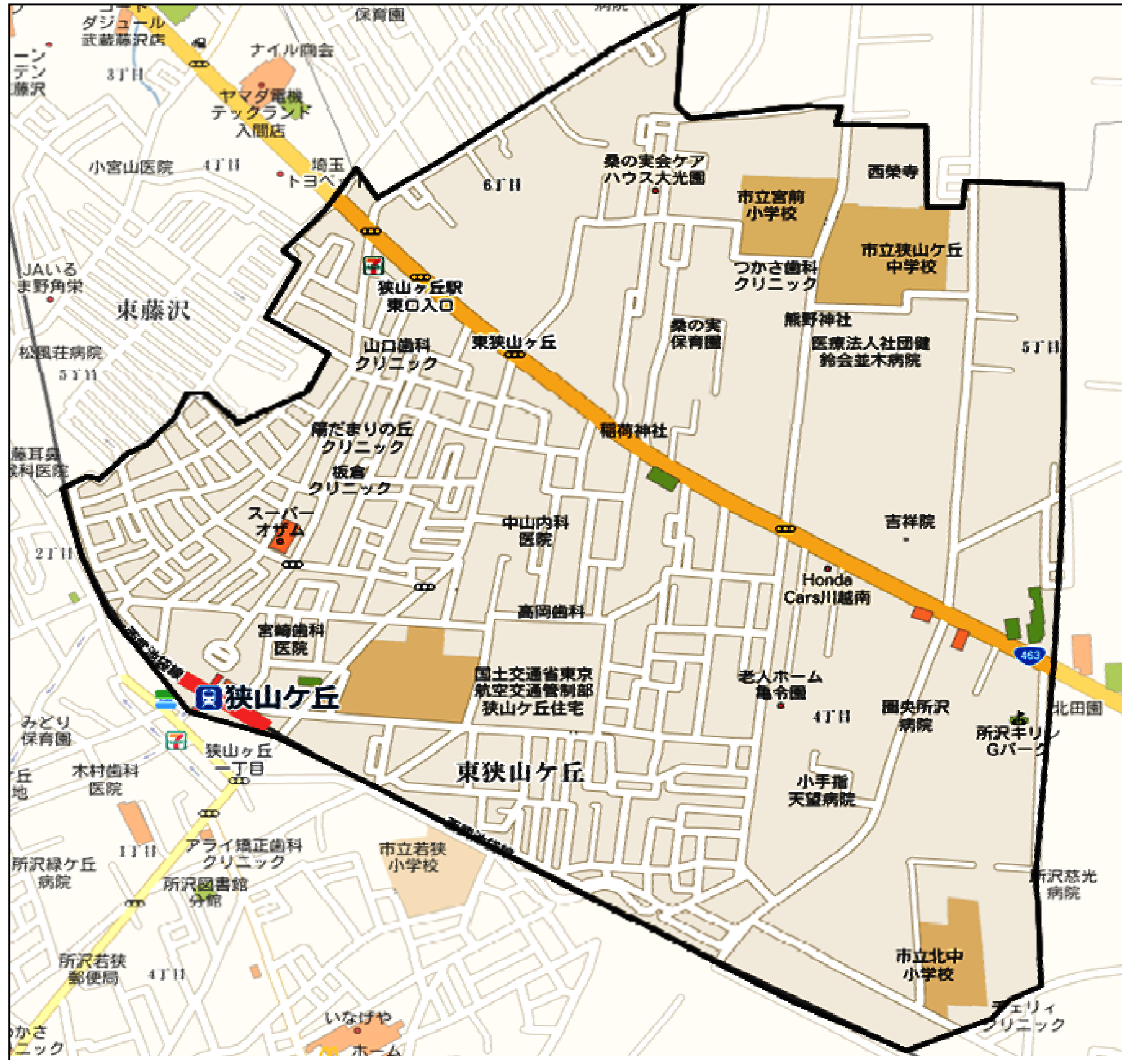
測定地点名	所在地	環境基準 (WECPNL)	うるささ指数(WECPNL)					一日あたりの平均騒音発生回数				
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
1 康寿園	所沢市東狭山ヶ丘	70(I 類型)	76	76	76	76	76	40	40	40	40	39
2 宮前小学校	所沢市東狭山ヶ丘	70(I 類型)	72	73	72	73	73	40	42	41	41	41
3 所沢西高等学校	所沢市北野新町	70(I 類型)	71	71	71	71	71	26	26	26	25	22
4 小手指小学校	所沢市小手指元町	70(I 類型)	67	70	66	67	67	18	22	20	18	18
5 狭山緑陽高等学校	狭山市広瀬東	70(I 類型)	73	72	72	72	72	42	44	41	44	45
6 綜研化学㈱駐車場	狭山市柏原	75(II 類型)	80	79	79	79	79	47	49	49	49	48
7 柏原幼稚園	狭山市柏原	70(I 類型)	77	76	76	76	76	41	44	43	44	43
8 老人福祉センター宝荘	狭山市柏原	70(I 類型)	69	69	69	68	68	34	28	30	30	29

※狭山高等学校はH20年4月より「狭山緑陽高等学校」になりました。

■航空機騒音測定地点図



■「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく第1種区域図

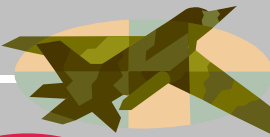

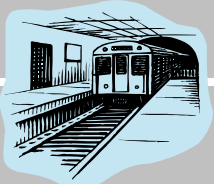










◆第1種区域(75W線引き区域)
 自衛隊の航空機の離陸、着陸等頻繁な実施により生ずる音響に起因する障害が著しいと認められる防衛省が指定する防衛施設周辺の区域

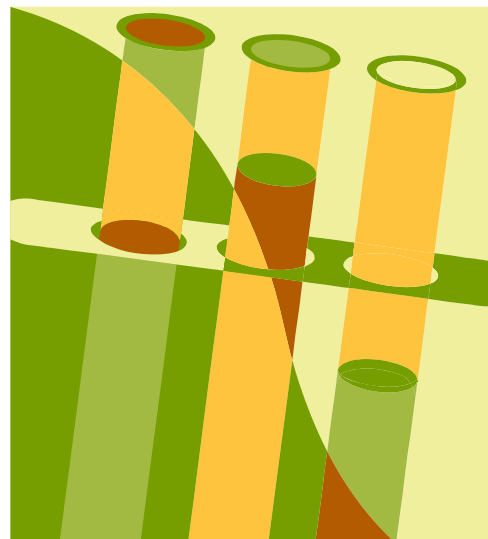
- 《対象地域》
- 東狭山ヶ丘1～3丁目、4・5丁目の一部、6丁目
 - 狭山ヶ丘1・2丁目の一部
 - 北中1・2丁目の一部
 - 小手指町2丁目の一部

(5) 騒音の大きさの例

[単位 dB(デシベル)]

120	飛行機のエンジンの近く	
110	自動車の警笛(前方2m) リベット打ち	
100	電車が通るときのガード下	
90	大声による独唱 騒々しい工場の中	
80	地下鉄の車内 ピアノの演奏(前方1m)	
70	電話のベル 騒々しい事務所の中 騒々しい街頭	
60	静かな乗用車 普通の会話	
50	静かな事務所	
40	市内の深夜 図書館 静かな住宅地の昼	
30	郊外の深夜 ささやき声	
20	木の葉のふれあう音 置き時計の秒針の音(前方1m)	

4 化学物質



(1) ダイオキシン類に係る環境基準

項目	基準値
大気	0.6pg-TEQ/m ³ 以下
水質 (水底の底質を除く)	1pg-TEQ/l 以下
水底の底質	150pg-TEQ/g 以下
土壌	1,000pg-TEQ/g 以下 土壌にあっては、*調査指標値 250pg-TEQ/g が定められている。 *調査指標値：環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が 250pg-TEQ/g 以上の場合には、必要な調査を実施することとされている。

1. 基準値は 2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。
2. 大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

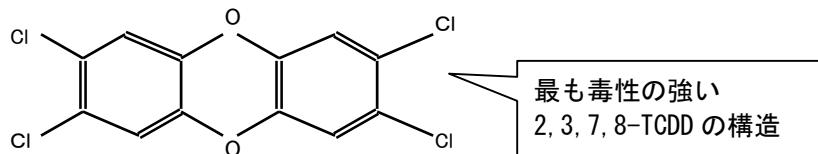
○ダイオキシン類

単位の説明

pg (ピコグラム) …… 1 兆分の 1 グラム

ng (ナノグラム) …… 10 億分の 1 グラム

TEQ (毒性等量) …… ダイオキシン類は毒性がそれぞれ異なるため、最も毒性の強い 2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (2, 3, 7, 8-TCDD) の毒性に換算して得られる量を言う。



(2, 3, 7, 8-TCDD) の毒性を 1 として他の種類の毒性を換算した係数 (TEF) を用いる。

■ ダイオキシン類濃度 × TEF = 毒性等量 (TEQ)

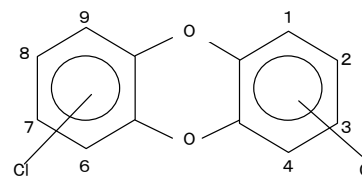
ダイオキシン類とは下図のとおり、

- ① ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)
- ② ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)
- ③ コプラナー-PCB (Co-PCB)

の 3 種類 (ダイオキシン類対策特別措置法) となっており、現在、確認されている異性体数及び毒性等価係数が定められている異性体数の種類は下記のとおり。

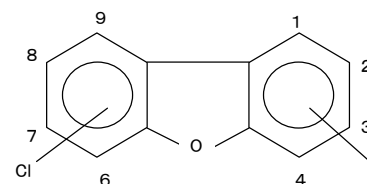
① PCDD

異性体数：75 種類
うち毒性あり：7 種類



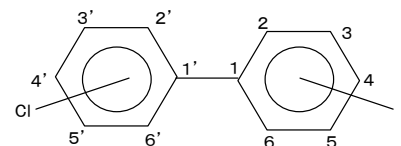
② PCDF

異性体数：135 種類
うち毒性あり：10 種類



③ Co-PCB

毒性あり：12 種類



■ダイオキシン類測定項目(H22年度)

測定項目	測定場所	教育センター	東所沢測定局	三ヶ島公民館	金井沢橋	清柳橋	中富	小手指南	西新井	城
------	------	--------	--------	--------	------	-----	----	------	-----	---

○大気試料

大気(PCDD+PCDF、CO-PCB)	○	○	○							
----------------------	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

○水質試料

河川水(PCDD+PCDF、CO-PCB)				○	○					
河川底質(PCDD+PCDF、CO-PCB)				○	○					
地下水(PCDD+PCDF、CO-PCB)						△	△	△	△	

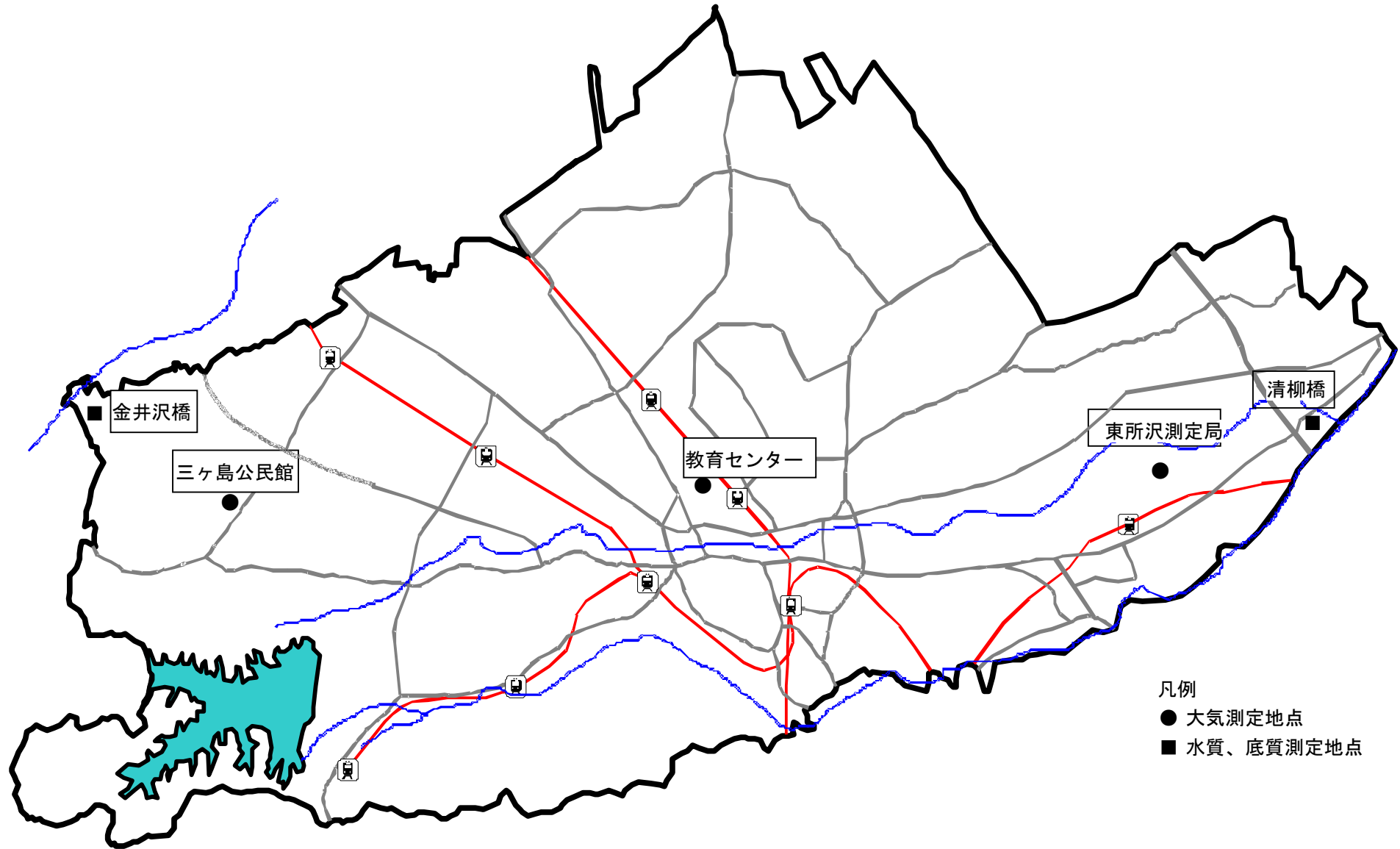
測定項目	測定場所	老人憩の庄やなせ	長栄寺南園	中央中学校	北秋津小学校	富岡公民館	花園緑地	上公園	大谷公園	三ヶ島中学校	林神社
------	------	----------	-------	-------	--------	-------	------	-----	------	--------	-----

○土壌試料

土壌(PCDD+PCDF、CO-PCB)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* △:土壌、地下水については、5年ごとに実施しているため平成22年度は実施していません。なお、前回は2007年(平成20年度)に実施しています。

■ダイオキシン類測定地点(H22年度)



- 凡例
- 大気測定地点
 - 水質、底質測定地点

(2) ダイオキシン類環境調査結果

1. 調査地点及び採取日

■大気試料 (別添調査地点図参照)

調査地点	春季採取日	夏季採取日	秋季採取日	冬季採取日
A-1 東所沢測定局	平成 22 年	平成 22 年	平成 22 年	平成 23 年
A-2 けやき台測定局	5月19日～	7月22日～	10月20日	1月13日～
A-3 三ヶ島公民館	26日	29日	～27日	20日

※H22年度は、H21年度の調査地点である、けやき台測定局、三富測定局は廃止し、所沢市立教育センターを調査地点に追加。

■水質及び底質試料 (別添調査地点図参照)

調査地点	採取日	
	河川水	河川底質
R-1、T-1 金井沢橋 (不老川)	平成 23 年 1 月 28 日	平成 23 年 1 月 28 日
R-2、T-2 清柳橋 (柳瀬川)	平成 22 年 11 月 8 日	平成 22 年 11 月 8 日

2. 調査方法

試料種類	調査方法
大気	「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(平成20年3月環境省水・大気環境局 総務課ダイオキシン対策室・大気環境課)」に準拠
河川水	JIS K 0312 (2008) 「工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法」に準拠
河川底質	「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル(平成21年3月環境省水・大気環境局水環境課)」に準拠

3. 調査機関

調査受託者：帝人 エコ・サイエンス株式会社

4. 調査結果

1) 大気試料

全ての調査地点において、大気に係る環境基準(0.6pg-TEQ/m³以下(年平均値))を満足していました。

調査地点	毒性等量※(pg-TEQ/m ³)				
	春季	夏季	秋季	冬季	年平均値
A-1 東所沢測定局	0.039	0.048	0.086	0.10	0.068
A-2 所沢市立教育センター	0.021	0.026	0.045	0.055	0.037
A-3 三ヶ島公民館	0.018	0.026	0.042	0.046	0.033
平均値	0.026	0.033	0.058	0.067	0.046

※毒性等量の算出の際、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満は検出下限の1/2の値を用いて算出。

2) 水質及び底質試料

水質、底質に係る環境基準(1pg-TEQ/l以下、150pg-TEQ/g以下)を満足していました。

調査地点	水質における毒性等量※(pg-TEQ/l)	底質における毒性等量※(pg-TEQ/g)
R-1、T-1 金井沢橋 (不老川)	0.067	2.8
R-2、T-2 清柳橋 (柳瀬川)	0.060	0.60
平均値	0.064	1.7

※毒性等量の算出の際、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままその値を用い、検出下限未満は検出下限の1/2の値を用いて算出。

5. ダイオキシン類摂取量(暴露評価)の推定

本調査結果に基づくダイオキシン類摂取量(暴露評価)の推定結果は、0.85～0.89 pg-TEQ/kg/日の範囲にあり、耐容一日摂取量(4pg-TEQ/kg/日)を下回っていました。

	摂取量(pg-TEQ/kg/日)			
	大気※1	土壌※2	食物※3	合計
最大値	0.020	0.026	0.84	0.89
最小値	0.010	0.0037		0.85
平均値	0.014	0.013		0.87

※1「ダイオキシンリスク評価検討会報告書(平成9年5月)」と同手法により算出。

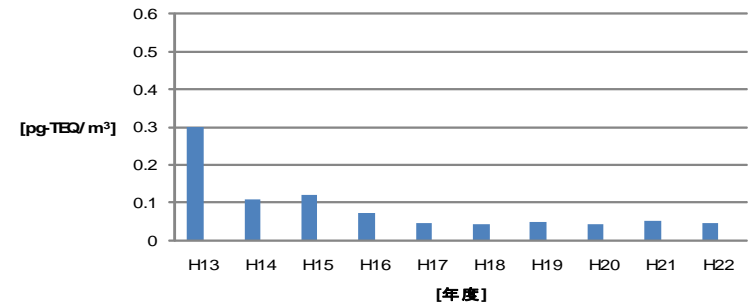
※2「土壌中のダイオキシン類に関する検討会第一次報告(平成11年7月)」と同手法により算出。

※3平成21年度厚生労働省調査(食品からのダイオキシン類一日摂取量調査)結果における平均値を使用。

6. 大気中のダイオキシン類濃度の経年変化

調査開始年度の平成9年度(0.78pg-TEQ/m³)以来、大気中ダイオキシン類濃度は低下傾向にあります。過去10年の経年変化は次図表に示したとおりです。

■大気中のダイオキシン類濃度の経年変化



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
年平均値 (pg-TEQ/m ³)	0.30	0.11	0.12	0.074	0.046	0.043	0.048	0.044	0.053	0.046

※毒性等量の算出の際、定量下限未満検出下限以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満は検出下限の1/2の値を用いて算出。

7. 焼却施設の設置状況の変化

平成 8 年度末からの焼却施設数の減少率は、全体で 96%であり、これらは主に市内公共施設での焼却施設の使用自粛、廃棄物焼却施設撤去推進事業の実施、関係法令の整備（ダイオキシン類対策特別措置法・所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例）に伴う指導により使用廃止されたものです。

■焼却施設の設置状況

施設の規模	平成 8 年度末	平成 22 年度末	減少率 (%)
施設 A (200kg/時～)	25	8	68
施設 B (100kg/時～200kg/時)	61	3	95
施設 C (30kg/時～100kg/時)	409	9	98
合計	495	20	96

※平成 8 年度末の施設 B、C の施設数は、平成 11 年度の設置調査から推定したもの。

※所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例の一部改正（平成 14 年 12 月施行）に伴い、平成 22 年度末までに焼却能力 30kg/h 未満の焼却施設が 35 施設届出されています。

8. 今後の対応

- 1) ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定に基づき、引き続き、ダイオキシン類の常時監視を実施します。
- 2) 所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例等の関係法令に基づき、焼却施設等の発生源に対する監視指導を引き続き重点的に実施します。

参考資料

<大気試料採取時における気象状況>

調査日	調査地点	平均気温 (°C)	平均湿度 (%)	平均風速 (m/sec)	主風向
平成 22 年 5 月 19 日～26 日	東所沢測定局	20.4	74	1.9	南
平成 22 年 7 月 22 日～29 日	東所沢測定局	29.8	64	2.2	南
平成 22 年 10 月 20 日～27 日	東所沢測定局	15.8	74	1.5	北
平成 23 年 1 月 13 日～20 日	東所沢測定局	2.6	51	1.5	北北西

<用語解説>

○ダイオキシン類

従来、ダイオキシン類とはポリ塩化ジベンゾパラジオキシン (PCDD) 及びポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) の総称として用いられていたが、現在では、これらの物質と類似した毒性作用を示すコプラナーPCB (Co-PCB) も含めてダイオキシン類とされています。現在、毒性が確認され毒性等価係数が定められている異性体数は、PCDD で 7 種類、PCDF で 10 種類、Co-PCB で 12 種類です。

○耐容一日摂取量 (TDI)

人が生涯にわたって継続的に摂取したとしても健康に影響を及ぼすおそれがない 1 日当たりの摂取量。ダイオキシン類においては 4pg-TEQ/kg/日と定められています。なお、一時的にこの値を超過する量を摂取したとしても、長期間での平均摂取量が TDI 以内ならば、健康を損なうものではありません。

○ダイオキシン類に関する環境基準

ダイオキシン類対策特別措置法に基づきダイオキシン類に関する環境基準（人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準）が、次のとおり定められています。

媒体	基準値	備考
大気	年平均値 0.6pg-TEQ/m ³ 以下	土壌にあつては、調査指標値 250pg-TEQ/g が定められています。 (調査指標値：周辺土壌や発生源、他の媒体の状況等の追跡調査及び継続的モニタリングを実施する指標)
水質	年平均値 1pg-TEQ/l 以下	
底質	年平均値 150pg-TEQ/g 以下	
土壌	1,000pg-TEQ/g 以下	

○その他の用語

pg (ピコグラム)	1 兆分の 1 グラム
ng (ナノグラム)	10 億分の 1 グラム
TEQ (毒性等量)	ダイオキシン類は毒性がそれぞれ異なるため、最も毒性の強い 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾパラジオキシン (2,3,7,8-TCDD) の毒性に換算して得られる量をいう。

(3) 化学物質の排出量・移動量の集計結果

—平成21年度PRTR所沢市データの概要—

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（所謂「PRTR法」）に基づき、人の健康や動植物に有害性のある354種類の化学物質について、所沢市内における環境への排出量及び廃棄物等に含まれている移動量を集計したので、以下のとおりお知らせします。

なお、本発表は、平成21年度に事業者が把握した排出量・移動量について、平成22年4月1日から6月30日までの間に行われた届出データをもとに集計しています。

《集計結果の概要》

排出量・移動量の届出は、市内46事業所（全11業種）から合計47物質について提出がありました。届出が多かった地区は小手指地区及び三ヶ島地区（8件）であり、業種では燃料小売業（29件）が最も多くなっています。

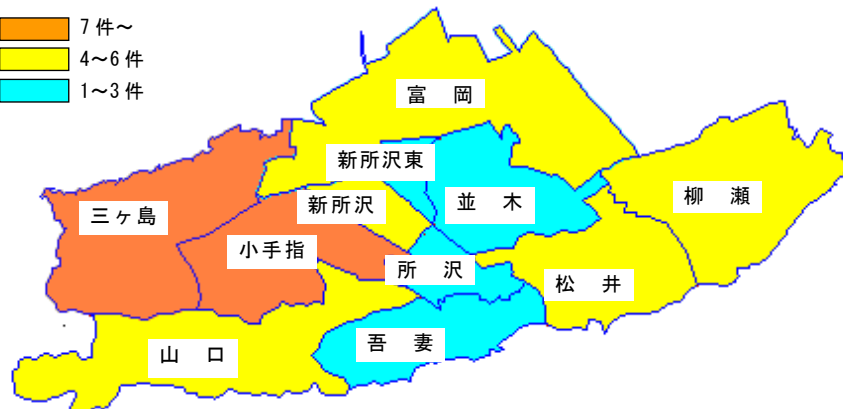
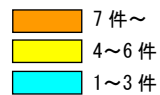
市内の届出総排出量は37.9トン、総移動量は34.0トンで合計71.8トンとなっており、環境への排出形態については、大気への排出が最も多く34.6トン（総排出量・移動量比で48.2%）を占めています。

届出排出量が多かった化学物質（上位3物質）は、トリクロロエチレン（14.4トン）、トルエン（9.1トン）、1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン（別名HCFC-141b）（7.2トン）であり、届出排出量が多かった業種（上位3業種）は、電気機械器具製造業（15.8トン）、金属製品製造業（7.3トン）、その他の製造業（7.2トン）の順となっています。

1. 排出量・移動量の届出状況

平成22年度（届出期間：平成22年4月1日から6月30日まで）には、平成21年度に事業者が把握した排出量・移動量について、市内で46事業所から届出がありました。業種及び地区別の届出状況は表1のとおりです。

■地区別の届出状況



2. 集計結果の概要

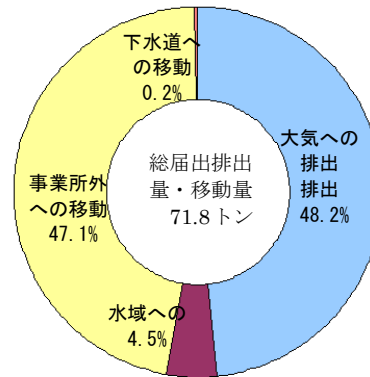
(1) 届出排出量・移動量

事業者から届出のあった排出量・移動量の全体の内訳は、総排出量・移動量71.8トン^リに対して総排出量37.9トン、総移動量34.0トンとなっています。排出量及び移動量の内訳（地区別排出量・移動量内訳を含む。）は、表2のとおりです。

また、埼玉県生活環境保全条例に基づき届出された化学物質（499物質）の同期間の取扱量は、15,232トンとなっています。取扱量の内訳（地区別取扱量及び取扱量上位3物質を含む。）は、表3のとおりです。

1) 数値の丸めの関係で、総排出量及び総移動量の合計が総排出量・移動量の値とは合致していません。（小数点第2位までの値は、総排出量37.87トン、総移動量33.96トン。）

■ 排出量・移動量の構成



総排出量：37.9トン

大気への排出：34.6トン（総排出・移動量比：48.2%）

公共用水域への排出：3.2トン（同：4.5%）

土壌への排出：0トン（同：0.0%）

事業所内での埋立処分：0トン（同：0.0%）



■地区別届出排出量・移動量

単位：トン/年



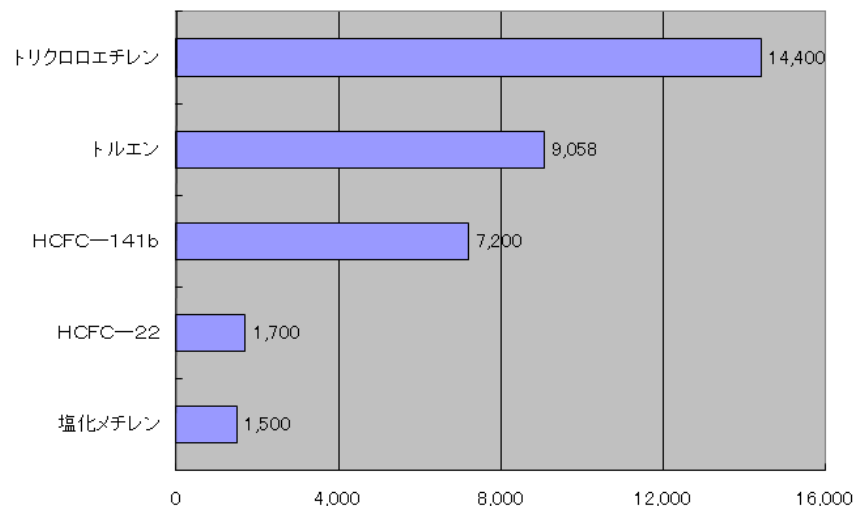
(2) 届出排出量の多い物質

届出排出量の多い上位 5 物質の合計は 33.9 トンで、届出排出量の合計 37.9 トンの 89.4%に当たります。

届出排出量上位 5 物質（地区別排出量上位 5 物質を含む。）については、表 4 のとおりです。

■届出排出量上位 5 物質

(単位 : kg/年)



(3) 業種別の届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の多い上位 5 業種の合計は 65.0 トンで、届出排出量・移動量の合計 71.8 トンの 90.5%に当たります。

排出量・移動量上位 5 業種については、表 5 のとおりです。また、業種別の届出排出量・移動量とその内訳及び排出量・移動量上位 3 業種における上位 3 物質とその量については、表 6 及び表 7 のとおりです。

詳細については、市ホームページ (<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>) をご覧ください。

参 考 化学物質情報を掲載しているホームページ

- ①経済産業省 製造産業局化学物質管理課
http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/index.html
- ②環境省 環境保健部環境安全課 PRTR インフォメーション広場
<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>
- ③独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
<http://www.nite.go.jp/>
- ④埼玉県 環境部大気環境課
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/f03/>

■業種別・地区別の届出状況（表1）

（単位：事業所）

業種名	全国 届出数	市内 届出数	地区別届出数											
			所沢	新所沢	新所沢 東	並木	小手指	吾妻	松井	柳瀬	三ヶ島	山口	富岡	
金属鉱業	117													
原油・天然ガス鉱業	65													
製造業	41,776	11	0	1	0	0	2	0	1	3	2	1	1	
・ 食料品製造業	336													
・ 飲料・たばこ・飼料製造業	202													
・ 繊維工業	441													
・ 衣服・その他の繊維製品製造業	67													
・ 木材・木製品製造業	262													
・ 家具・装備品製造業	178													
・ パルプ・紙・紙加工品製造業	681													
・ 出版・印刷・同関連産業	650													
・ 化学工業	15,476	3					1		1	1				
・ 石油製品・石炭製品製造業	726													
・ プラスチック製品製造業	2,481	2								1	1			
・ ゴム製品製造業	1172													
・ なめし革・同製品・毛皮製造業	67													
・ 窯業・土石製品製造業	1335													
・ 鉄鋼業	1542													
・ 非鉄金属製造業	1900													
・ 金属製品製造業	4,466	1					1							
・ 一般機械器具製造業	1803													
・ 電気機械器具製造業	3,398	2		1								1		
・ 輸送用機械器具製造業	3,934	1									1			
・ 精密機械器具製造業	389													
・ 武器製造業	28													
・ その他の製造業	242	2								1			1	
電気業	322													
ガス業	65													
熱供給業	28													
下水道業	56,717	1							1					
鉄道業	106													
倉庫業	445													
石油卸売業	1208	1										1		
鉄スクラップ卸売業	40													

自動車卸売業	116													
燃料小売業	77,417	29	2	4	2		5	1	4	2	5	2	2	
洗濯業	144													
写真業	2													
自動車整備業	2,093	1												1
機械修理業	91													
商品検査業	43													
計量証明業	77													
一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る）	29,570	3					1			1	1			
産業廃棄物処分量（特別管理産業廃棄物処分量を含む。）	4897													
高等教育機関	198													
自然科学研究所	397													
全業種合計	215,934	46	2	5	2	0	8	1	6	6	8	4	4	
割合		100%	4.35%	10.87%	4.35%	0.00%	17.39%	2.17%	13.04%	13.04%	17.39%	8.70%	8.70%	

■地区別の届出排出量・移動量（表2）

	届出数	排出量※1 (kg/年)					移動量※2 (kg/年)			排出・移動量 合計 (kg/年)	割合
		大気	水域	土壌	埋立	合計 ※3	廃棄物	下水道	合計 ※3		
全 国	38,141	155,906,557	8,614,761	462,926	11,125,645	176,109,889	174,823,640	1,420,832	176,244,472	352,354,360	100%
埼 玉 県	1,627	8,462,728	268,112	0	11	8,730,851	7,982,566	83,520	8,066,086	16,796,936	4.77%
所 沢 市	46	34,642	3,227	0	0	37,870	33,834	134	33,968	71,838	0.02%
地 区 別											
排 出											
・											
移 動											
量											
所 沢	2	191	0	0	0	191	0	0	0	191	0.27%
新 所 沢	5	15,977	0	0	0	15,977	4,700	0	4,700	20,677	28.78%
新 所 沢 東	2	165	0	0	0	165	0	0	0	165	0.23%
並 木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
小 手 指	8	7,834	3	0	0	7,837	0	94	94	7,931	11.04%
吾 妻	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
松 井	6	423	3,064	0	0	3,487	164	40	204	3,691	5.14%
柳 瀬	6	7,356	0	0	0	7,356	2,330	0	2,330	9,686	13.48%
三ヶ島	8	2,208	0	0	0	2,208	2,430	0	2,430	4,638	6.46%
山 口	4	248	160	0	0	408	22,710	0	22,710	23,118	32.18%
富 岡	4	240	0	0	0	240	1,500	0	1,500	1,740	2.42%
割 合		48.22%	4.49%	0.00%	0.00%	52.72%	47.10%	0.19%	47.28%	100.00%	

※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

※2 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動 下水道：下水道への移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所から届け出られた当該データ（ダイオキシン類を除き小数点第1位まで）の合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

■地区別の届出取扱量（表3）

	届出数	取扱量 (kg/年)				割合	取扱量上位3物質	
		第一種	第二種	その他	合計			
埼玉県	1,868	548,531,154	2,972,420	125,783,140	677,286,714	100.00%		
所沢市	63	14,690,420	770	541,110	15,232,300	2.25%		
地区別 取扱量	所沢	4	1,087,950	0	1,087,950	7.14%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン	
	新所沢	7	2,080,170	0	2,081,370	13.66%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン	
	新所沢東	2	917,600	0	917,600	6.02%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン	
	並木	0	0	0	0	0.00%		
	小手指	13	3,249,820	0	3,249,820	21.34%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン	
	吾妻	1	11,000	0	11,000	0.07%	キシレン	
	松井	8	2,350,530	770	37,600	2,388,900	15.68%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン
	柳瀬	7	947,600	0	71,000	1,018,600	6.69%	トルエン、キシレン、フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）
	三ヶ島	9	1,722,900	0	9,900	1,732,800	11.38%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン
	山口	4	1,001,790	0	387,000	1,388,790	9.12%	トルエン、キシレン、硫酸
富岡	8	1,321,060	0	34,410	1,355,470	8.90%	トルエン、キシレン、エチルベンゼン	
割合		96.44%	0.01%	3.55%	100.00%			

※ 「第一種」「第二種」とは、それぞれ、特定化学物質の環境への排出量の把握等および環境の改善の促進に関する法律で定める「第一種指定化学物質」（354物質）、「第二種指定化学物質」（81物質）のことです。「その他」とは、埼玉県生活環境保全条例に基づき、人や生態系に影響を及ぼすおそれのある化学物質として埼玉県が独自に定めた物質（64物質）のことです。

■届出排出量上位5物質とその量（表4）

	排出量上位5物質 (kg/年)										
	1位物質		2位物質		3位物質		4位物質		5位物質		
全 国	トルエン	71,145,694	キシレン	32,506,875	エチルベンゼン	13,648,887	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	13,473,859	マンガン及びその化合物	6,247,566	
埼玉県	トルエン	6,013,286	キシレン	891,905	塩化メチレン	581,389	エチルベンゼン	336,610	トリクロロエチレン	198,562	
所 沢 市	トリクロロエチレン	14,400	トルエン	9,058	HCFC-141b	7,200	HCFC-22	1,700	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	1,500	
地区別 上位5 物質	所沢	トルエン	138	ベンゼン	25	キシレン	22	エチルベンゼン	6	1,3,5-トリメチルベンゼン	0
	新所沢	HCFC-141b	7,200	トリクロロエチレン	5,200	HCFC-22	1,700	ジクロロメタン (別名塩化メチレン)	1,500	トルエン	274
	新所沢東	トルエン	120	ベンゼン	22	キシレン	18	エチルベンゼン	5	1,3,5-トリメチルベンゼン	0
	並木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小手指	トリクロロエチレン	7,300	トルエン	392	ベンゼン	71	キシレン	56	エチルベンゼン	14
	吾妻	キシレン	0	—	—	—	—	—	—	—	—

松井	ほう素及びその化合物	1,100	ふっ化水素及びその水溶性塩	970	亜鉛の水溶性化合物	590	トルエン	310	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	200
柳瀬	トルエン	7,314	ベンゼン	20	キシレン	17	エチルベンゼン	4	1,3,5-トリメチルベンゼン	0
三ヶ島	トリクロロエチレン	1,900	トルエン	222	ベンゼン	41	キシレン	35	エチルベンゼン	9
山口	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	160	トルエン	115	ホルムアルデヒド	87	ベンゼン	22	キシレン	20
富岡	トルエン	173	ベンゼン	32	キシレン	28	エチルベンゼン	6.9	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.2

※トルエン・キシレンは合成原料や溶剤などに、HCF C-141b・塩化メチレン・トリクロロエチレンは金属洗浄などにHCF C-22は空調用冷媒などの用途に用いられています。また、トルエン・キシレンについてはガソリン中にも含有されています。

■届出排出量・移動量上位5業種とその量(表5)

	排出・移動量上位5業種(kg/年)									
	1位業種		2位業種		3位業種		4位業種		5位業種	
全 国	化学工業	83,591,408	プラスチック製品製造業	36,279,242	鉄鋼業	27,387,409	輸送用機械器具製造業	25,757,897	金属製品製造業	22,888,198
所 沢 市	電気機械器具製造業	43,257	金属製品製造業	7,300	その他の製造業	7,200	輸送用機械器具製造業	4,200	下水道業	3,064

	排出量上位5業種(kg/年)									
	1位業種		2位業種		3位業種		4位業種		5位業種	
全 国	プラスチック製品製造業	23,723,429	輸送用機械器具製造業	21,144,517	船舶製造・修理業、船用機関製造業	16,844,536	化学工業	15,995,105	金属製品製造業	14,132,223
所 沢 市	電気機械器具製造業	15,847	金属製品製造業	7,300	その他の製造業	7,200	下水道業	3,064	燃料小売業	2,554

	移動量上位5業種(kg/年)									
	1位業種		2位業種		3位業種		4位業種		5位業種	
全 国	化学工業	67,596,303	鉄鋼業	23,722,597	プラスチック製品製造業	12,555,813	電気機械器具製造業	12,288,738	医薬品製造業	11,469,973
所 沢 市	電気機械器具製造業	27,410	プラスチック製品製造業	2,460	輸送用機械器具製造業	2,300	自動車整備業	1,500	化学工業	298

■業種別の届出排出量・移動量とその内訳(表6)

業種 業種名	排出量(kg/年)					移動量(kg/年)			排出量・移動量 合計(kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	

化学工業	1	0	0	0	1	164	134	298	299
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	2460	0	2460	2460
金属製品製造業	7,300	0	0	0	7,300	0	0	0	7,300
電気機械器具製造業	15,687	160	0	0	15,847	27,410	0	27,410	43,257
輸送用機械器具製造業	1,900	0	0	0	1,900	2,300	0	2,300	4,200
その他の製造業	7,200	0	0	0	7,200	0	0	0	7,200
下水道業	0	3,064	0	0	3,064	0	0	0	3,064
石油卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料小売業	2,554	0	0	0	2,554	0	0	0	2,554
自動車整備業	0	0	0	0	0	1,500	0	1,500	1,500
一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	0	3	0	0	3	0	0	0	3

■ 届出排出量・移動量上位3業種における上位3物質とその量（表7）

業種：電気機械器具製造業

物質名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
銅水溶性塩（錯塩を除く。）	0	160	0	0	160	22,000	0	22,000	22,160
H C F C—1 4 1 b	7,200	0	0	0	7,200	1,500	0	1,500	8,700
トリクロロエチレン	5,200	0	0	0	5,200	2,000	0	2,000	7,200

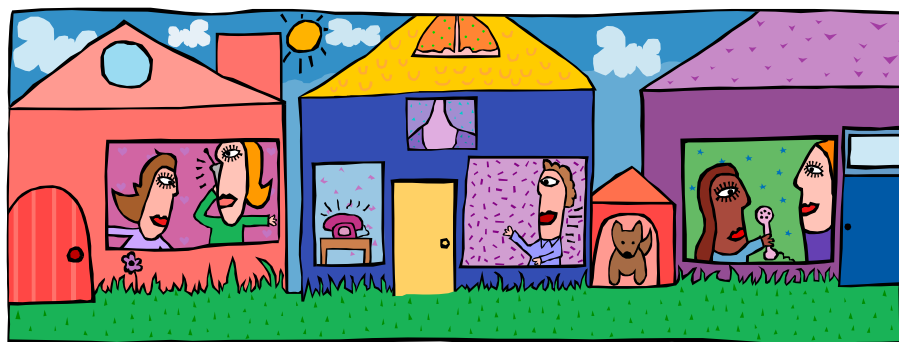
業種：金属製品製造業

物質名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
トリクロロエチレン	7,300	0	0	0	7,300	0	0	0	7,300

業種：その他の製造業

物質名	排出量 (kg/年)					移動量 (kg/年)			排出量・移動量 合計 (kg/年)
	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	
トルエン	7,200	0	0	0	7,200	0	0	0	7,200
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 公害等苦情相談



5. 平成 22 年度 公害等苦情相談について

所沢市では、公害紛争処理法第 49 条に基づき、市民の方から寄せられる騒音・振動、悪臭などの公害等に係る苦情相談事務を行っています。

平成 22 年度における公害等苦情相談の受付状況は、以下のとおり年間201件の相談が寄せられています。市では、個々の相談に対して現地調査や発生源側に対する改善指導を行うなど、相談事案の解決に向け、きめ細かい対応を実施しています。

1. 受付状況

平成22年度受付件数は201件で前年度より39件減少しています。
最も多い公害の種類は「悪臭」であり、続いて「騒音」の順となっています。

2. 主な発生源

最も多い主な発生源は、「焼却(野焼き)」であり、続いて「工事・建設作業」の順となっています。

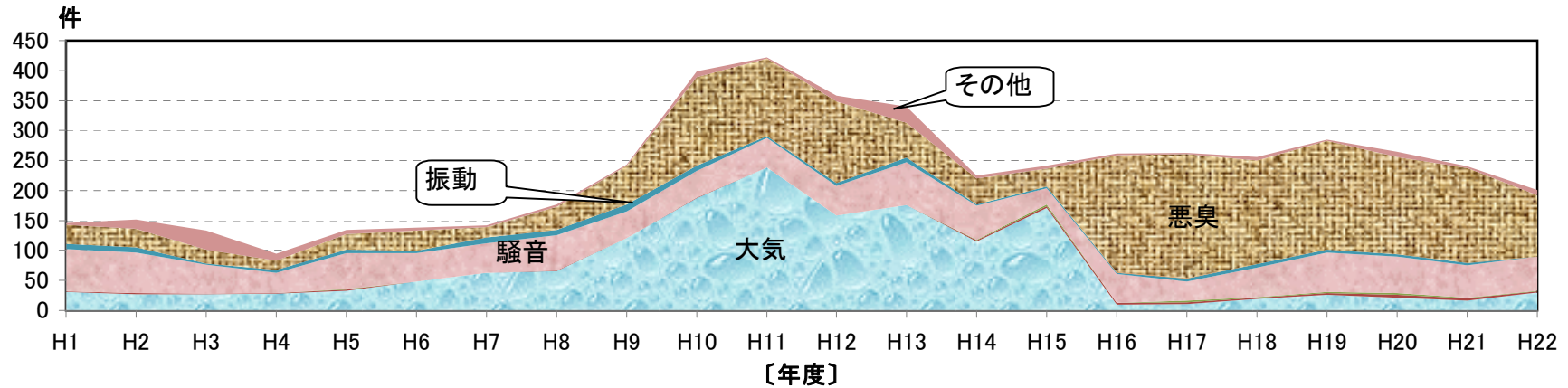
■公害等苦情相談件数の経年変化

(単位:件)

年度	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
大気汚染	31	27	27	28	33	48	63	66	121	187	239	158	176	115	171	10	11	19	26	21	16	30
水質汚濁	1	2	1	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	2	3	3	3	2	3	5	4	2
土壌汚染	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1	2	3	1	1
騒音	70	68	48	34	60	48	49	59	44	45	49	50	71	57	27	48	32	49	66	61	54	57
振動	9	8	2	5	5	3	10	8	12	8	3	4	8	2	3	2	5	6	4	4	4	0
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
悪臭	32	31	23	15	26	34	17	39	64	148	129	137	58	43	30	195	207	173	182	162	159	102
その他	3	16	32	12	7	5	3	4	2	10	2	9	27	5	4	3	2	6	2	9	2	9
合計	146	152	133	95	134	138	142	177	243	399	422	358	340	225	241	262	263	256	285	265	240	201

※16年度集計より「焼却(野焼き)」に伴う苦情相談件数を「大気汚染」から「悪臭」に区分した。

■公害等苦情相談件数の経年変化グラフ

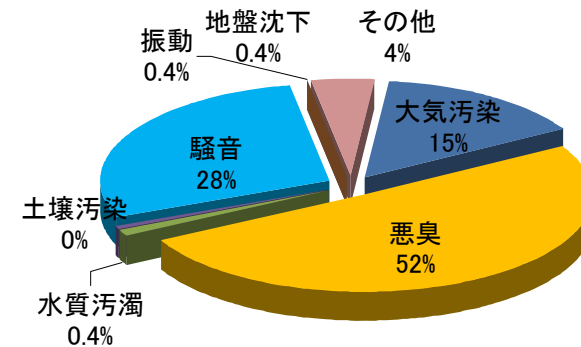


■公害等苦情相談の受付状況(H22)

(単位:件)

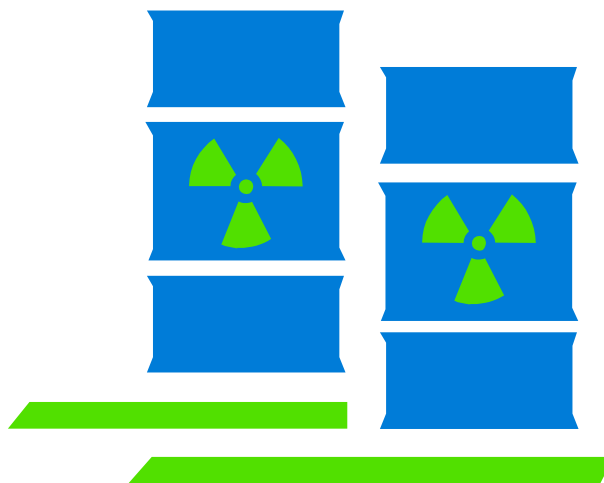
内 訳	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	合計
前年度(H21)繰越件数(A)	4	0	1	26	1	0	22	1	55
本年度(H22)受付件数(B)	30	2	1	57	0	0	102	9	201
翌年度(H23)繰越件数(C)	0	1	0	13	0	0	15	2	31
処理件数[(A)+(B)-(C)]	34	1	2	70	1	0	109	8	225

■公害等苦情相談の種類別割合(H22受付分)



6 放射線量測定

放射線に関する6章のみ、必要性等を鑑み、平成23年度結果を緊急に掲載しました。
なお、他の章は全て平成22年度結果です。



6-(1). 放射線の基礎知識

放射線とは

放射線には α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線があり、各々ものを通り抜ける力が違います。

放射線の単位については、Bq (ベクレル)は放射性物質から出される放射能の強さのことです。

グレイ (Gy)は放射線が物質に当たったとき、その物質に吸収される放射線量のこと、シーベルト (Sv)は人体が放射線を受けたとき、その影響度合いを表す目安となる放射線量のことです。人体影響を評価する際はシーベルトを用います。通常は1グレイ=1シーベルトとして換算。

自然放射線

大地の岩石や土にごく微量含まれるウラン、ラジウム、カリウム 40等の放射性物質から出る放射線、宇宙から地球に飛んでくる放射線、食物に含まれるカリウム 40などがあります。

日本では年間約 0.4 ミリシーベルト、宇宙から受ける放射線量は年間約 0.3 ミリシーベルト、摂取した食物からは年間約 0.4 ミリシーベルトです。

人工放射線

医療放射線：レントゲンやCT スキャン等による診断、がんの治療など医療現場で使われる放射線量は平均で 6.9 ミリシーベルト、核実験や原子力施設の事故により大気中に放出され、雨やちりと一緒に地表や海

に降り注いでくる放射性降下物から年間平均 0.01 ミリシーベルト、原子力発電所などの原子力施設からは年間 0.001 ミリシーベルト以下という状況であり、自然放射線量に比べはるかに低い数値となっています。

モニタリングポスト

埼玉県にはさいたま市の衛生研究所の屋上に設置されていますが、主にガンマ線を連続的に測定し、年間を通して 24 時間連続で自動測定しています。この装置は極めて低い放射線量まで精密に測定することが可能です。

世界の状況

2000 年国際放射線影響科学委員会報告によると、自然放射線量の世界平均値は年間約 2.4 ミリシーベルトです。日本は約 1.5 ミリシーベルトであり世界と比べて自然放射線量が低くなっています。

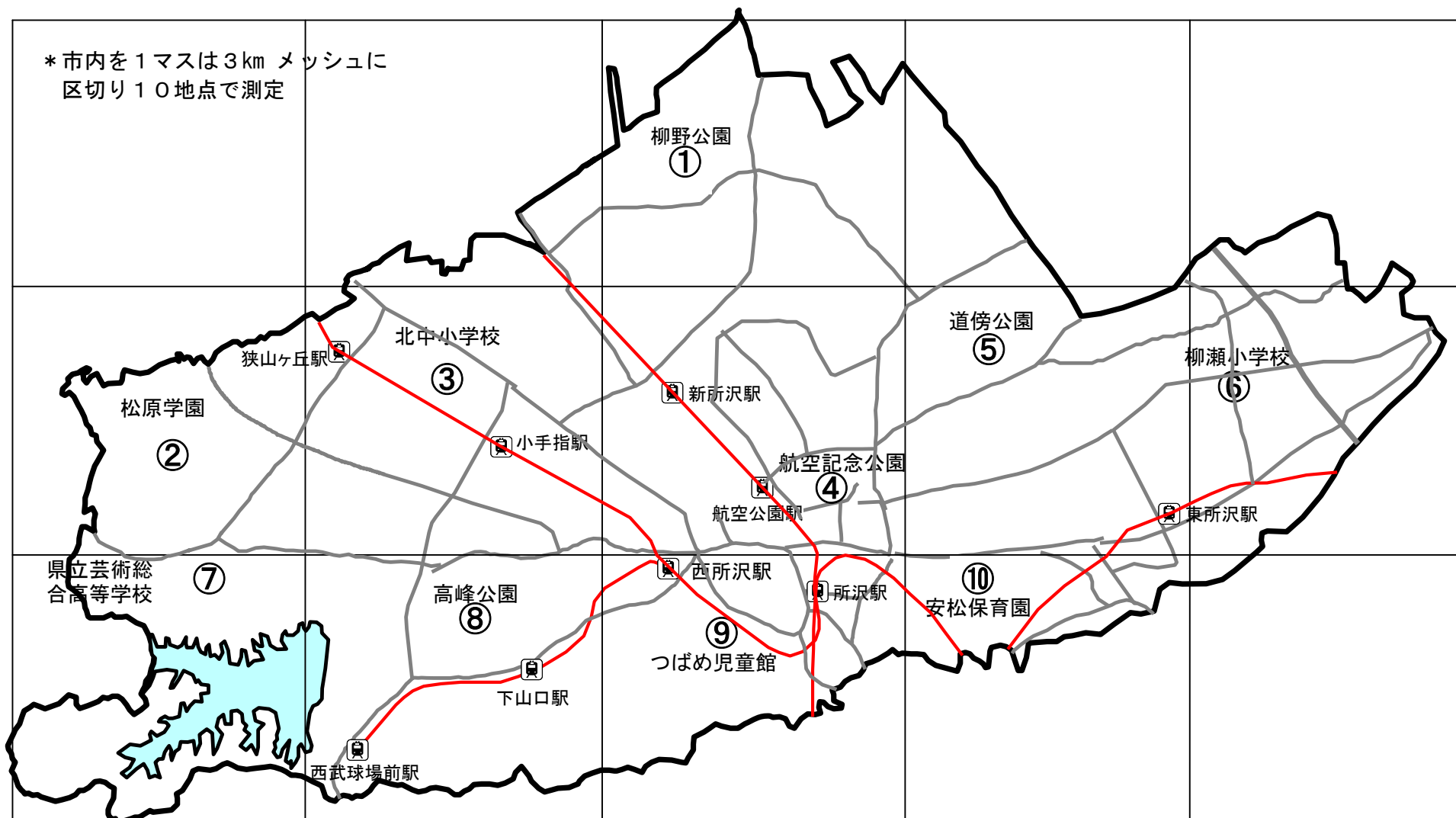


放射線量の基準等について

一般の人が受ける放射線量としては、国際放射線防護委員会 (ICRP) が 2007 年に勧告を出しており、その中で、一般の人に対する放射線量の指標を 3つの範囲で設定。

緊急時は 20~100 ミリシーベルト、緊急事故後の復旧時は年間 1~20 ミリシーベルト、平常時は年間 1 ミリシーベルト以下としています。我が国の原子力安全委員会においても、この勧告を踏まえた考え方を示しています。

原発事故に伴う空間放射線量の市独自の測定地点図



6-(2)所沢市内の空間放射線量測定結果

所沢市では福島第1原子力発電所の事故の発生に伴い、放射線に対する市民の不安を取り除くため、市域を3キロメートルメッシュに区切り、市内10箇所の公共施設等市民が利用する代表的な場所を選び、右表の測定箇所において測定を実施しています。

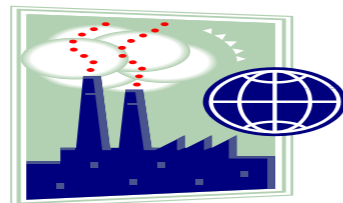
測定は、原則として2週間に1回の頻度で実施していますが、今のところ県内他自治体で公表している数値と同程度となっています。各測定において、測定値を基にして年間換算値を算出したところ、国際放射線防護委員会(ICRP)による一般の人の平常時の放射線量の限度(自然放射線等を除く)である年間1mSvを下回っていました。

■現在までの各測定箇所における空間放射線量の測定結果の概要(平成23年度)

測定日	測定値(単位 μSv/h)	年間換算値(単位mSv/年)
6月9日	0.05~0.12	0.26~0.61
7月7日	0.05~0.10	0.26~0.53
7月21日	0.05~0.09	0.26~0.47
8月4日	0.05~0.08	0.26~0.42
8月18日	0.05~0.09	0.26~0.47
9月1日	0.04~0.10	0.21~0.53
9月15日	0.04~0.09	0.21~0.47
9月29日	0.05~0.09	0.26~0.47

■測定方法等

測定機器メーカー 日立アロカメディカル株式会社
 機器名 シンチレーションサーベイメータ TCS-171
 測定実施者 株式会社日本環境調査研究所
 測定方法 測定高さ 地表から5cm、50cm、100cm
 算出方法 30秒毎に5回測定の平均値
 年間換算値〔計算方法〕
 ((測定値×8時間〔屋外にいる時間〕)+(測定値×0.4〔屋内での放射線の低減率〕×16時間〔屋内にいる時間]))×365日÷1000=年間換算値



各地点における空間放射線量の詳細(平成23年度)

メッシュ No	測定場所	6月9日(第1回目)						7月7日(第2回目)					
		測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)			測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)		
		5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm
1	柳野公園	0.08	0.07	0.06	0.42	0.37	0.32	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32
2	市立松原学園	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37	0.10	0.09	0.07	0.53	0.47	0.37
3	市立北中小学校	0.06	0.05	0.05	0.32	0.26	0.26	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26
4	所沢市役所/県営所沢航空公園	0.12	0.10	0.09	0.61	0.54	0.47	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37
5	道傍公園	0.08	0.07	0.07	0.42	0.37	0.37	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32
6	市立柳瀬小学校	0.10	0.07	0.08	0.52	0.37	0.42	0.08	0.07	0.06	0.42	0.37	0.32
7	県立芸術総合高等学校	0.09	0.07	0.07	0.47	0.37	0.37	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32
8	高峰公園	0.10	0.07	0.07	0.54	0.37	0.37	0.09	0.07	0.07	0.47	0.37	0.37
9	市立つばめ児童館	0.07	0.05	0.06	0.37	0.26	0.32	0.06	0.05	0.05	0.32	0.26	0.26
10	市立安松保育園	0.09	0.07	0.07	0.47	0.37	0.37	0.08	0.07	0.06	0.42	0.37	0.32
測定値の範囲		0.05~0.12			0.26~0.61			0.05~0.10			0.26~0.53		

メッシュ No	測定場所	7月21日(第3回目)						8月4日(第4回目)					
		測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)			測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)		
		5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm
1	柳野公園	0.08	0.07	0.06	0.42	0.37	0.32	0.07	0.06	0.07	0.37	0.32	0.37
2	市立松原学園	0.09	0.08	0.08	0.47	0.42	0.42	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37
3	市立北中小学校	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26
4	県営所沢航空記念公園	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
5	道傍公園	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
6	市立柳瀬小学校	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37
7	県立芸術総合高等学校	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32
8	高峰公園	0.08	0.07	0.06	0.42	0.37	0.32	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
9	市立つばめ児童館	0.06	0.06	0.05	0.32	0.32	0.26	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26
10	市立安松保育園	0.09	0.08	0.08	0.47	0.42	0.42	0.08	0.07	0.07	0.42	0.37	0.37
測定値の範囲		0.05~0.09			0.26~0.47			0.05~0.08			0.26~0.42		

メッシュ No	測定場所	8月18日(第5回目)						9月1日(第6回目)					
		測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)			測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)		
		5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm
1	柳野公園	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32	0.07	0.07	0.06	0.37	0.37	0.32
2	市立松原学園	0.09	0.08	0.07	0.47	0.42	0.37	0.10	0.09	0.07	0.53	0.47	0.37
3	市立北中小学校	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26	0.05	0.05	0.04	0.26	0.26	0.21
4	県営所沢航空記念公園	0.07	0.07	0.07	0.37	0.37	0.37	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37
5	道傍公園	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32	0.06	0.06	0.05	0.32	0.32	0.26
6	市立柳瀬小学校	0.09	0.07	0.07	0.47	0.37	0.37	0.08	0.07	0.06	0.42	0.37	0.32
7	県立芸術総合高等学校	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
8	高峰公園	0.07	0.06	0.05	0.37	0.32	0.26	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
9	市立つばめ児童館	0.06	0.06	0.05	0.32	0.32	0.26	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26
10	市立安松保育園	0.06	0.08	0.07	0.47	0.42	0.37	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37
測定値の範囲		0.05~0.09			0.26~0.47			0.04~0.10			0.21~0.53		

メッシュ No	測定場所	9月15日(第7回目)						9月29日(第8回目)					
		測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)			測定値(μSv/h)			年間換算値(mSv/年)		
		5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm
1	柳野公園	0.07	0.06	0.06	0.37	0.32	0.32	0.08	0.07	0.07	0.42	0.37	0.37
2	市立松原学園	0.09	0.07	0.07	0.47	0.37	0.37	0.09	0.08	0.08	0.47	0.42	0.42
3	市立北中小学校	0.05	0.05	0.04	0.26	0.21	0.21	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26
4	県営所沢航空記念公園	0.06	0.06	0.07	0.32	0.32	0.37	0.08	0.08	0.07	0.42	0.42	0.37
5	道傍公園	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
6	市立柳瀬小学校	0.06	0.05	0.05	0.32	0.32	0.32	0.09	0.08	0.07	0.47	0.42	0.37
7	県立芸術総合高等学校	0.06	0.05	0.05	0.32	0.26	0.26	0.06	0.06	0.06	0.32	0.32	0.32
8	高峰公園	0.07	0.06	0.05	0.37	0.32	0.26	0.06	0.07	0.06	0.32	0.37	0.32
9	市立つばめ児童館	0.05	0.05	0.05	0.26	0.26	0.26	0.06	0.05	0.05	0.32	0.26	0.26
10	市立安松保育園	0.08	0.08	0.07	0.42	0.37	0.37	0.08	0.08	0.08	0.42	0.42	0.42
測定値の範囲		0.04~0.09			0.21~0.47			0.05~0.09			0.26~0.47		

7 用語解説及び関連資料



7. 用語解説及び関連資料

【あ】

ICRP

専門の立場から放射線防護に関する勧告をする国際的な学術組織。1928年に開かれた国際放射線医学総会で前進となる、国際X線・ラジウム防護委員会が発足し、1950年に国際放射線防護委員会に改称。

悪臭

大多数の人に不快感を与え、生活環境を損なう恐れのある臭いのことです。悪臭防止法では、その原因物質としてアンモニア、硫化水素、トリメチルアミン、スチレン等の22物質が特定悪臭物質として指定されています。しかし、臭いの感じ方は人によって違いがみられ、また量や接触時間によっても感じ方が異なるため、上記の物質以外にも悪臭を感じる場合があります。

アクリロニトリル

常温で無色透明の液体で揮発性物質です。引火性が強く、刺激臭があります。主に塗料、繊維樹脂加工剤、化粧品原料や合成糊料などの原料、アクリルアミド(紙力増強剤、合成樹脂、合成繊維、排水中などの沈殿物の凝集剤、土壌改良剤、接着剤塗料などの原料)として使われています。健康影響としては、動物による実験で鼻粘膜の炎症、多くの発がん性試験結果が報告されています。

アセトアルデヒド

低温では無色透明の液体(沸点:21℃)で引火性が極めて高く、揮発性物質です。水、アルコール、エーテル、有

機溶剤に溶けやすく、多くは塗料、印刷インキなどの溶剤に使われる酢酸エチルの原料として使われています。防腐剤や防カビ剤、写真現像用の薬品などとしても使われています。シックハウス症候群との関連性が疑われていますことから、厚生労働省では室内空気濃度の指針値を定めています。

アルキル水銀化合物

メチル基(CH_3^-)やエチル基(CH_3CH_2^-)などのアルキル基と水銀とが結合した有機水銀の一種です。

自然環境に存在する無機水銀が、ある条件の下でメチル水銀($(\text{CH}_3)_2\text{Hg}$)や自メチル水銀($(\text{CH}_3)_2\text{Hg}$)に変化し食物連鎖を通じて魚介類に濃縮されることが知られています。水俣病はアセトアルデヒドの製造過程で副生したメチル水銀による公害病です。

亜硝酸性窒素

亜硝酸塩として含まれている窒素のことで、地下水汚染の原因物質の一つです。肥料や家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたもので、作物に吸収されずに土壌に溶け出し、富栄養化の原因となります。人に与える影響としては、嘔吐、チアノーゼ、虚脱昏睡、血圧低下、脈拍増加、頭痛、視力障害等が見られます。水道水の水質基準や河川などの公共水域について環境基準が設けられています。

アスベスト

石綿(せきめん)(いしわた)ともいわれ、天然に存在する繊維状の鉱物です。繊維が極めて細く、飛散して人が吸入し、繊維が肺に突き刺さったりすると肺がんや中皮腫の原因になることが明らかになっています。以前はビル等の建築工事において、保温断熱の目的で石綿を吹き付

ける作業が行われていましたが、昭和50年に原則禁止されました。その後も、スレート材、プレーキライニングやプレーキパッド、防音材、断熱材、保温材などで使用されましたが、現在では、原則として製造等が禁止されています。

石綿は、そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となるため、「労働安全衛生法」や「大気汚染防止法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などで予防や飛散防止等が図られています。

アンモニア性窒素

窒素酸化物の一形態で、アンモニウム塩に含まれる窒素を言います。水中のたんぱく質の分解などによって精製するアンモニウム塩は、水質汚濁の指標となります。アンモニア性窒素は、水中で、水銀、pHなどにより一定割合の遊離アンモニアを解離するが、この遊離アンモニアは2mg/lで魚類に致命的とされており、米国環境保護庁はすべての淡水域における水質基準として遊離アンモニアが0.02mg/lを超えてはならないとしています。

【い】

硫黄酸化物(SOx)

主に二酸化硫黄(SO_2)や三酸化硫黄(SO_3)等の硫黄が酸化した物質の総称のことで、石炭、石油等の化石燃料の燃焼に伴い発生し、せきや呼吸困難、気管支炎等を起こすなど、呼吸器系にとって有害であるほかに、酸性雨の要因のひとつになっています。なお、二酸化硫黄については環境基準が定められています。

一酸化炭素(CO)

燃料の不完全燃焼により発生する無色、無臭の気体です。主に自動車から排出され、生体に有毒で、血液中のヘモグロビンとの結合が酸素の約210倍であるため、酸素の供給を阻害し、ひどい時には、窒息に至る場合もあります。

1.2 ジクロロエタン

常温で無色透明の液体で揮発性物質です。主にクロロエチレンの原料に使われる他、エチレンジアミンなどの原料、フィルム洗浄剤、有機合成反応やビタミン抽出の際の溶剤、殺虫剤、薰蒸剤に使われています。

1.3 ブタジエン

常温で無色透明の気体です。主に合成ゴムの原料として使われています。クルマの排気ガス、たばこの煙にも含まれています。

一般環境大気環境測定局

一般環境大気の汚染状況を常時監視する測定局です。一般環境大気測定局には、環境基準の適合状況の把握や、大気汚染対策の効果の確認など地域全体の汚染状況を把握する目的のものと、特定発生源の影響を受け高濃度の局所汚染が出現しやすい地域での緊急時の措置に対処するためのものの2種類があります。

【え】

えいようえん 栄養塩

植物の生命を維持する栄養分として必要な、燐、窒素、カリ、珪素などの主要元素とマンガン等の微量元素のこと

です。水中では、これらのうち、カリや珪素は、もともと豊富にあるので、燐と窒素が何らかの理由で増加した場合に藻類などのプランクトンが大量発生し、赤潮や青潮、アオコ、淡水赤潮などとよばれる現象がおこりやすくなります。

塩化水素

常温、常圧では無色で刺激性のある気体で、人工的には塩化物や塩素を含む石炭、燃料油の燃焼が大気への塩化水素ガスの発生源となっています。大気汚染防止法において有害物質に指定され、ばい煙発生施設別の排出基準が定められています。

塩化物イオン

塩素化合物、例えば塩化ナトリウム(食塩の主成分)や塩化マグネシウムなどが、水中で電離したときに生じます。塩化物イオンは天然水中にも存在しますが、食塩などの塩化物を使用する工場の排水や生活排水中にも存在しています。

塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)

常温では無色透明の揮発性物質です。また、発がん性があるので、取扱いには注意が必要ですが、樹脂を作る過程で反応せずに残ったごくわずかな塩化ビニルモノマーは樹脂中から除去されるため、私たちが日常生活でこの物質に直接触れることはないと考えられます。

【か】

化学的酸素要求量(COD)

水の汚れを示す指標の一つで、水中の有機物質の濃

度を表し、この値が大きいほど水が汚れています。

カドミウム(Cd)

青みを帯びた銀白色の金属で、柔らかく、延性及び展性に富みナイフでも容易に削れます。メッキ、顔料、電池等に使用され、発生源としてはメッキ、塗料、ガラス等の工場と鉱山精錬所などが上げられます。

カドミウムはイタイイタイ病で知られていますが、吸入、経口摂取が続くと胃腸炎、筋肉痛、着色尿のほか、肝臓障害が現れるといわれています。

環境基準

人の健康を維持し、生活環境を保全する上で維持することが望ましいとされている基準のことです。行政上の目標として環境基本法第16条に基づき定められており、大気汚染、水質汚濁、地下水汚染、土壌汚染および騒音について環境基準が設定されています。

乾燥減量

乾燥減量は底質(水底の表層土)に付着している水分を測定するものです。測定方法としては、通常湿試料5g以上を共栓秤瓶に取り、厚さを1cm以下にして広げ質量を測定、105-110°Cで2時間乾燥し、デシケーターで約40分放冷して質量を測定し減量分を求めます。

【き】

キシレン

無色透明の液体で、揮発性物質です。キシレンのほとんどは、他の化学物質の原料として使われています。油性塗料、接着剤、印刷インキ、シンナー、農薬などの溶剤

に使われています。

強熱減量

強熱減量は試料を空气中で強熱したときの重量の減少量であり、通常、重量百分率で表わします。泥の場合、試料中の有機物質炭酸塩等が多ければ強熱減量も大きくなり、含有有機物質等の推定に役立ちます。測定法は上記の乾燥試料を 5g 以上取り、質量を測定した後、600±25℃で約2時間加熱し、デシケーターで放冷した後、質量を測定した減量です。

【く】

クロム(Cr)

銀白色の光沢のある金属です。さびにくい特性を利用して、特殊鋼(耐熱性やさびにくさなどの特性を加えた鋼)などに利用されたり、メッキに使われています。

クロムは人の体内で糖の代謝に関っており、正常な生命活動を維持するのに必須な元素です。クロムは体内に取り込まれにくいいため、人への影響、過剰障害はこれまで認められていませんが、欠乏すると上昇した血糖値を正常に戻す代謝力が低下し血中コレステロール等の障害が起こり心臓・血管疾患のリスク要因になると考えられています。

クロロホルム

塩素を含む有機化合物で特有のにおいがあり、麻酔作用があることで知られています。農業や医薬品の抽出溶剤などに用いられますが、ほとんどが代替フロンやフッ素樹脂の原料として使われています。肺から速やかに生体内に取り込まれ、その大部分は呼気から排出されます。ク

ロホルムを取り扱う職場で、肝臓の肥大、中毒肝炎、倦怠感、消化器障害及び精神鈍麻が慢性症状として一部のの人に認められています。

【け】

健康項目

環境基本法に基づき人の健康の保護のために定められる環境基準で、公共用水域の水質保全行政の目標として達成し、維持されることが望ましい水質汚濁に係わる環境基準のひとつです。カドミウム、シアン、ふっ素、ほう素等の 26 項目が定められています。

【こ】

光化学オキシダント(Ox)

大気中の窒素酸化物や炭化水素が、太陽の紫外線的作用によって光化学反応を起こすことにより、二次的に生成された酸化性物質の総称のことです。光化学オキシダントは、大気汚染項目のひとつとして環境基準が定められており、光化学スモッグの指標とされています。

降下ばいじん

降下ばいじんは、大気中の粒子状物質のうち、重力又は雨によって降下するばいじん、粉じん等です。一般に、粒径が 20 μm から 50 μm といわれています。降下ばいじん量は石炭から石油へ燃料が転換されたことにより、昭和 35 年頃を境として年々減少傾向を示しています。測定法にはデポジットゲージ法、ダストジャー法等があります。

【さ】

酸性雨

硫酸酸化物、窒素酸化物等の大気汚染物質が大気中の水分に溶解し、強い酸性を示す雨のことです。通常 pH が 5.6 以下の雨のことですが、霧や雪あるいは乾性降下物を含めた広い意味で使われる場合もあります。酸性雨は森林の枯死や、湖沼等の生態系の破壊、文化財の侵食等の要因として地球環境問題のひとつになっています。

酸化エチレン

エチレンを直接酸化してつくる無色で芳香性のある引火しやすい有毒の気体で、水やアルコールに良く溶けます。用途は合成洗剤、合成樹脂の製造原料となっています。

【し】

ジクロロメタン

金属・機械等の脱脂洗浄剤、塗料剥離剤に使われています。洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、地下水汚染の原因物質の一つとなっています。主な急性症状としては中枢神経に対する麻酔作用があります。濃度が高くなるにつれ、吐き気、めまい、だるさ、さらに手足のしびれ、深麻酔状態に陥ります。

指針

環境基準を設定する必要はないものの、行政上の目標として設定されたものです。

しょうさんせいちつそ
硝酸性窒素

肥料、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたもので、作物に吸収されずに土壌に溶け出し、富栄養化の原因となります。水道水の水質基準及び地下水や河川などの公共水域の水質の環境基準が設けられています。

【す】

水質汚濁防止法

昭和 45 年 12 月 25 日公布法律第 138 号 健康の保護と生活環境の保全を図るため、工場・事業場(特定事業場)から排出される水質の規制や生活排水対策の推進、損害賠償の無過失責任などを定めています。直罰規定があります。

水素イオン濃度(pH)

酸性やアルカリ性の度合いを示す指標のことであり、pH 7が中性、これより数値が低く0に近づくほど強い酸性を示し、これより数値が高く 14 に近づくほど強いアルカリ性を示します。

水銀(Hg:mercury)

常温で液体である唯一の金属で、水に溶けにくい銀色の物質です。また、常温でも揮発します。

用途としては血圧計、体温計、温度計などの計器類、水銀灯などです。

水銀及びその化合物は、その形態によって異なります。水銀は脳の中に蓄積しやすく、体内で酸化反応を受ける前に脳に移行すると水銀によって中枢神経障害を起こす恐れがあります。

【せ】

生活環境項目

環境基本法(1993 年)に基づいて定められている水質の環境基準のひとつです。水質環境基準には、人の健康の保護に関する基準(健康項目)と生活環境の保全に関する基準(生活環境項目)の 2 つがあります。

生活排水対策重点地域

都道府県知事が、生活排水による汚れの著しい河川の水域において、生活排水対策の実施を推進することが特に必要であると認めて指定した地域です。

生物化学的酸素要求量(BOD)

河川や排出水、下水等の汚濁の程度を示す代表的な指標のひとつで、水中の有機物質が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量です。BODの値が大きいほど水中の有機物質が多く、水が汚れているといえます。

【そ】

騒音規制法

昭和 43 年 6 月 1 日公布 昭和 43 年法律第 98 号 生活環境の保全と健康の保護を図るため、工場・事業場・建設工事から発生する騒音の規制、自動車騒音に係る許容限度や知事の公安委員会への要請などを定めています。

【た】

大気汚染防止法

昭和 43 年 6 月 10 日公布 昭和 43 年法律第 97 号 大気汚染に関し、健康の保護と生活環境の保全を図るため、工場及び事業場から排出されるばい煙及び粉じんの規制、有害大気汚染物質対策の推進、自動車排出ガスの許容限度の設定、損害賠償の無過失責任などを定めています。

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-p-paraジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)の総称のことで、ダイオキシン類は塩素の数や配置により 200 数十種類の仲間があり、廃棄物の焼却やパルプの塩素漂白、塩素系農薬製造などの各過程で非意図的に生成されます。

WECPNL

加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことです。航空機騒音の評価のために考案されたもので、「うるささ指数」とも呼ばれています。昼間の時間帯よりも特に静穏が求められる夕方や夜間の時間帯においては、3 倍から 10 倍の重みづけで算出される騒音の指標です。

炭化水素(HC)

炭素と水素からできている化合物の総称です。

大腸菌群数

ふん便による水の汚染の可能性を知る指標です。大腸菌群には、人のふん便に由来する大腸菌およびその他の数属の菌の他、動物由来の大腸菌など自然界に生息する大腸菌等が含まれます。大腸菌自体は一般に病原性を

持たないが、水中から大腸菌が多量に検出された場合は、生のし尿が混入している可能性があり、赤痢、腸チフス、コレラなどの病原性細菌が存在する危険性が疑われています。

【ち】

窒素酸化物(NOx)

一酸化窒素(NO)や二酸化窒素(NO₂)等、窒素と酸素の化合物の総称のことです。窒素酸化物の主な発生源は自動車や工場からの排出ガスであり、大気汚染物質のひとつとして呼吸器系に対する有害性が知られているほか、酸性雨の原因にもなっています。なお、二酸化窒素については、環境基準が定められています。

【て】

底質

河川、湖沼、海洋等水環境の水底の表層土や、岩盤の上に流域から流入した土砂や、側溝からの不溶物が堆積したものです。

デシベル(dB)

騒音レベルや振動レベルの単位で、電話の発明者であるベルにちなんで名づけられた単位です。

テトラクロロエチレン

主にドライクリーニング、金属部品の洗浄等に使用されている物質のことです。水質汚濁の原因物質であり、蒸気を吸収すると、めまいや頭痛が起こる他、肝臓・腎臓に障害を起こすこともあります。

【と】

毒性等量(TEQ)

毒性等価換算濃度の略です。ダイオキシン類には構造のちがいで様々な種類があり、その毒性もまちまちですが、それらを最も毒性の強い 2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン(2,3,7,8-TCDD)の毒性に換算して表した濃度のことです。

トリクロロエチレン

主に有機塩素系溶剤で金属部品の洗浄や半導体の製造工程等で使用されている物質のことです。水質汚濁の原因物質であり、蒸気を吸入すると、めまいや頭痛が起こる他、肝臓・腎臓に障害を起こすこともあります。

トルエン

常温では無色透明の液体で、揮発性物質でガソリンの様な臭いがあります。ベンゼンなどに比べ毒性が低く、安価なことから、油性塗料や印刷インキ、油性接着剤などの溶剤としても幅広く使われています。接着剤や塗料のうすめ液などに使用されるシンナーはトルエンを主成分としているほか油性ペンキ、ニス・ラッカー、マニキュアなど身のまわりにもトルエンを含む製品があります。

【な】

75%値

BOD や COD の測定値を水質の良いものから順に並べたとき、75%目に当たる数値です。この値で BOD や COD の環境基準の適合状況进行评估します。

鉛

比較的柔らかい金属で加工が容易なため、古くから利用されていました。今日では主にバッテリーやハンダの原料に使われています。

健康影響については、化合物によって毒性は異なりますが、高濃度の鉛による中毒の症状としては、食欲不振、貧血、尿量減少、腕や足の筋肉の虚弱などがあります。

【に】

ニッケル(Ni)

腐食しにくく加工しやすい金属で、ステンレスや各種合金等に使われています。ニッケル化合物には多くの種類があり、ニッケルメッキ、着色剤や触媒などに使われています。

哺乳類の培養細胞を用いた試験では突然変異などが報告されています。ニッケルに起因した人に対する発がん性が確認されたのは、ニッケル精錬所においてのみで、作業者に呼吸器のがんが報告されています。

二酸化硫黄(SO₂)

大気汚染物質の一つで、石炭や石油等硫黄分を含む燃料を燃焼する際に発生します。刺激性が強く、1～10ppm 程度で呼吸機能に影響を及ぼし、眼の粘膜に刺激を与え流涙をきたします。

二酸化窒素(NO₂)

物の燃焼の際に発生し、高温になるほどその量は多くなります。呼吸器の細菌感染などに対する抵抗力を弱め、鼻や喉の粘膜、呼吸器系に刺激を与えます。

2%除外値(98%値)

日平均で示されている環境基準の適否を長期的に評価するときに用います。1年間の日平均を大きい順に並べた場合、上位の順は変動が大きく、異常値や突発的な不確定要素が多いと考えられることから、測定数の2%に相当する高濃度値を除外した残りの値の最高値を2%除外値または98%値として、環境基準値と比較します。

【は】

バナジウム(V)

バナジウムイオンが試験管内で細胞に対し、致死毒性を持つことが確認されています。

現在のところWHOは、無機バナジウムの発がん性について、その有無を判断できる材料がないとしています。このため、ヒトに対して発癌性があるかもしれない、と分類されています。

バナジウムは石油、石炭中に多く含まれていることから、その燃焼により毎年10万トンのレベルで大気中に放出されています。自然現象による放出は年間10トンのレベルと見積もられており、大気中の浮遊塵や降水中に含まれるバナジウムはそのほとんどが、人間活動によるものです。

【ひ】

ヒ素(As)

天然に遊離して存在することも、多くは硫化物の形で存在します。無機のヒ素化合物は極めて有毒です。扱われるところは、金属製錬、ガラス製造、木材の防腐・防蟻剤などです。ヒ素は体内で蓄積作用があり、人間の致死

量は成人で100～130mgです。また、亜砒酸、砒化水素の中毒が知られています。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)

PCBは塩素含有量の異なる数多くの同属体の混合物です。絶縁性が高いなど電気的特性に優れ、熱、酸、アルカリなどに非常に安定なため、絶縁油、熱媒体やノンカーボン紙溶剤などに広く用いられました。残留性が高く慢性毒性が強いことから、昭和47年に生産が中止されています。

PRTR制度(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律:化管法ともいう)

環境汚染の恐れのある化学物質が、どのような発生源から、どの程度環境中に排出されているのか、また、廃棄物となっているか、というデータを把握し、国で集計して公表する仕組みです。

非メタン炭化水素(NMHC)

大気中に存在するメタン以外の炭化水素のことです。光化学スモッグ発生の原因となるため、自動車や塗装、印刷工場等の発生源についての排出規制が実施されています。

【ふ】

浮遊物質^{ふゆうぶつしりょう}量(SS)

水中に浮遊している物質の量のことをいい、数値(mg/L)が大きい程、その水の濁りが多いことを示します。

浮遊粒子状物質(SPM)

大気中に、液体や固体またはこれらの混合物として浮遊している10 μ m(10⁻⁵m)以下の粒子状物質のことです。自動車排ガスや工場などの事業活動に伴い発生し、人の気道や肺胞に沈着して呼吸器疾患などを起こす原因とされています。

【へ】

ベリリウム(Be)

常温で灰白色の固体で、もろくて軽い金属です。エメラルドやアクアマリンなどの鉱物に含まれています。空気中では表面が酸化されて参加皮膜があるため腐食しにくく、また電気や熱の伝導性が高く、X線も透過しやすいなどの性質があるため、多方面で使用されています。

継続的に可溶性ベリリウムを吸うことによって、器官への刺激性、皮膚炎、結膜炎が認められています。

ベンゼン

特有の臭気をもつ無色の液体で水に溶けにくい性質をもっています。基礎的な化学原料として広く用いられます。急性症状として麻酔作用が、慢性症状として造血機能の障害と発がん性が知られています。ガソリン中に含まれていることから自動車排出ガスとして大気中に排出するため有害大気汚染物質のひとつに挙げられています。

ベンゾ(a)ピレン

多環式芳香族炭化水素の一種で、タールに含まれている発がん性物質です。ディーゼル自動車や石炭燃焼等の排出ガスが発生源で、黒煙や煤等に含まれています。

【ほ】

放射線

放射線とは空間を伝わっていくエネルギーの流れのある種の形態で、その本性・実態は、光子、電子、陽子、中性子、ヘリウムの原子核といった素粒子(またはその簡単な結合体)です。病院や空港では、放射線の一種であるエックス線を用いて、身体や手荷物の内部を日常的に「非破壊検査」しています。放射線の種類にはこの他にα線、β線、γ線、中性子線、宇宙線等があります。

ホルムアルデヒド

常温では無色の可燃性の刺激性気体です。シックハウス症候群を引き起こす原因物質のひとつといわれ、平成14年1月には室内濃度の指針値(48 μg/m³、厚生労働省)が設定されました。さらに、平成14年7月の建築基準法の改正によりホルムアルデヒドを発散する建材について技術基準が定められ、15年7月から法規制が行われています。

【ま】

マンガン

合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤などとして使われます。マンガンの化合物としては、乾電池や酸化剤に使われる二酸化マンガン、飲料水の処理などに使われる過マンガン酸カリウムなどがあります。

マンガンは自然界に広く存在しています。人にとって必須微量元素で、欠乏すると骨異常、成長障害などを起こすことが報告されていますが、逆に過剰に摂取すると運動失調やパーキンソン氏病などになることが報告されています。

【め】

面的評価

騒音測定地点をもとに、道路端から50mの範囲に位置する個々の住居等の騒音レベルを、距離や建物によって減る騒音量を引く等によって推計し、環境基準値を超過(または、環境基準値以下)した住居等の戸数及び割合を算出します。

【ゆ】

有害大気汚染物質

「有害大気汚染物質とは継続的に摂取される場合には人の健康を損なう恐れがある物質で大気の汚染の原因となるもの」と大気汚染防止法では規定しており、事業者に対し有害大気汚染物質の排出抑制の責務を課すと共に、国、地方公共団体はそれぞれ科学的知見の充実、大気汚染状況のモニタリングの実施に努めることとしています。

【よ】

溶存酸素量(DO)

水に溶解している酸素の量のことで、水生生物の生息に必要であり、数値が大きいほど良好な環境です。

【ろ】

6価クロム

環境中へ排出された6価クロム化合物は、河川や海、土壌、水底の泥に存在していると考えられます。

生物細胞やヒトリンパ球を用いた染色体異常試験などの変異原性の試験で陽性を示す結果が報告されていま

す。クロムメッキなどの工場などの従業員に見られる肺がんについて、6価クロム化合物の関与が認められています。

ところざわ 環境データブック 2011

(平成 23 年 12 月作成)



発行：所沢市環境クリーン部環境対策課 (〒359-8501 所沢市並木一丁目 1 番地の 1
Tel 04-2998-9230 Fax 04-2998-9195)

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp> E-mail : a9230@city.tokorozawa.saitama.jp